

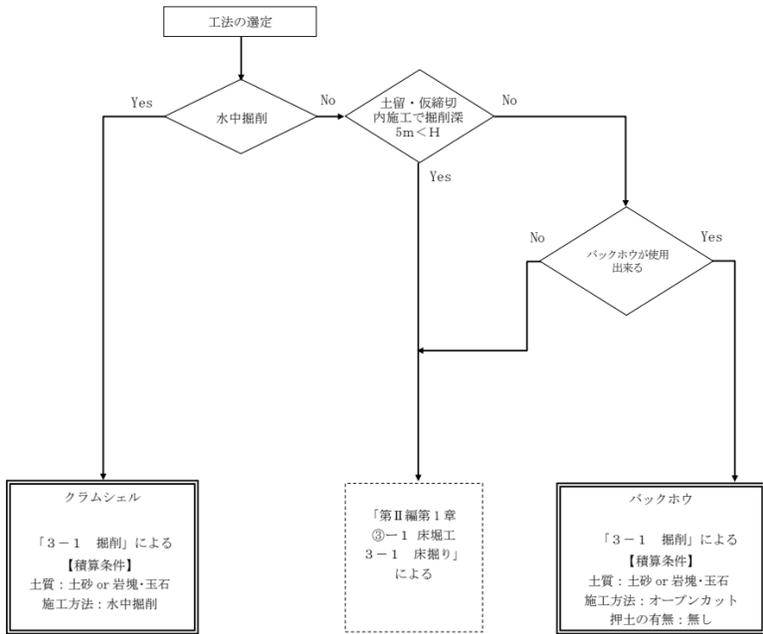
工 種	土工
-----	----

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>② 土工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、施工パッケージによる土工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 掘削</p> <p>(1) 土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩の掘削 (2) 掘削深さが5m以内のバックホウ掘削の場合 (3) 陸上掘削でクラムシエルによる水中掘削積込を行う場合 (4) 破砕片除去を伴う際は、掘削面と機械基面の高低差が5mまでの場合 (5) 軟岩、硬岩の床掘りの場合（軟岩の場合、施工数量が5,000m³未満）</p> <p>1-1-2 土砂等運搬</p> <p>(1) 自工区内の土砂等の運搬 (2) 土取場（仮置場）から採取する土砂等の運搬 (3) 構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬 (4) 掘削工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬</p> <p>1-1-3 整地</p> <p>(1) 構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地（仮置場）、土取場での整地</p> <p>1-1-4 路体(築堤)盛土</p> <p>(1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路体（築堤）盛土 (2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路体（築堤）盛土 (3) 土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路体（築堤）盛土 (4) 購入土を使用した路体（築堤）盛土</p> <p>1-1-5 路床盛土</p> <p>(1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路床盛土 (2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土 (3) 土取場（仮置場）で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土 (4) 購入土を使用した路床盛土</p> <p>1-1-6 押土(ルーズ)</p> <p>(1) 運搬距離60m以下の押土による土砂等の運搬作業の場合 (2) 運搬距離30m以下の岩掘削後の集積用押土の場合</p> <p>1-1-7 積込(ルーズ)</p> <p>(1) 土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の積込み (2) 仮置きされた土砂等の積込み (3) 破砕片除去の場合</p> <p>1-1-8 人力積込</p> <p>(1) 仮置きされた土砂等の人力による積込み</p> <p>1-1-9 転石破砕</p> <p>(1) 道路、河川工事等の岩掘削に伴う転石破砕</p> <p>1-1-10 土材料</p> <p>(1) 道路土工、河川土工等における土材料（現場渡し単価又は土場渡し単価）を購入する場合</p> <p>1-1-11 残土等処分</p> <p>(1) 残土運搬された土砂等の残土の処分場での処分 (2) 泥水運搬された汚泥、泥水等の受入れ地での処分</p> <p style="text-align: right;">1・②・1</p>		<p>現行どおり</p> <p>1-1-3 整地</p> <p>(1) 構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地（仮置場）、土取場での整地 (2) 作業区分「残土受入れ地での処理」は施工場所が残土処理場の場合に適用する。</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/6

改正理由	一部改正	改正 現 行	
------	------	-----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

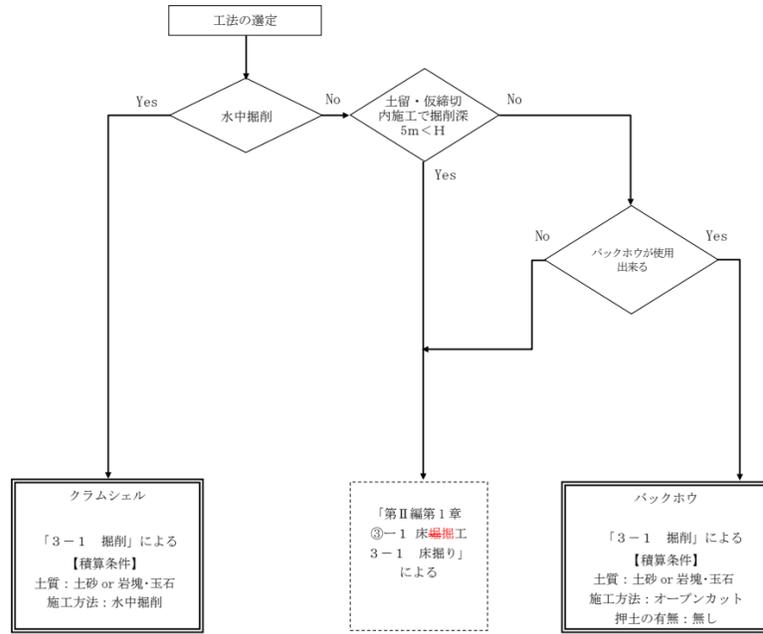
2-1-3 「掘削」におけるクラムシェル工法選定フロー



(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

1・②・4

2-1-3 「掘削」におけるクラムシェル工法選定フロー



(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

語句の修正

積算上の注意事項		(控え頁)	2/6
----------	--	-------	-----

改正理由	一部改正	改正 現行																															
現	行	改	正																														
		備考																															
<p>3-3 整地 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.20 整地 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>敷均し作業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残土受入れ地での処理</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">敷均し(ルーズ)</td> <td>標準</td> </tr> <tr> <td>標準以外</td> </tr> <tr> <td>狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)</td> </tr> <tr> <td>トラフィカビリティが確保出来ない場合</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地(仮置場)、土取場での整地、締固めを行わない場合の土の敷均し等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 作業区分で残土受入れ地での処理を選択した場合の土量は地山の土量とする。 3. 作業区分で敷均し(ルーズ)を選択した場合の土量は敷均し後の土量とする。なお、敷均しのため、変化率C=1.0とする。 4. 敷均し作業内容における標準以外とは、1工事当りの全体盛土量が10,000m³以上の場合である。 5. 幅2.5m未満の狭隘箇所での作業は「第1章③-2埋戻工(現場制約あり)」による。</p> <p style="text-align: center;">1・②・20</p>		作業区分	敷均し作業内容	残土受入れ地での処理	—	敷均し(ルーズ)	標準	標準以外	狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)	トラフィカビリティが確保出来ない場合	<p>3-3 整地 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.20 整地 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>敷均し作業内容</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残土受入れ地での処理</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">敷均し(ルーズ)</td> <td>標準</td> <td>(10,000m³未満)</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>標準以外</td> <td>(10,000m³以上)</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)</td> <td></td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>トラフィカビリティが確保出来ない場合</td> <td></td> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地(仮置場)、土取場での整地、締固めを行わない場合の土の敷均し等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 作業区分で残土受入れ地での処理を選択した場合の土量は地山の土量とする。 3. 作業区分で敷均し(ルーズ)を選択した場合の土量は敷均し後の土量とする。なお、敷均しのため、変化率C=1.0とする。 4. 敷均し作業内容における標準以外とは、1工事当りの全体盛土量が10,000m³以上の場合である。施工数量は、1工事当りの整地(敷均し(ルーズ))の土量とする。 5. 障害の有無 ①無し: 作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合(例えば、バイパス工事など、工事をするうえでの障害が少ない工事) ②有り: 作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合(例えば、現道上の工事、一車線程度の現道拡幅工事等の交通規制を伴う工事、現場が不連続、構造物等の障害) 6. 幅2.5m未満の狭隘箇所での作業は「第1章③-2埋戻工(現場制約あり)」による。</p>		作業区分	敷均し作業内容	施工数量	障害の有無	残土受入れ地での処理	—	—	—	敷均し(ルーズ)	標準	(10,000m ³ 未満)	無し	標準以外	(10,000m ³ 以上)	有り	狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)		無し	トラフィカビリティが確保出来ない場合		有り
作業区分	敷均し作業内容																																
残土受入れ地での処理	—																																
敷均し(ルーズ)	標準																																
	標準以外																																
	狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)																																
	トラフィカビリティが確保出来ない場合																																
作業区分	敷均し作業内容	施工数量	障害の有無																														
残土受入れ地での処理	—	—	—																														
敷均し(ルーズ)	標準	(10,000m ³ 未満)	無し																														
	標準以外	(10,000m ³ 以上)	有り																														
	狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)		無し																														
	トラフィカビリティが確保出来ない場合		有り																														
積算上の注意事項		(控え頁) 4/6																															

記載の追加・削除
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3. 21 整地 代表機材規格一覧

作業区分	項目	代表機材規格	備考	
残土受け 入れ地での処理	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）	賃料
		K 2	-	
		K 3	-	
	労務	R 1	運転手（特殊）	
		R 2	-	
		R 3	-	
		R 4	-	
	材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	
		Z 2	-	
		Z 3	-	
		Z 4	-	
	市場単価	S	-	
	敷均し (ルーズ)	機械	K 1	ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型（第1次基準値）〕15t級
K 1			ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型（第1次基準値）〕21t級	敷均し作業内容が標準以外の場合
K 1			ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型（第1次基準値）〕3t級	敷均し作業内容が狭小幅員（幅2.5m以上4m未満）の場合
K 1			ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（第1次基準値）〕16t級	敷均し作業内容がトラフィカビリティが確保出来ない場合
K 2			-	
K 3		-		
労務		R 1	普通作業員	
		R 2	運転手（特殊）	
		R 3	-	
		R 4	-	
材料		Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	
		Z 2	-	
		Z 3	-	
	Z 4	-		
市場単価	S	-		

1・②・21

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3. 21 整地 代表機材規格一覧

作業区分	項目	代表機材規格	備考	
残土受け 入れ地での処理	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）	賃料
		K 2	-	
		K 3	-	
	労務	R 1	運転手（特殊）	
		R 2	-	
		R 3	-	
		R 4	-	
	材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	
		Z 2	-	
		Z 3	-	
		Z 4	-	
	市場単価	S	-	
	敷均し (ルーズ)	機械	K 1	ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型（第1次基準値）〕15t級 バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）
K 1			ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型（第1次基準値）〕21t級	敷均し作業内容が標準以外の場合
K 1			ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型（第1次基準値）〕3t級	敷均し作業内容が狭小幅員（幅2.5m以上4m未満）の場合
K 1			ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型（第1次基準値）〕3t級	敷均し作業内容が狭小幅員（幅2.5m以上4m未満）の場合
K 1			ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（第1次基準値）〕16t級	敷均し作業内容がトラフィカビリティが確保出来ない場合
K 2		-		
K 3		-		
労務		R 1	普通作業員 運転手（特殊）	
		R 2	運転手（特殊）	
		R 3	-	
		R 4	-	
材料		Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	
		Z 2	-	
	Z 3	-		
	Z 4	-		
市場単価	S	-		

代表機材の追加・修正・削除
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項			(控え頁) 5/6
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																			
現	行	改	正																																			
<p>3-6 押土(ルーズ)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.26 押土(ルーズ) 積算条件区分一覧 (積算単位: m³)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">土質</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">土砂</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">岩塊・玉石</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">破碎岩</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、ルーズな状態の土砂、岩塊・玉石、破碎岩の集積押土や押土による運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 土量は地山土量とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.27 押土(ルーズ) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 級</td><td></td></tr> <tr><td>K2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K3 -</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1 運転手(特殊)</td><td></td></tr> <tr><td>R2 -</td><td></td></tr> <tr><td>R3 -</td><td></td></tr> <tr><td>R4 -</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z2 -</td><td></td></tr> <tr><td>Z3 -</td><td></td></tr> <tr><td>Z4 -</td><td></td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S -</td><td></td></tr> </tbody> </table>		土質	土砂	岩塊・玉石	破碎岩	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 級		K2 -		K3 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
土質																																						
土砂																																						
岩塊・玉石																																						
破碎岩																																						
項目	代表機材規格	備考																																				
機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 級																																					
	K2 -																																					
	K3 -																																					
労務	R1 運転手(特殊)																																					
	R2 -																																					
	R3 -																																					
	R4 -																																					
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																					
	Z2 -																																					
	Z3 -																																					
	Z4 -																																					
市場単価	S -																																					
1・②・26																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 6/6																																			

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																
現	行	改 正	備 考																																
<p>3. 施工パッケージ 3-1 掘削 (ICT) ※ [ICT建機使用割合100%] (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削(ICT)※[ICT建機使用割合100%] 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>施工方法</th> <th>障害の有無</th> <th>施工数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">土砂</td> <td rowspan="6">オープンカット</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>5,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>5,000m³以上10,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上50,000m³未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>50,000m³以上</td> </tr> <tr> <td>5,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>5,000m³以上10,000m³未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">片切掘削</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">岩塊・玉石</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>5,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>5,000m³以上10,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>10,000m³以上50,000m³未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>50,000m³以上</td> </tr> <tr> <td>5,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>5,000m³以上10,000m³未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">片切掘削</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>10,000m³以上50,000m³未満</td> </tr> <tr> <td>50,000m³以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、土砂、岩塊・玉石の掘削積込(片切掘削は掘削のみ)の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 上表は、同一の施工箇所において、3D-MG又はMCバックホウ(以下「ICT建機」という。)のみで施工する(ICT建機使用割合100%)場合である。 なお、施工数量は、1工事当りの全体掘削土量により判定し、「第Ⅱ編第1章土工②-1 3-1 掘削(注)6. 施工数量、破砕片除去数量」によるものとする。また、該当する施工箇所におけるICT建機による施工の掘削土量をその箇所の掘削土量とし、これを合計したものを全体掘削土量とする。 3. 土砂、岩塊・玉石の掘削積込、又は土砂の片切掘削について、同一の施工箇所においてICT建機と通常建機(ICT建機を使用しない通常機種種のバックホウ)を組合せて施工する(ICT建機使用割合100%以外)場合は、該当する箇所における掘削土量をICT建機使用割合に応じてICT建機による施工分と通常建機による施工分に分割し、ICT建機による施工分を上表を適用する。また、通常建機による施工分は、「第Ⅱ編第1章土工②-1 3-1 掘削」により別途計上する。 なお、施工数量は、1工事当りの全体掘削土量により判定し、「第Ⅱ編第1章土工②-1 3-1 掘削(注)6. 施工数量、破砕片除去数量」によるものとする。また、該当する施工箇所におけるICT建機による施工分と通常建機による施工分を合計した掘削土量をその箇所の掘削土量とし、これを合計したものを全体掘削土量とする。 4. 土量は、地山土量とする。 5. 施工方法は、掘削箇所の地形により「オープンカット」、「片切り」に区分する。 区分については、「第Ⅱ編第1章土工②-1 土工」の図3.1、図3.2、図3.3を参照のこと。</p> <p style="text-align: center;">1・③・2</p>		土質	施工方法	障害の有無	施工数量	土砂	オープンカット	無し	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	有り	50,000m ³ 以上	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	片切掘削	—	—	岩塊・玉石	無し	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	有り	50,000m ³ 以上	5,000m ³ 未満	5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満	片切掘削	—	—	有り	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満	50,000m ³ 以上	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、土砂、岩塊・玉石の掘削積込(片切掘削は掘削のみ)の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含みみ、クレーン作業は含まない。</p>	<p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
土質	施工方法	障害の有無	施工数量																																
土砂	オープンカット	無し	5,000m ³ 未満																																
			5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満																																
			10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満																																
		有り	50,000m ³ 以上																																
			5,000m ³ 未満																																
			5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満																																
片切掘削	—	—																																	
	岩塊・玉石	無し	5,000m ³ 未満																																
			5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満																																
10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満																																			
有り		50,000m ³ 以上																																	
		5,000m ³ 未満																																	
		5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満																																	
片切掘削	—	—																																	
	有り	10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満																																	
		50,000m ³ 以上																																	
積算上の注意事項				(控え頁) 1/2																															

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

6. 障害の有無
 ①無し：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合
 ②有り：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり（例えば作業障害が多い場合）連続掘削作業が出来ない場合。掘削深さ 5m以内で掘削箇所が地下水水位等で排水をせず水中掘削（溝掘り、基礎掘削）を行う場合
 7. ICT建機使用割合は、上記（注）2. 又は3. の1工事当りの全体掘削土量に対する1工事当りのICT建機による掘削土量の割合である。

(2) 代表機材規格
 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3. 2 掘削(ICT)※[ICT建機使用割合 100%] 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）【標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）】山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ） 吊能力 2.9t	・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 未満の場合 ・「片切掘削」の場合
	バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）】山積 1.4m ³ （平積 1.0m ³ ）	「オープンカット」で施工数量 50,000m ³ 以上の場合
	ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））	・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 未満の場合 ・「片切掘削」の場合
	ICT建設機械経費損料加算額（バックホウ）	・賃料 ・「オープンカット」で施工数量 50,000m ³ 以上の場合
K 3	—	
労務	R 1 運転手（特殊）	
	R 2 普通作業員	片切掘削の場合
	R 3 —	
	R 4 —	
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z 2 —	
	Z 3 —	
	Z 4 —	
市場単価	S —	

(注) 1. ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。
 2. ICT建設機械経費損料加算額（バックホウ）は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用である。

1・③・3

現行どおり



表3. 2 掘削(ICT)※[ICT建機使用割合 100%] 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）【標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（ 2011 2014年規制）】山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ） 吊能力 2.9t	・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 未満の場合 ・「片切掘削」の場合
	バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（ 第1次基準値 2014年規制）】山積 1.4m ³ （平積 1.0m ³ ）	「オープンカット」で施工数量 50,000m ³ 以上の場合
	ICT建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ICT施工対応型））	・賃料 ・「オープンカット」で、施工数量 50,000m ³ 未満の場合 ・「片切掘削」の場合
	ICT建設機械経費損料加算額（バックホウ）	・賃料 ・「オープンカット」で施工数量 50,000m ³ 以上の場合
K 3	—	
労務	R 1 運転手（特殊）	
	R 2 普通作業員	片切掘削の場合
	R 3 —	
	R 4 —	
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z 2 —	
	Z 3 —	
	Z 4 —	
市場単価	S —	

現行どおり

代表機械の修正
 (歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項			(控え頁) 2/2
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行														
現 行	改 正		備 考													
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">現行なし</p> </div>	<p style="color: red; font-weight: bold;">⑤ 床掘工 (ICT)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、ICT施工において、3次元マシンガイダンス(バックホウ)技術及び3次元マシンコントロール(バックホウ)技術を使用して、構造物の築造又は撤去を目的とした、平均施工幅2m以上の土砂の掘削等である床掘りに適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 床掘り (ICT)</p> <p>(1) 3D-MG又はMCバックホウによる作業土工(床掘り)(ICT)のうち、土砂におけるバックホウ床掘りの場合</p> <p>(2) 3D-MG又はMCバックホウによる作業土工(床掘り)(ICT)における、床付面の基面整正の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 床掘り (ICT)</p> <p>(1) 3D-MG又はMCバックホウ以外による作業土工(床掘り)</p> <p>2. 施工概要</p> <p>2-1 施工フロー</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 埋戻しは「第II編第1章③-2埋戻工」による。</p> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 床掘り</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">表3.1 床掘り(ICT) 積算条件区分一覧</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">(積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">土留方式の種類</th> <th style="text-align: center;">障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">自立式</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">グラウンドアンカー式</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">切梁腹起式</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> </tbody> </table>	土留方式の種類	障害の有無	無し	無し	有り	自立式	無し	有り	グラウンドアンカー式	無し	有り	切梁腹起式	無し	有り	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
土留方式の種類	障害の有無															
無し	無し															
	有り															
自立式	無し															
	有り															
グラウンドアンカー式	無し															
	有り															
切梁腹起式	無し															
	有り															
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2													

改正理由	一部改正	改正 現行																																													
現 行	改 正	備 考																																													
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">現行なし</div>	<p>(注) 1. 上表は、構造物の築造又は撤去を目的とした土砂の掘削等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含み、クレーン作業は含まない。</p> <p>2. 基面修正を行う場合は、「1章④床掘工」により別途計上する。</p> <p>3. 障害の有無 有り：①床掘作業において、障害物等により施工条件に制限がある場合(たとえば作業障害が多い場合) ②土留・仮締切工の中に切梁・腹起し又は基礎杭等の障害がある場合 無し：①構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合 ②構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締め切り工法掘削の場合 ③土留・仮締切工の中に切梁・腹起し又は基礎杭等の障害がない場合</p> <p>4. 掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業を行う場合は、障害の有無で「有り」を適用する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 床掘り(ICT) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9t</td> <td>・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ (ICT施工対応型))</td> <td>・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ (ICT施工対応型))は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p> <p>3-2 基面修正 「1章④床掘工」により別途計上する。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	・賃料	K 2	ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ (ICT施工対応型))	・賃料	K 3	—		労務	R 1	運転手(特殊)		R 2	普通作業員		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の追加 (歩掛り改定に伴う)	
項目	代表機材規格		備考																																												
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	・賃料																																												
	K 2	ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ (ICT施工対応型))	・賃料																																												
	K 3	—																																													
労務	R 1	運転手(特殊)																																													
	R 2	普通作業員																																													
	R 3	—																																													
	R 4	—																																													
材料	Z 1	軽油1.2号 バトロール給油																																													
	Z 2	—																																													
	Z 3	—																																													
	Z 4	—																																													
市場単価	S	—																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																												

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																					
現	行	改 正	備 考																					
<p>3. 施工パッケージ 3-1 安定処理 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 安定処理 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">使用機種</th> <th style="width: 10%;">施工箇所</th> <th style="width: 10%;">混合深さ</th> <th style="width: 15%;">固化材 100m² 当り 使用量</th> <th style="width: 10%;">混合回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">スタビライザ</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0.6m 以下</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(実数入力)</td> <td style="text-align: center;">1 回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.6m を超え 1m 以下</td> <td style="text-align: center;">2 回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">バックホウ</td> <td style="text-align: center;">路床</td> <td style="text-align: center;">1m 以下</td> <td style="text-align: center;">1 回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">構造物基礎</td> <td style="text-align: center;">1m 以下</td> <td style="text-align: center;">2 回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1m を超え 2m 以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、地盤表層部もしくは路床、構造物基礎の改良材散布混合、敷均し・締固め、養生中の飛散防止（シート掛け）、現場内小運搬（スタビライザは 100m 程度の仮置場～現場、バックホウは 50m 程度の現場内小運搬）等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。 2. スタビライザ施工の混合回数は、消石灰・セメント系は 1 回、生石灰は 2 回を標準とする。ただし、土質状態により、これにより難い場合は、別途考慮する。 3. 条件区分の「固化材 100m² 当り使用量」は、実数量（材料ロスを含んだ数量）とする。</p> <p style="text-align: right;">1・⑦・2</p>		使用機種	施工箇所	混合深さ	固化材 100m ² 当り 使用量	混合回数	スタビライザ	-	0.6m 以下	(実数入力)	1 回	0.6m を超え 1m 以下	2 回	バックホウ	路床	1m 以下	1 回	構造物基礎	1m 以下	2 回	1m を超え 2m 以下	-	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、地盤表層部もしくは路床、構造物基礎の改良材散布混合、敷均し・締固め、養生中の飛散防止（シート掛け）、現場内小運搬（スタビライザは 100m 程度の仮置場～現場、バックホウは 50m 程度 の現場内小運搬（固化材の荷卸を含む））等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
使用機種	施工箇所	混合深さ	固化材 100m ² 当り 使用量	混合回数																				
スタビライザ	-	0.6m 以下	(実数入力)	1 回																				
		0.6m を超え 1m 以下		2 回																				
バックホウ	路床	1m 以下		1 回																				
	構造物基礎	1m 以下		2 回																				
		1m を超え 2m 以下		-																				
積算上の注意事項				(控え頁) 1 / 2																				

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																																																																																																																																					
	現 行	改 正																																																																																																																																																																																																																																																						
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 安定処理 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>使用機種</th> <th>施工箇所</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">スタビライザ</td> <td rowspan="14">-</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 0.6m×幅 2.0m</td> <td>混合深さ 0.6m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 1.2m×幅 2.0m</td> <td>混合深さ 0.6mを超え 1m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">バックホウ</td> <td rowspan="14">路床</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 タイヤローラ [普通型・低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 8~20t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">バックホウ</td> <td rowspan="14">構造物基礎</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.8~1.1t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考	スタビライザ	-	機械	K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 0.6m×幅 2.0m	混合深さ 0.6m以下の場合	K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 1.2m×幅 2.0m	混合深さ 0.6mを超え 1m以下の場合	K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料	労務	R1	運転手(特殊)		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	-		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		バックホウ	路床	機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料	K2 タイヤローラ [普通型・低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 8~20t	賃料	K3	-	労務	R1	運転手(特殊)		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	-		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		バックホウ	構造物基礎	機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料	K2 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.8~1.1t	賃料	K3	-	労務	R1	土木一般世話役		R2	運転手(特殊)		R3	特殊作業員		R4	普通作業員		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 安定処理 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>使用機種</th> <th>施工箇所</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">スタビライザ</td> <td rowspan="14">-</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 0.6m×幅 2.0m</td> <td>混合深さ 0.6m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 1.2m×幅 2.0m</td> <td>混合深さ 0.6mを超え 1m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">バックホウ</td> <td rowspan="14">路床</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値-2011年規制)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 タイヤローラ [普通型・低騒音型超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 8~20t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 振動ローラ (舗装用) [稼働・コンバインド式・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">バックホウ</td> <td rowspan="14">構造物基礎</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.8~1.1t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考	スタビライザ	-	機械	K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 0.6m×幅 2.0m	混合深さ 0.6m以下の場合	K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 1.2m×幅 2.0m	混合深さ 0.6mを超え 1m以下の場合	K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料	労務	R1	運転手(特殊)		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	-		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		バックホウ	路床	機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値-2011年規制)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料	K2 タイヤローラ [普通型・ 低騒音型 超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 8~20t	賃料	K3 振動ローラ (舗装用) [稼働・コンバインド式・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料	労務	R1	運転手(特殊)		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	-		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		バックホウ	構造物基礎	機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料	K2 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.8~1.1t	賃料	K3	-	労務	R1	土木一般世話役		R2	運転手(特殊)		R3	特殊作業員		R4	普通作業員		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		→	<p>代表機械の変更・追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																				
スタビライザ	-	機械	K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 0.6m×幅 2.0m	混合深さ 0.6m以下の場合																																																																																																																																																																																																																																																				
			K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 1.2m×幅 2.0m	混合深さ 0.6mを超え 1m以下の場合																																																																																																																																																																																																																																																				
			K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																				
		労務	R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																				
			R2	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																				
			R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																				
			R4	-																																																																																																																																																																																																																																																				
		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック																																																																																																																																																																																																																																																				
			Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																				
			Z3	-																																																																																																																																																																																																																																																				
			Z4	-																																																																																																																																																																																																																																																				
		市場単価	S	-																																																																																																																																																																																																																																																				
		バックホウ	路床	機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																		
					K2 タイヤローラ [普通型・低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 8~20t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																		
K3	-																																																																																																																																																																																																																																																							
労務	R1			運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																				
	R2			普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																				
	R3			土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																				
	R4			-																																																																																																																																																																																																																																																				
材料	Z1			セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック																																																																																																																																																																																																																																																				
	Z2			軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																				
	Z3			-																																																																																																																																																																																																																																																				
	Z4			-																																																																																																																																																																																																																																																				
市場単価	S			-																																																																																																																																																																																																																																																				
バックホウ	構造物基礎			機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																		
					K2 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.8~1.1t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																		
		K3	-																																																																																																																																																																																																																																																					
		労務	R1	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																				
			R2	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																				
			R3	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																				
			R4	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																				
		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック																																																																																																																																																																																																																																																				
			Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																				
			Z3	-																																																																																																																																																																																																																																																				
			Z4	-																																																																																																																																																																																																																																																				
		市場単価	S	-																																																																																																																																																																																																																																																				
		使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																		
		スタビライザ	-	機械	K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 0.6m×幅 2.0m	混合深さ 0.6m以下の場合																																																																																																																																																																																																																																																		
K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 1.2m×幅 2.0m	混合深さ 0.6mを超え 1m以下の場合																																																																																																																																																																																																																																																							
K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																							
労務	R1			運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																				
	R2			普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																				
	R3			土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																				
	R4			-																																																																																																																																																																																																																																																				
材料	Z1			セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック																																																																																																																																																																																																																																																				
	Z2			軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																				
	Z3			-																																																																																																																																																																																																																																																				
	Z4			-																																																																																																																																																																																																																																																				
市場単価	S			-																																																																																																																																																																																																																																																				
バックホウ	路床			機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値-2011年規制)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																		
					K2 タイヤローラ [普通型・ 低騒音型 超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 8~20t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																		
		K3 振動ローラ (舗装用) [稼働・コンバインド式・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																					
		労務	R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																				
			R2	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																				
			R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																				
			R4	-																																																																																																																																																																																																																																																				
		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック																																																																																																																																																																																																																																																				
			Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																				
			Z3	-																																																																																																																																																																																																																																																				
			Z4	-																																																																																																																																																																																																																																																				
		市場単価	S	-																																																																																																																																																																																																																																																				
		バックホウ	構造物基礎	機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																		
					K2 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.8~1.1t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																		
K3	-																																																																																																																																																																																																																																																							
労務	R1			土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																				
	R2			運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																				
	R3			特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																				
	R4			普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																				
材料	Z1			セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tバック																																																																																																																																																																																																																																																				
	Z2			軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																				
	Z3			-																																																																																																																																																																																																																																																				
	Z4			-																																																																																																																																																																																																																																																				
市場単価	S			-																																																																																																																																																																																																																																																				
1・⑦・3																																																																																																																																																																																																																																																								
積算上の注意事項					(控え頁) 2/2																																																																																																																																																																																																																																																			

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																											
現	行	改 正	備 考																																																																											
<p>4. 施工パッケージ</p> <p>4-1 法面整形 (ICT)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 法面整形 (ICT) 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>整形箇所</th> <th>法面締固めの有無</th> <th>土質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">盛土部</td> <td>有り</td> <td>レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">切土部</td> <td rowspan="2">-</td> <td>レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土</td> </tr> <tr> <td>軟岩 I</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、切土法面の表層部を削取りながらの法面整形又は盛土法面の表層部を削取りながらの法面整形及び築立てながらの法面 (土羽) 整形, 土羽土の現場内小運搬 (20m 程度) の他, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 残土の積み込み, 工区外の運搬, 並びに法面保護工は含まない。 3. 土羽土の搬入等は含まない。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 法面整形 (ICT) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ (ICT施工対応型))</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ (ICT施工対応型)) は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p>		整形箇所	法面締固めの有無	土質	盛土部	有り	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	無し	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	切土部	-	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	軟岩 I	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料	K2 ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ (ICT施工対応型))	賃料	K3 -		労務	R1 運転手 (特殊)		R2 土木一般世話役		R3 普通作業員		R4 -		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、切土法面の表層部を削取りながらの法面整形又は盛土法面の表層部を削取りながらの法面整形及び築立てながらの法面 (土羽) 整形, 土羽土の現場内小運搬 (20m 程度) の他, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含み、クレーン作業は含まない。 2. 残土の積み込み, 工区外の運搬, 並びに法面保護工は含まない。 3. 土羽土の搬入等は含まない。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 法面整形 (ICT) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ (ICT施工対応型))</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料	K2 ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ (ICT施工対応型))	賃料	K3 -		労務	R1 運転手 (特殊)		R2 土木一般世話役		R3 普通作業員		R4 -		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
整形箇所	法面締固めの有無	土質																																																																												
盛土部	有り	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土																																																																												
	無し	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土																																																																												
切土部	-	レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土																																																																												
		軟岩 I																																																																												
項目	代表機材規格	備考																																																																												
機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料																																																																												
	K2 ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ (ICT施工対応型))	賃料																																																																												
	K3 -																																																																													
労務	R1 運転手 (特殊)																																																																													
	R2 土木一般世話役																																																																													
	R3 普通作業員																																																																													
	R4 -																																																																													
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																													
	Z2 -																																																																													
	Z3 -																																																																													
	Z4 -																																																																													
市場単価	S -																																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																																												
機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料																																																																												
	K2 ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ (ICT施工対応型))	賃料																																																																												
	K3 -																																																																													
労務	R1 運転手 (特殊)																																																																													
	R2 土木一般世話役																																																																													
	R3 普通作業員																																																																													
	R4 -																																																																													
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																													
	Z2 -																																																																													
	Z3 -																																																																													
	Z4 -																																																																													
市場単価	S -																																																																													
積算上の注意事項	2・②・2		(控え頁) 1/1																																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																										
現	行	改 正	備 考																																																										
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 コンクリートブロック積</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 コンクリートブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="text-align: center;">鉄筋規格</th> <th style="text-align: center;">鉄筋 10m² 当り使用量</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(表 3.2)</td> <td style="text-align: center;">0.1t 以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">0.1t を超え 0.2t 以下</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、間知ブロック(勾配1割未満・ブロック質量150kg/個以上450kg/個以下)の設置、鉄筋(加工・組立)、目地材の設置、調整コンクリートの打設(材料費を含む)、現場内小運搬(50mまで)の他、水抜きパイプ(水抜き孔用吸出し防止材を含む)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、目地材料費は含まない。</p> <p>2. 鉄筋の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.03)</p> <p>3. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。</p> <p>4. 目地材料費は必要量を別途計上する。</p> <p>5. 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は、「3-10 胴込・裏込材(砕石)」より計上する。</p> <p>6. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。</p> <p>(4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照)</p> <p style="text-align: center;">表3.2 鉄筋規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="text-align: center;">積算条件</th> <th style="text-align: center;">区 分</th> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">鉄筋規格</td> <td style="text-align: center;">SD295 D13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD295 D16</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD345 D13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD345 D16~25</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート用棒鋼 各種</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不要</td> </tr> </table> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 コンクリートブロック積 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K 1</td> <td style="text-align: center;">バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9t</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td style="text-align: center;">運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td style="text-align: center;">ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td style="text-align: center;">土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z 1</td> <td style="text-align: center;">間知ブロック 高250×幅400×控350 滑面</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16</td> <td style="text-align: center;">鉄筋規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td style="text-align: center;">軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑧・5</p>		鉄筋規格	鉄筋 10m ² 当り使用量	(表 3.2)	0.1t 以下		0.1t を超え 0.2t 以下	積算条件	区 分	鉄筋規格	SD295 D13	SD295 D16	SD345 D13	SD345 D16~25	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種	不要	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料	K 2	-		K 3	-		労務	R 1	運転手(特殊)		R 2	ブロック工		R 3	普通作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	間知ブロック 高250×幅400×控350 滑面		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	鉄筋規格「不要」の場合を除く	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	-		市場単価	S	-		<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の修正</p>
鉄筋規格	鉄筋 10m ² 当り使用量																																																												
(表 3.2)	0.1t 以下																																																												
	0.1t を超え 0.2t 以下																																																												
積算条件	区 分																																																												
鉄筋規格	SD295 D13																																																												
	SD295 D16																																																												
	SD345 D13																																																												
	SD345 D16~25																																																												
	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種																																																												
	不要																																																												
項目	代表機材規格	備考																																																											
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料																																																										
	K 2	-																																																											
	K 3	-																																																											
労務	R 1	運転手(特殊)																																																											
	R 2	ブロック工																																																											
	R 3	普通作業員																																																											
	R 4	土木一般世話役																																																											
材料	Z 1	間知ブロック 高250×幅400×控350 滑面																																																											
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	鉄筋規格「不要」の場合を除く																																																										
	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																											
	Z 4	-																																																											
市場単価	S	-																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																										

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																			
現	行	改 正	備 考																																			
<p>3-2 大型ブロック積 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 大型ブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">水抜きパイプの有無</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">有り</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">無し</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、大型ブロック(勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上)の設置、鉄筋(加工・組立)、目地材の設置、調整コンクリートの打設(材料費を含む)、現場内小運搬(50mまで)の他、水抜きパイプ(水抜き孔用吸出し防止材を含む)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、鉄筋材料費及び目地材料費は含まない。 2. 鉄筋材料費は必要量を別途計上する。 3. 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は、「3-10 胴込・裏込材(碎石)」より計上する。 4. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。 5. 目地材料費は、実数量(材料ロスを含んだ数量)を別途計上する。 6. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照)</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 大型ブロック積 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 大型ブロック 控え500mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑧・6</p>		水抜きパイプの有無	有り	無し	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 ブロック工		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 大型ブロック 控え500mm		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、大型ブロック(勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上)の設置、鉄筋(加工・組立)、目地材の設置、調整コンクリートの打設(材料費を含む)、現場内小運搬(50mまで)の他、水抜きパイプ(水抜き孔用吸出し防止材を含む)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、鉄筋材料費及び目地材料費は含まない。 2. 鉄筋材料費は材料ロスを含んだ必要量を別途計上する。 3. 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は、「3-10 胴込・裏込材(碎石)」より計上する。 4. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。 5. 目地材料費は、実数量(材料ロスを含んだ数量)必要量を別途計上する。 6. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照)</p>		記載の修正
水抜きパイプの有無																																						
有り																																						
無し																																						
項目	代表機材規格	備考																																				
機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	賃料																																				
	K2 -																																					
	K3 -																																					
労務	R1 普通作業員																																					
	R2 ブロック工																																					
	R3 土木一般世話役																																					
	R4 特殊作業員																																					
材料	Z1 大型ブロック 控え500mm																																					
	Z2 -																																					
	Z3 -																																					
	Z4 -																																					
市場単価	S -																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																			

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																													
現	行	改	正																													
<p>3. 施工パッケージ 3-1 小型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 小型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表 3.2)</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">養生工無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">養生工無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">養生工無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">養生工無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、小型擁壁（擁壁平均高さ0.5m以上1.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、基礎材、均しコンクリート、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭）、特殊養生（ジェットヒータ））、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業を行う機械付補助労務、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事中用モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等）の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>2. コンクリート打設に使用するバケットの容量は0.3m³を標準とする。</p> <p>3. コンクリートの材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.06）</p> <p>4. 化粧型枠については加算費用を、「第II編第4章コンクリート工②-1型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。</p> <p>5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-8ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。</p> <p>6. 足場が必要な場合は別途計上すること。</p> <p>7. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p>		擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	(表 3.2)	(表 3.3)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無し		有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無し		有り	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無し		有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無し		<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類																												
(表 3.2)	(表 3.3)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																												
				特殊養生(ジェットヒータ)																												
			養生工無し																													
			有り	一般養生・特殊養生(練炭)																												
		特殊養生(ジェットヒータ)																														
		養生工無し																														
		有り	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																												
				特殊養生(ジェットヒータ)																												
養生工無し																																
有り	一般養生・特殊養生(練炭)																															
	特殊養生(ジェットヒータ)																															
養生工無し																																
<p style="text-align: center;">表3.2 擁壁平均高さ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">擁壁平均高さ</td> <td style="text-align: center;">0.5m以上0.6m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.6m以上0.8m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.8m以上1.0m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑩・5</p>		積算条件	区分	擁壁平均高さ	0.5m以上0.6m未満	0.6m以上0.8m未満	0.8m以上1.0m以下	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>																								
積算条件	区分																															
擁壁平均高さ	0.5m以上0.6m未満																															
	0.6m以上0.8m未満																															
	0.8m以上1.0m以下																															
積算上の注意事項		（控え頁） 1/6																														

語句の追加

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																											
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>3-2 重立式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 重立式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位: m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1.0mを超え 2.0m未満</td> <td rowspan="10">(表3.3)</td> <td rowspan="5">無し</td> <td rowspan="5">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="10">(表3.6)</td> </tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェット)</td></tr> <tr><td>養生工無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td></tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェット)</td></tr> <tr> <td rowspan="5">有り</td> <td rowspan="5">無し</td> <td rowspan="5">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェット)</td></tr> <tr><td>養生工無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td></tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェット)</td></tr> <tr> <td rowspan="10">2.0m以上 5.0m以下</td> <td rowspan="10">(表3.3)</td> <td rowspan="5">無し</td> <td rowspan="5">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェット)</td></tr> <tr><td>仮囲い内ジェット養生</td></tr> <tr><td>養生工無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td></tr> <tr> <td rowspan="5">有り</td> <td rowspan="5">無し</td> <td rowspan="5">有り</td> <td>特殊養生(練炭・ジェット)</td> </tr> <tr><td>仮囲い内ジェット養生</td></tr> <tr><td>養生工無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td></tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェット)</td></tr> <tr> <td rowspan="10"></td> <td rowspan="10">(表3.3)</td> <td rowspan="5">無し</td> <td rowspan="5">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェット)</td></tr> <tr><td>仮囲い内ジェット養生</td></tr> <tr><td>養生工無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td></tr> <tr> <td rowspan="5">有り</td> <td rowspan="5">無し</td> <td rowspan="5">有り</td> <td>特殊養生(練炭・ジェット)</td> </tr> <tr><td>仮囲い内ジェット養生</td></tr> <tr><td>養生工無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td></tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェット)</td></tr> <tr> <td rowspan="10"></td> <td rowspan="10">(表3.3)</td> <td rowspan="5">有り</td> <td rowspan="5">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェット)</td></tr> <tr><td>仮囲い内ジェット養生</td></tr> <tr><td>養生工無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td></tr> <tr> <td rowspan="5">有り</td> <td rowspan="5">有り</td> <td rowspan="5">有り</td> <td>特殊養生(練炭・ジェット)</td> </tr> <tr><td>仮囲い内ジェット養生</td></tr> <tr><td>養生工無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td></tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェット)</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、重立式擁壁(擁壁平均高さ1.0mを超え5.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、一般足場(擁壁平均高さが2m未満の場合)、手摺先行型枠組足場(擁壁平均高さが2m以上の場合)、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェット)、仮囲い内ジェット養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートバイブレータ、工事中水モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホップ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの簡先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし化粧型枠は含まない。 2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.04) 3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「第II編第4章コンクリート工②-1型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-8ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。 6. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p>	擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	1.0mを超え 2.0m未満	(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)	特殊養生(練炭・ジェット)	養生工無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェット)	有り	無し	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェット)	養生工無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェット)	2.0m以上 5.0m以下	(表3.3)	無し	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェット)	仮囲い内ジェット養生	養生工無し	一般養生	有り	無し	有り	特殊養生(練炭・ジェット)	仮囲い内ジェット養生	養生工無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェット)		(表3.3)	無し	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェット)	仮囲い内ジェット養生	養生工無し	一般養生	有り	無し	有り	特殊養生(練炭・ジェット)	仮囲い内ジェット養生	養生工無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェット)		(表3.3)	有り	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェット)	仮囲い内ジェット養生	養生工無し	一般養生	有り	有り	有り	特殊養生(練炭・ジェット)	仮囲い内ジェット養生	養生工無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェット)	<p>現行どおり</p> <p>次頁へ移動</p>	
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																																									
1.0mを超え 2.0m未満	(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)																																																																									
				特殊養生(練炭・ジェット)																																																																										
				養生工無し																																																																										
				一般養生																																																																										
				特殊養生(練炭・ジェット)																																																																										
		有り	無し	無し		一般養生																																																																								
						特殊養生(練炭・ジェット)																																																																								
						養生工無し																																																																								
						一般養生																																																																								
						特殊養生(練炭・ジェット)																																																																								
2.0m以上 5.0m以下	(表3.3)	無し	無し	一般養生																																																																										
				特殊養生(練炭・ジェット)																																																																										
				仮囲い内ジェット養生																																																																										
				養生工無し																																																																										
				一般養生																																																																										
		有り	無し	有り	特殊養生(練炭・ジェット)																																																																									
					仮囲い内ジェット養生																																																																									
					養生工無し																																																																									
					一般養生																																																																									
					特殊養生(練炭・ジェット)																																																																									
	(表3.3)	無し	無し	一般養生																																																																										
				特殊養生(練炭・ジェット)																																																																										
				仮囲い内ジェット養生																																																																										
				養生工無し																																																																										
				一般養生																																																																										
		有り	無し	有り	特殊養生(練炭・ジェット)																																																																									
					仮囲い内ジェット養生																																																																									
					養生工無し																																																																									
					一般養生																																																																									
					特殊養生(練炭・ジェット)																																																																									
	(表3.3)	有り	無し	一般養生																																																																										
				特殊養生(練炭・ジェット)																																																																										
				仮囲い内ジェット養生																																																																										
				養生工無し																																																																										
				一般養生																																																																										
		有り	有り	有り	特殊養生(練炭・ジェット)																																																																									
					仮囲い内ジェット養生																																																																									
					養生工無し																																																																									
					一般養生																																																																									
					特殊養生(練炭・ジェット)																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 2/6																																																																											

語句の追加

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																												
現	行	改	正																																																																											
前頁から移動		現行どおり																																																																												
<p>7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>8. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第II編第5章仮設工③-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。</p> <p>9. 擁壁平均高さが1.0mを超え2.0m未満で、「仮囲い内ジェットヒータ養生」が必要な場合には別途考慮すること。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 圧送管延長距離区分</p> <table border="1"> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">圧送管延長</td> <td>延長無し</td> </tr> <tr> <td>90m未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">距離区分</td> <td>90m以上180m未満</td> </tr> <tr> <td>180m以上280m以下</td> </tr> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 重力式擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1mを超え 2m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90~110m³/h</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">2m以上5m以下</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90~110m³/h</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕 〔油だき・熱風・直火型〕熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>とび工 特殊作業員</td> <td>一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		積算条件	区分	圧送管延長	延長無し	90m未満	距離区分	90m以上180m未満	180m以上280m以下	擁壁平均高さ	項目	代表機材規格	備考	1mを超え 2m未満	機械	K1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90~110m ³ /h	K2	-	K3	-	労務	R1	普通作業員	R2	型わく工	R3	土木一般世話役	R4	特殊作業員	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	2m以上5m以下	機械	K1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90~110m ³ /h	K2	業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕 〔油だき・熱風・直火型〕熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K3	発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R1	普通作業員	R2	型わく工	R3	土木一般世話役	R4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油	Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z4	-	市場単価	S	-	<p>6. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>8. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第II編第5章仮設工③-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。</p> <p>9. 擁壁平均高さが1.0mを超え2.0m未満で、「仮囲い内ジェットヒータ養生」が必要な場合には別途考慮すること。</p>		
積算条件	区分																																																																													
圧送管延長	延長無し																																																																													
	90m未満																																																																													
距離区分	90m以上180m未満																																																																													
	180m以上280m以下																																																																													
擁壁平均高さ	項目	代表機材規格	備考																																																																											
1mを超え 2m未満	機械	K1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90~110m ³ /h																																																																											
		K2	-																																																																											
		K3	-																																																																											
	労務	R1	普通作業員																																																																											
		R2	型わく工																																																																											
		R3	土木一般世話役																																																																											
		R4	特殊作業員																																																																											
	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																											
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																											
		Z3	-																																																																											
Z4		-																																																																												
市場単価	S	-																																																																												
2m以上5m以下	機械	K1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90~110m ³ /h																																																																											
		K2	業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕 〔油だき・熱風・直火型〕熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																										
		K3	発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																										
	労務	R1	普通作業員																																																																											
		R2	型わく工																																																																											
		R3	土木一般世話役																																																																											
		R4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																										
	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																											
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																											
		Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																										
Z4		-																																																																												
市場単価	S	-																																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 3/6																																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行																												
現	行	改	正																											
<p>【参考図】</p> <p>擁壁高さが変化する場合の擁壁平均高さH (m)</p> $H = A / L$ <p>A = 正面図での擁壁面積 (m²) L = 擁壁延長 (m)</p> <p style="text-align: center;">擁壁正面図 擁壁断面図</p> <p>3-3 もたれ式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 もたれ式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位: m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、もたれ式擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上8.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場工、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生・特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートバイブレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの簡先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.04)</p>		コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無し	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	<p>現行どおり</p>		<p>備考</p> <p style="text-align: right;">語句の追加</p>
コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																										
(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																										
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																											
			仮囲い内ジェットヒータ養生																											
		養生工無し																												
		有り	一般養生																											
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																											
	仮囲い内ジェットヒータ養生																													
	有り	無し	一般養生																											
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																											
			仮囲い内ジェットヒータ養生																											
		有り	一般養生																											
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																											
仮囲い内ジェットヒータ養生																														
積算上の注意事項	2・⑩・9		(控え頁) 4/6																											

改正理由	一部改正	改正 現行																																
現	行	改	正																															
<p>3-4 逆T型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.11)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェット材)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェット材養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェット材)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェット材養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェット材)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェット材養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェット材)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェット材養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、逆T型擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上10.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びクレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェット材)、仮囲い内ジェット材養生)、圧送管の組立・撤去、ベールコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの簡先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。 3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「第II編第4章コンクリート工②-1型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ベールコンクリートの材料費については、「3-8ベールコンクリート(材料費)」により別途計上すること。 6. ガス圧接が必要な場合は、「第VI編第2章①-2鉄筋工(ガス圧接工)」により別途計上する。 7. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 9. 「仮囲い内ジェット材養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第II編第5章仮設工③-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">2・⑩・11</p>		コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生 (練炭・ジェット材)	仮囲い内 ジェット材養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェット材)	仮囲い内 ジェット材養生	有り	無し	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェット材)	仮囲い内 ジェット材養生	有り	有り	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェット材)	仮囲い内 ジェット材養生	<p>現行どおり</p>		<p>語句の追加</p>
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																													
(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																													
				特殊養生 (練炭・ジェット材)																														
				仮囲い内 ジェット材養生																														
			有り	一般養生																														
				特殊養生 (練炭・ジェット材)																														
				仮囲い内 ジェット材養生																														
		有り	無し	無し		一般養生																												
						特殊養生 (練炭・ジェット材)																												
						仮囲い内 ジェット材養生																												
			有り	有り		有り	一般養生																											
							特殊養生 (練炭・ジェット材)																											
							仮囲い内 ジェット材養生																											
積算上の注意事項			(控え頁) 5/6																															

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																													
現	行	改	正																													
<p>3-5 L型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.13 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.11)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、L型擁壁（擁壁平均高さ3.0m以上7.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びゲレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等）の損料、コンクリートポンプ車のホースの簡先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。 3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「第II編第4章コンクリート工②-1型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-8ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。 6. ガス圧接が必要な場合は、「第VI編第2章①-2鉄筋工（ガス圧接工）」により別途計上する。 7. 基礎碎石の敷均し厚は、20 cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 9. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第II編第5章仮設工③-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">2・⑩・13</p>		コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	<p>現行どおり</p>	<p>語句の追加</p>
コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																											
(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																											
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																												
				仮囲い内ジェットヒータ養生																												
			有り	一般養生																												
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																												
				仮囲い内ジェットヒータ養生																												
		有り	無し	無し		一般養生																										
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																										
						仮囲い内ジェットヒータ養生																										
			有り	有り		一般養生																										
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																										
						仮囲い内ジェットヒータ養生																										
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>6/6</p>																													

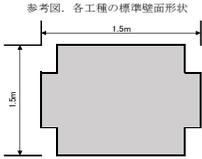
改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

⑭ 補強土壁工(帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁)

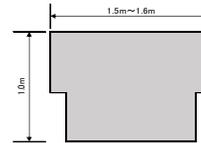
1. 適用範囲
本資料は、補強土壁工(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)において、コンクリート製壁面材(帯鋼補強土壁においては、薄型壁面材含む)によるものに適用する。なお、鋼製壁面材には適用しない。
帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁の標準仕様を表1.1に示す。

表1.1 帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁における壁面材・補強材の仕様

工 種	帯鋼補強土壁	アンカー補強土壁
標準壁面形状	十字型の1.5m×1.5m (高さ×長さ)	1.0m×1.5~1.6m (高さ×長さ)
補 強 材	ストリップ幅: 60~80 mm	SS400規格, SS490規格
壁面材強度	コンクリート設計基準強度: 21~30N/mm ²	コンクリート設計基準強度: 30N/mm ² , 40N/mm ²
盛 土	1層仕上り高さ: 25 cm	1層仕上り高さ: 25 cm



帯鋼補強土壁正面図



アンカー補強土壁 正面図

(注) 1. 参考図に示したのは、各工種の標準壁面形状である。
2. 本施工パッケージは、壁面最上段部(ハーフ)、最下段部(ハーフ)、コーナー部等の異形壁面材にかかわらず適用出来る。

2・⑭・1

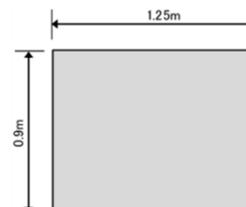
⑭ 補強土壁工(帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁・**ジオテキスタイル補強土壁**)

1. 適用範囲
本資料は、補強土壁工(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁・**ジオテキスタイル補強土壁**) ~~において、コンクリート製壁面材(帯鋼補強土壁においては、薄型壁面材含む)によるものに適用する。なお、鋼製壁面材には適用しない。~~
→ **ジオテキスタイル補強土壁(鋼製棒タイプ)**は「2章⑯補強盛土工」による。
1-1 適用できる範囲
(1) 帯鋼補強土壁において、コンクリート壁面材(薄型壁面材も含む)によるもの
(2) アンカー補強土壁において、コンクリート壁面材によるもの
(3) ジオテキスタイル補強土壁において、コンクリート製壁面材と簡易鋼製棒を有する二重壁タイプによるもの
帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁・**ジオテキスタイル補強土壁**の標準仕様を表1.1に示す。

表1.1 帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁における壁面材・補強材の仕様

工 種	帯鋼補強土壁	アンカー補強土壁	ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ)
標準壁面形状	十字型の1.5m×1.5m (高さ×長さ)	1.0m×1.5~1.6m (高さ×長さ)	0.9m×1.25m (高さ×長さ)
補 強 材	ストリップ幅: 60~80 mm	SS400規格, SS490規格	ジオテキスタイル
壁面材強度	コンクリート設計基準強度: 21~30N/mm²以上	30N/mm²~40N/mm²以上	30N/mm ²
盛 土	1層仕上り高さ: 25 cm	1層仕上り高さ: 25 cm	1層仕上り高さ: 25 cm

現行どおり



ジオテキスタイル補強土壁
(二重壁タイプ)正面図

(注) 1. 参考図に示したのは、各工種の標準壁面形式である。
2. 本施工パッケージは、壁面最上部(ハーフ)、最下段部(ハーフ)、コーナー部等の異形壁面材にかかわらず適用出来る。

備 考

記載の追加・修正・
削除
(歩掛り改定に伴う)

記載の追加
(歩掛り改定に伴う)

工 種	補強土壁工(帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁)
-----	-------------------------------------

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考
	<p>現 行</p> <p>2. 施 工 概 要 施工フローは下記を標準とする。</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p>改 正</p> <p>2. 施 工 概 要 施工フローは下記を標準とする。</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p>備 考</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項	2・⑩・2		(控え頁) 2/8

工 種	補強土壁工(帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁)
-----	-------------------------------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																					
	<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 補強土壁壁面材組立・設置</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 補強土壁壁面材組立・設置 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>工法区分</th></tr> <tr><td>帯鋼補強土壁</td></tr> <tr><td>アンカー補強土壁</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、補強土壁工(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)の壁面材の組立・設置、水平目地材、透水防砂材、ボルト・ナットの設置の他、クランプ、定規、ワイヤ、吊金具、カップラ、くさび、スベラー、角材、支柱等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、補強土壁壁面材(材料費)は含まない。</p> <p>2. 補強土壁壁面材の材料費は別途計上する。</p> <p>3. 基礎コンクリートについては、「第II編第4章①コンクリート工」により別途計上する。</p> <p>4. 現場条件により表3.2に示す代表機械の規格により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>5. 排水管が必要な場合は別途計上する。</p> <p>6. 足場が必要な場合は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 補強土壁壁面材組立・設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン【油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)】2.5t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)】山積0.5m³(平積0.4m³)吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 補強土壁壁面材(材料費)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>補強土壁壁面材(材料費)における積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 材料費には、水平目地材、透水防砂材、ボルト・ナット等を含む。</p> <p style="text-align: center;">2・⑩・3</p>	工法区分	帯鋼補強土壁	アンカー補強土壁	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン【油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)】2.5t吊	賃料	K2 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)】山積0.5m ³ (平積0.4m ³)吊能力2.9t	賃料	K3 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 補強土壁壁面材組立・設置</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 補強土壁壁面材組立・設置 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>工法区分</th></tr> <tr><td>帯鋼補強土壁</td></tr> <tr><td>アンカー補強土壁</td></tr> <tr><td>ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ)</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、補強土壁工(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)の壁面材の組立・設置、水平目地材、透水防砂材、ボルト・ナットの設置の他、クランプ、定規、ワイヤ、吊金具、カップラ、くさび、スベラー、角材、支柱等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、補強土壁壁面材(材料費)は含まない。</p> <p>2. 上表は、ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)の壁面材組立・設置、パネル付属部材、縦目地シート、吸出し防止材(縦目地用)、壁面取付材及び簡易鋼製枠の設置の他、吊ワイヤ、吊金具、ハンマ、バル等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、補強土壁壁面材(材料費)は含まない。</p> <p>③3. 補強土壁壁面材の材料費は別途計上する。</p> <p>④4. 基礎コンクリートについては、「第4章①コンクリート工」により別途計上する。</p> <p>⑤5. 現場条件により表3.2に示す代表機械の規格により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>⑥6. 排水管が必要な場合は別途計上する。</p> <p>⑦7. 足場が必要な場合は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 補強土壁壁面材組立・設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン【油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)】2.5t吊バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)】山積0.5m³(平積0.4m³)吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)】山積0.5m³(平積0.4m³)吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">次頁へ移動</p>	工法区分	帯鋼補強土壁	アンカー補強土壁	ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ)	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン【油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)】2.5t吊 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)】山積0.5m ³ (平積0.4m ³)吊能力2.9t	賃料	K2 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)】山積0.5m³(平積0.4m³)吊能力2.9t	賃料	K3 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>記載の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>代表機械の追加・修正・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
工法区分																																																																								
帯鋼補強土壁																																																																								
アンカー補強土壁																																																																								
項目	代表機材規格	備考																																																																						
機械	K1 ラフテレーンクレーン【油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)】2.5t吊	賃料																																																																						
	K2 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)】山積0.5m ³ (平積0.4m ³)吊能力2.9t	賃料																																																																						
	K3 -																																																																							
労務	R1 運転手(特殊)																																																																							
	R2 普通作業員																																																																							
	R3 土木一般世話役																																																																							
	R4 特殊作業員																																																																							
材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油																																																																							
	Z2 -																																																																							
	Z3 -																																																																							
	Z4 -																																																																							
市場単価	S -																																																																							
工法区分																																																																								
帯鋼補強土壁																																																																								
アンカー補強土壁																																																																								
ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ)																																																																								
項目	代表機材規格	備考																																																																						
機械	K1 ラフテレーンクレーン【油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)】2.5t吊 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)】山積0.5m ³ (平積0.4m ³)吊能力2.9t	賃料																																																																						
	K2 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)】山積0.5m³(平積0.4m³)吊能力2.9t	賃料																																																																						
	K3 -																																																																							
労務	R1 運転手(特殊)																																																																							
	R2 普通作業員																																																																							
	R3 土木一般世話役																																																																							
	R4 特殊作業員																																																																							
材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油																																																																							
	Z2 -																																																																							
	Z3 -																																																																							
	Z4 -																																																																							
市場単価	S -																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 3/8																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																			
現 行	改 正		備 考																																																																			
<p>3-3 補強材取付</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 補強材取付 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">工法区分</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">帯鋼補強土壁</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">アンカー補強土壁</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、補強土壁工(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)の補強材の取付け、結合作業の他、アンカー補強土壁におけるターンバックルの設置・調整等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、補強材(材料費)は含まない。 2. 補強材の材料費は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 補強材取付 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K 2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K 3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td></tr> <tr><td>R 4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z 2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z 3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>3-4 補強材(材料費)</p> <p>(1) 条件区分 補強材(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 材料費には、アングル、ターンバックル、アンカープレート等を含む。</p> <p style="text-align: center;">2・⑩・4</p>	工法区分	帯鋼補強土壁	アンカー補強土壁	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">前頁から移動</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p>3-2 補強土壁壁面材(材料費)</p> <p>(1) 条件区分 補強土壁壁面材(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 1. 帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁の材料費には、水平目地材、透水防砂材、歩掛り改定等を含む。 2. ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)の材料費には、パネル付属部材、縦目地シート、吸出し防止材(縦目地用)、壁面取付材及び簡易鋼製枠等を含む。</p> <p>3-3 補強材取付</p> <p>3-3-1 補強材取付(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 補強材取付 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">工法区分</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">帯鋼補強土壁</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">アンカー補強土壁</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、補強土壁工(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)の補強材の取付け、結合作業(ボルト・ナット等による)の他、アンカー補強土壁におけるターンバックルの設置・調整等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、補強材(材料費)は含まない。 2. 補強材の材料費は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 補強材取付(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K 2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K 3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td></tr> <tr><td>R 4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z 2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z 3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>3-3-2 補強材取付(ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ))</p> <p>(1) 条件区分 補強材取付(ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ))における条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 1. 上表は、補強土壁工(ジオテキスタイル補強土壁)の補強材の取付け、結合作業の他、補強材取付に使用する杭、ハンマ、スコップ、バール等の費用、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、補強材(材料費)は含まない。 2. 補強材の材料費は別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">次頁へ移動</p>	工法区分	帯鋼補強土壁	アンカー補強土壁	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
工法区分																																																																						
帯鋼補強土壁																																																																						
アンカー補強土壁																																																																						
項目	代表機材規格	備考																																																																				
機械	K 1	—																																																																				
	K 2	—																																																																				
	K 3	—																																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																																				
	R 2	土木一般世話役																																																																				
	R 3	特殊作業員																																																																				
	R 4	—																																																																				
材料	Z 1	—																																																																				
	Z 2	—																																																																				
	Z 3	—																																																																				
	Z 4	—																																																																				
市場単価	S	—																																																																				
工法区分																																																																						
帯鋼補強土壁																																																																						
アンカー補強土壁																																																																						
項目	代表機材規格	備考																																																																				
機械	K 1	—																																																																				
	K 2	—																																																																				
	K 3	—																																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																																				
	R 2	土木一般世話役																																																																				
	R 3	特殊作業員																																																																				
	R 4	—																																																																				
材料	Z 1	—																																																																				
	Z 2	—																																																																				
	Z 3	—																																																																				
	Z 4	—																																																																				
市場単価	S	—																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 4/8																																																																			

改正理由	一部改正	改 正 現 行																																													
現 行	改 正		備 考																																												
	<p style="text-align: center;">(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 補強材取付(ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">3-4 補強材(材料費) 3-4-1 補強材(材料費)(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁) (1) 条件区分 補強材(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 材料費には、アングル、ターンバックル、アンカープレート、連結部材、ボルト・ナット等を含む。</p> <p style="margin-left: 20px;">3-4-2 補強材(材料費)(ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)) (1) 条件区分 補強材(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 連結金具等を含む。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—			<p style="text-align: center;">前頁から移動 →</p> <p style="text-align: center;">記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p style="text-align: center;">記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																												
機械	K 1	—																																													
	K 2	—																																													
	K 3	—																																													
労務	R 1	普通作業員																																													
	R 2	土木一般世話役																																													
	R 3	特殊作業員																																													
	R 4	—																																													
材料	Z 1	—																																													
	Z 2	—																																													
	Z 3	—																																													
	Z 4	—																																													
市場単価	S	—																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 5/8																																												

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																				
	現 行	改 正	備 考																																																																				
<p>3-5 まき出し・敷均し、締固め (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 まき出し・敷均し、締固め 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">工法区分</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">帯鋼補強土壁</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">アンカー補強土壁</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、補強土壁工(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)のまき出し、敷均し、締固めの他、振動ローラ(舗装用・ハンドガイド式)、タンバの運転経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 施工量の範囲は、壁面上端までと補強材後部までの盛土を対象とする(参考図参照)。 3. 現場条件により表3.6に示す代表機械の規格により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 まき出し・敷均し、締固め 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型(第2次基準値)] 7t級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.5m3 (平積 0.4m3) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6 排水管敷設工 排水管敷設工を施工する場合は、「第II編第2章⑩-1 排水構造物工」暗渠排水管により別途計上する。</p>	工法区分	帯鋼補強土壁	アンカー補強土壁	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型(第2次基準値)] 7t級	賃料	K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.5m3 (平積 0.4m3) 吊能力 2.9t	賃料	K3 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料	労務	R1 運転手(特殊)		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>3-5 まき出し・敷均し、締固め (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.56 まき出し・敷均し、締固め 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">工法区分</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">帯鋼補強土壁</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">アンカー補強土壁</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、補強土壁工(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ))のまき出し、敷均し、締固めの他、振動ローラ(舗装用・ハンドガイド式)、タンバの運転経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 施工量の範囲は、壁面上端までと補強材後部までの盛土を対象とする(参考図参照)。 3. 現場条件により表3.67に示す代表機械の規格により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.67 まき出し・敷均し、締固め 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型(第2次基準値)] 7t級 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.5m3 (平積 0.4m3) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.5m3 (平積 0.4m3) 吊能力 2.9t 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6 排水管敷設工 排水管敷設工を施工する場合は、「第II編第2章⑩-1 排水構造物工」暗渠排水管により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	工法区分	帯鋼補強土壁	アンカー補強土壁	ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型(第2次基準値)] 7t級 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.5m3 (平積 0.4m3) 吊能力 2.9t	賃料	K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.5m3 (平積 0.4m3) 吊能力 2.9t 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料	K3 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料	労務	R1 運転手(特殊)		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>語句の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>代表機械の追加・修正・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
工法区分																																																																							
帯鋼補強土壁																																																																							
アンカー補強土壁																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																					
機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型(第2次基準値)] 7t級	賃料																																																																					
	K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.5m3 (平積 0.4m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																					
	K3 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料																																																																					
労務	R1 運転手(特殊)																																																																						
	R2 普通作業員																																																																						
	R3 土木一般世話役																																																																						
	R4 特殊作業員																																																																						
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																						
	Z2 -																																																																						
	Z3 -																																																																						
	Z4 -																																																																						
市場単価	S -																																																																						
工法区分																																																																							
帯鋼補強土壁																																																																							
アンカー補強土壁																																																																							
ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																					
機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型(第2次基準値)] 7t級 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.5m3 (平積 0.4m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																					
	K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.5m3 (平積 0.4m3) 吊能力 2.9t 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料																																																																					
	K3 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料																																																																					
労務	R1 運転手(特殊)																																																																						
	R2 普通作業員																																																																						
	R3 土木一般世話役																																																																						
	R4 特殊作業員																																																																						
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																						
	Z2 -																																																																						
	Z3 -																																																																						
	Z4 -																																																																						
市場単価	S -																																																																						
積算上の注意事項	2・⑩・5		(控え頁) 6/8																																																																				

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
現 行	改 正		備 考
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">現行なし</div>			<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 7/8

3-7 砕石投入
(1) 条件区分
砕石投入は、ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)にのみ適用する。
積算単位は、m³とする。

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

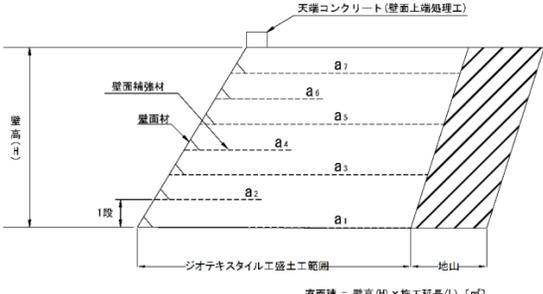
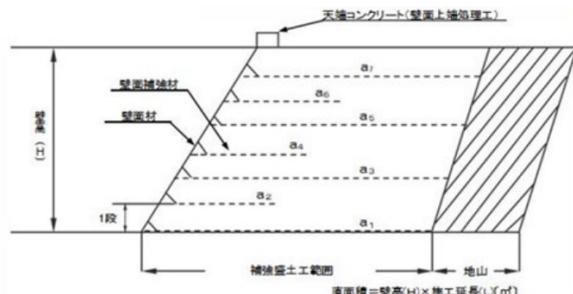
表3.8 砕石投入工 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(2014年規制)] 山積0.5m ³ (平積0.4m ³) 吊能力2.9t	賃料
	K 2 -	
	K 3 -	
労務	R 1 普通作業員	
	R 2 特殊作業員	
	R 3 運転手(特殊)	
	R 4 土木一般世話役	
材料	Z 1 -	
	Z 2 -	
	Z 3 -	
	Z 4 -	
市場単価	S -	

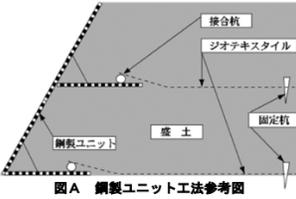
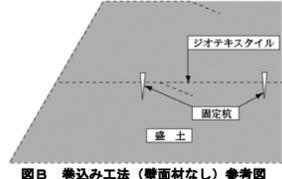
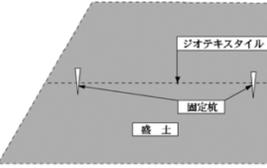
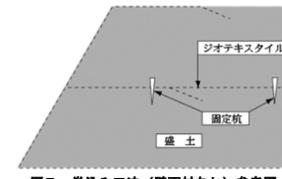
改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	現 行	改 正	備 考
	<p>3-7 壁面上端処理工 壁面上端処理を施工する場合は、下記による。</p> <p>(1) コンクリート工 「第II編第4章①コンクリート工」により別途計上する。</p> <p>(2) 型枠工 「第II編第4章②-1型枠工」により別途計上する。</p> <p>(3) 鉄筋工 鉄筋工は「第VI編第2章①-1鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">【参考図】</p> <p style="text-align: center;">補強土壁工標準断面図</p> <p>(注) 天端コンクリート施工等の足場については、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">2・⑩・6</p>	<p>3-78 壁面上端処理工</p> <p style="font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">【参考図】</p> <p style="text-align: center;">格鋼補強土壁・アンカー補強土壁工標準断面図</p> <p style="text-align: center;">ジオテキスタイル補強土壁工標準断面図(二重壁タイプ)</p> <p>(注) 天端コンクリート施工等の足場については、別途考慮する。</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 8/8

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
	<p>⑮ ジオテキスタイル工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、ジオテキスタイル（ジオグリッド、ジオネット、織布、不織布）を用いた補強土壁工及び盛土補強工に適用する。ただし、軟弱地盤における敷設材工法及び盛土の補強工法は適用範囲外とする。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 1-1-1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置 （1）鋼製ユニットの場合 1-1-2 ジオテキスタイル敷設、まき出し・敷均し、締固め （1）ジオテキスタイル工1段当りの施工高さが1.5mまでの場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 1-2-1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置 （1）壁面材が、コンクリートパネル形式、コンクリートブロック形式、土のう（植生土のうを含む）及び植生マットの場合 1-2-2 ジオテキスタイル敷設、まき出し・敷均し、締固め （1）壁面材が、コンクリートパネル形式、コンクリートブロック形式、土のう（植生土のうを含む）及び植生マットの場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>（鋼製ユニットの場合）</p> <pre> graph TD A[機械・材料搬入] --> B[壁面材組立・設置] B --> C[ジオテキスタイル敷] C --> D[まき出し・敷均し] D --> E[締固め] E --> F[壁面上端処理] F --> G[機械搬出] </pre> </div> <div style="text-align: center;"> <p>（壁面材なしの場合）</p> <pre> graph TD A[機械・材料搬入] --> B[ジオテキスタイル敷] B --> C[まき出し・敷均し] C --> D[締固め] D --> E[壁面上端処理] E --> F[機械搬出] </pre> </div> </div> <p>（注）本施工パッケージに対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">2・⑮・1</p>	<p>⑮ ジオテキスタイル補強盛土工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、ジオテキスタイル（ジオグリッド、ジオネット、織布、不織布）を用いた補強土壁工盛土及び盛土補強工ジオテキスタイル補強土壁（鋼製ユニット枠タイプ）に適用する。ただし、軟弱地盤における敷設材工法及び盛土の補強工法は適用範囲外とする。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 1-1-1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置 （1）鋼製ユニット枠タイプの場合 1-1-2 ジオテキスタイル敷設、まき出し・敷均し、締固め （1）ジオテキスタイル工1段当りの施工高さが1.5mまでの場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>（鋼製ユニット枠タイプの場合）</p> <pre> graph TD A[機械・材料搬入] --> B[壁面材組立・設置] B --> C[ジオテキスタイル敷] C --> D[まき出し・敷均し] D --> E[締固め] E --> F[壁面上端処理] F --> G[機械搬出] </pre> </div> <div style="text-align: center;"> <p>（壁面材なしの場合）</p> <pre> graph TD A[機械・材料搬入] --> B[ジオテキスタイル敷] B --> C[まき出し・敷均し] C --> D[締固め] D --> E[壁面上端処理] E --> F[機械搬出] </pre> </div> </div> <p>（注）本施工パッケージに対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p>語句の修正 （歩掛り改定に伴う）</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p>語句の修正 （歩掛り改定に伴う）</p>
積算上の注意事項			（控え頁） 1/6

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																					
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置 (1) 条件区分 ジオテキスタイル壁面材組立・設置に積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び盛土補強工の壁面材の組立・設置、吸出し防止材の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、ジオテキスタイル壁面材（材料費）及び吸出し防止材の材料費は含まない。 2. ジオテキスタイル壁面材及び吸出し防止材の材料費は別途計上する。 3. 適用される壁面材の種類は、表3. 2のとおりとする。 4. 施工量は、直面積（壁高×施工延長）とする（図3-1参考図参照）。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R2</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R3</td><td>特殊作業員</td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3. 2 壁面材の種類</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">壁面材種類</th> <th colspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>幅 (mm)</th> <th>一層当り施工高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="4">鋼製ユニット</td><td>2,000</td><td>500mm 以下</td><td>タイプ A</td></tr> <tr><td>2,000</td><td>600mm 以下</td><td>タイプ B</td></tr> <tr><td>1,000</td><td>600mm 以下</td><td>タイプ C</td></tr> <tr><td>1,200</td><td>600mm 以下</td><td>タイプ D</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>3-2 ジオテキスタイル壁面材（材料費） (1) 条件区分 ジオテキスタイル壁面材（材料費）に積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 壁面材の材料使用量は、「4. 参考資料」を参考に m² 当り数量を算出する。</p> <p>(注) 本施工パッケージに対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">2・⑮・2</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	土木一般世話役	R3	特殊作業員	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	壁面材種類	規 格		備 考	幅 (mm)	一層当り施工高	鋼製ユニット	2,000	500mm 以下	タイプ A	2,000	600mm 以下	タイプ B	1,000	600mm 以下	タイプ C	1,200	600mm 以下	タイプ D	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">鋼製ユニット枠 タイプ</p> <p style="text-align: center;">表3. 2 壁面材の種類</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">壁面材種類</th> <th colspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>幅 (mm)</th> <th>一層当り施工高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="4">鋼製ユニット枠 タイプ</td><td>2,000</td><td>500mm 以下</td><td>タイプ A</td></tr> <tr><td>2,000</td><td>600mm 以下</td><td>タイプ B</td></tr> <tr><td>1,000</td><td>600mm 以下</td><td>タイプ C</td></tr> <tr><td>1,200</td><td>600mm 以下</td><td>タイプ D</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</p>	壁面材種類	規 格		備 考	幅 (mm)	一層当り施工高	鋼製ユニット枠 タイプ	2,000	500mm 以下	タイプ A	2,000	600mm 以下	タイプ B	1,000	600mm 以下	タイプ C	1,200	600mm 以下	タイプ D	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																						
機械	K1	—																																																																						
	K2	—																																																																						
	K3	—																																																																						
労務	R1	普通作業員																																																																						
	R2	土木一般世話役																																																																						
	R3	特殊作業員																																																																						
	R4	—																																																																						
材料	Z1	—																																																																						
	Z2	—																																																																						
	Z3	—																																																																						
	Z4	—																																																																						
市場単価	S	—																																																																						
壁面材種類	規 格		備 考																																																																					
	幅 (mm)	一層当り施工高																																																																						
鋼製ユニット	2,000	500mm 以下	タイプ A																																																																					
	2,000	600mm 以下	タイプ B																																																																					
	1,000	600mm 以下	タイプ C																																																																					
	1,200	600mm 以下	タイプ D																																																																					
壁面材種類	規 格		備 考																																																																					
	幅 (mm)	一層当り施工高																																																																						
鋼製ユニット枠 タイプ	2,000	500mm 以下	タイプ A																																																																					
	2,000	600mm 以下	タイプ B																																																																					
	1,000	600mm 以下	タイプ C																																																																					
	1,200	600mm 以下	タイプ D																																																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 2/6																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行																																	
現 行		改 正																																	
備 考																																			
<p>3-3 ジオテキスタイル敷設</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>ジオテキスタイル敷設に積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び盛土補強工のジオテキスタイルの敷設（ジオテキスタイル巻き込み作業含む）の他、ジオテキスタイル敷設に使用する杭、ハンマ、パール、結束線等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、ジオテキスタイル（材料費）は含まない。</p> <p>2. ジオテキスタイルの材料費は別途計上する。</p> <p>3. ジオテキスタイルの敷設面積の算出については、次式の通りとする。</p> $\text{ジオテキスタイル敷設面積 (m}^2\text{)} = a_1 + a_2 + a_3 \dots$ <p style="text-align: center;">$a_1, a_2, a_3 \dots$: ジオテキスタイル工1段当り敷設面積 (m²) (図3-1 参考図参照)</p> <p>4. ジオテキスタイル工1段当り敷設面積には、壁面補強材の面積も含み、巻き込み部の面積は含まないものとする。</p>  <p style="text-align: center;">図3-1 ジオテキスタイル工標準断面図(参考図)</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表3.3 ジオテキスタイル敷設 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本施工パッケージに対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">2・⑮・3</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	土木一般世話役	R3	特殊作業員	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>3-3 ジオテキスタイル敷設</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>ジオテキスタイル敷設に積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び盛土補強工のジオテキスタイルの敷設（ジオテキスタイル巻き込み作業含む）の他、ジオテキスタイル敷設に使用する杭、ハンマ、スコープ、パール、結束線等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、ジオテキスタイル（材料費）は含まない。</p> <p>2. ジオテキスタイルの材料費は別途計上する。</p> <p>3. ジオテキスタイルの敷設面積の算出については、次式の通りとする。</p> $\text{ジオテキスタイル敷設面積 (m}^2\text{)} = a_1 + a_2 + a_3 \dots$ <p style="text-align: center;">$a_1, a_2, a_3 \dots$: ジオテキスタイル工1段当り敷設面積 (m²) (図3-1 参考図参照)</p> <p>4. ジオテキスタイル工1段当り敷設面積には、壁面補強材の面積も含み、巻き込み部の面積は含まないものとする。</p>  <p style="text-align: center;">図3-1 ジオテキスタイル補強盛土工標準断面図(参考図)</p>		<p>語句の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																	
機械	K1	—																																	
	K2	—																																	
	K3	—																																	
労務	R1	普通作業員																																	
	R2	土木一般世話役																																	
	R3	特殊作業員																																	
	R4	—																																	
材料	Z1	—																																	
	Z2	—																																	
	Z3	—																																	
	Z4	—																																	
市場単価	S	—																																	
積算上の注意事項		(控え頁) 3/6																																	

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																															
現	行	改 正	備 考																															
<p>3-4 まき出し・敷均し、締固め</p> <p>(1) 条件区分 まき出し・敷均し、締固めに積算条件区分はない。 積算単位は、m3とする。</p> <p>(注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び盛土補強工のまき出し、敷均し・締固め、水平排水材、層厚管理材の設置の他、振動ローラ（ハンドガイド式）、タンバ及びランマの運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、水平排水材、層厚管理材及び盛土材の材料費は含まない。</p> <p>2. 水平排水材、層厚管理材の材料費は別途計上する。</p> <p>3. ジオテキスタイル工1段当りのまき出し厚さ及び締固め回数に関係なく適用する。</p> <p>4. ジオテキスタイル盛土工範囲（図3-1 参考図参照）の盛土材については、必要に応じて別途計上する。</p> <p>5. 現場発生土の粒径処理等が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 まき出し・敷均し、締固め 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.5m3（平積 0.4m3）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.5m3（平積 0.4m3）	賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手（特殊）		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K1 バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.5m3（平積 0.4m3）	賃料																																
	K2 -																																	
	K3 -																																	
労務	R1 普通作業員																																	
	R2 特殊作業員																																	
	R3 土木一般世話役																																	
	R4 運転手（特殊）																																	
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																	
	Z2 -																																	
	Z3 -																																	
	Z4 -																																	
市場単価	S -																																	
<p>3-5 ジオテキスタイル（材料費）</p> <p>(1) 条件区分 ジオテキスタイル（材料費）に積算条件区分はない。 積算単位は、m2とする。</p> <p>(注) 施工量は、巻込み部、重ね合わせ等を含んだジオテキスタイル必要面積を計上する。</p> <p>3-6 排水管敷設工 排水管敷設工を施工する場合は、「第II編第2章⑩-1 排水構造物工」暗渠排水管により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">(注) 本施工パッケージに対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">2・⑩・4</p>		<p style="text-align: center;">現行どおり</p>																																
<p style="text-align: center;">代表機械の修正・追加 (歩掛り改定に伴う)</p>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表3.4 まき出し・敷均し、締固め 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第3次基準値2011年規制）] 山積 0.5m3（平積 0.4m3）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）] 運転質量 3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（ 第3次基準値 2011年規制）] 山積 0.5m3（平積 0.4m3）	賃料	K2 振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）] 運転質量 3~4t	賃料	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手（特殊）		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -	
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K1 バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（ 第3次基準値 2011年規制）] 山積 0.5m3（平積 0.4m3）	賃料																																
	K2 振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）] 運転質量 3~4t	賃料																																
	K3 -																																	
労務	R1 普通作業員																																	
	R2 特殊作業員																																	
	R3 土木一般世話役																																	
	R4 運転手（特殊）																																	
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																	
	Z2 -																																	
	Z3 -																																	
	Z4 -																																	
市場単価	S -																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 4/6																															

改正理由	一部改正	改正 現行																									
現 行		改 正																									
<p>4. 参考資料 4-1 施工法（工法）参考図</p>  <p>図A 鋼製ユニット工法参考図</p>  <p>図B 巻き込み工法（壁面材なし）参考図</p>  <p>図C 普通敷設工法（壁面材なし）参考図</p> <p style="text-align: center;">表4.1 施工法別施工パッケージ適用表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>適用 施工法(工法)</th> <th>壁面材設置・組立</th> <th>ジオテキスタイル敷設 まき出し・敷均し, 締固め</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製ユニット工法 図A</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>巻き込み工法 (壁面材なし) 図B</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>普通敷設工法 (壁面材なし) 図C</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本施工パッケージに対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">2・⑮・6</p>		適用 施工法(工法)	壁面材設置・組立	ジオテキスタイル敷設 まき出し・敷均し, 締固め	鋼製ユニット工法 図A	○	○	巻き込み工法 (壁面材なし) 図B	×	○	普通敷設工法 (壁面材なし) 図C	×	○	<p>4. 参考資料 4-1 施工法（工法）参考図</p>  <p>図A 鋼製ユニット枠タイプ工法参考図</p>  <p>図B 巻き込み工法（壁面材なし）参考図</p> <p style="text-align: center;">表4.1 施工法別施工パッケージ適用表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>適用 施工法(工法)</th> <th>壁面材設置・組立</th> <th>ジオテキスタイル敷設 まき出し・敷均し, 締固め</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製ユニット枠タイプ工法 図A</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>巻き込み工法 (壁面材なし) 図B</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>普通敷設工法 (壁面材なし) 図C</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		適用 施工法(工法)	壁面材設置・組立	ジオテキスタイル敷設 まき出し・敷均し, 締固め	鋼製ユニット枠タイプ工法 図A	○	○	巻き込み工法 (壁面材なし) 図B	×	○	普通敷設工法 (壁面材なし) 図C	×	○
適用 施工法(工法)	壁面材設置・組立	ジオテキスタイル敷設 まき出し・敷均し, 締固め																									
鋼製ユニット工法 図A	○	○																									
巻き込み工法 (壁面材なし) 図B	×	○																									
普通敷設工法 (壁面材なし) 図C	×	○																									
適用 施工法(工法)	壁面材設置・組立	ジオテキスタイル敷設 まき出し・敷均し, 締固め																									
鋼製ユニット枠タイプ工法 図A	○	○																									
巻き込み工法 (壁面材なし) 図B	×	○																									
普通敷設工法 (壁面材なし) 図C	×	○																									
積算上の注意事項		(控え頁) 5/6																									

語句の修正
(歩掛り改定に伴う)

語句の修正
(歩掛り改定に伴う)

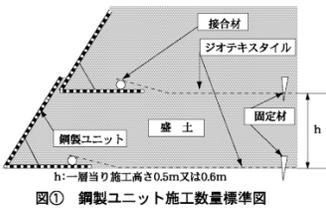
改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

4-2 壁面材使用量
壁面材の実面積（直面積）100m² 当り鋼製ユニット使用量は、次表を参考とする。

表4.2 鋼製ユニット標準使用量
(直面積) 100m² 当り

壁面材種類	タイプ	一層当り施工高	単位	数 量	標準図
鋼製ユニット	タイプ A	500 mm以下	個	100	図①
	タイプ B	600 mm以下		83	
	タイプ C	600 mm以下		167	
	タイプ D	600 mm以下		139	

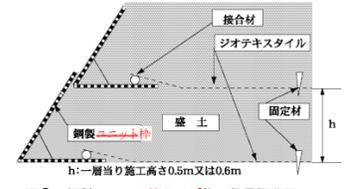


図① 鋼製ユニット施工数量標準図

4-2 壁面材使用量
壁面材の実面積（直面積）100m² 当り鋼製~~ユニット~~枠タイプ使用量は、次表を参考とする。

表4.2 鋼製~~ユニット~~枠タイプ標準使用量
(直面積) 100m² 当り

壁面材種類	タイプ	一層当り施工高	単位	数 量	標準図
鋼製 ユニット 枠タイプ	タイプ A	500 mm以下	個	100	図①
	タイプ B	600 mm以下		83	
	タイプ C	600 mm以下		167	
	タイプ D	600 mm以下		139	



図① 鋼製~~ユニット~~枠タイプ施工数量標準図

(注) 本施工パッケージに対応しているのは、二重実線部分のみである。

2・⑩・7

積算上の注意事項			(控え頁) 6/6
----------	--	--	--------------

語句の修正
(歩掛り改定に伴う)

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																													
現	行	改	正																													
現 行		改 正																														
備 考		備 考																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">作業区分</th> <th style="width: 10%;">製品長</th> <th style="width: 15%;">内空幅・内空高(m)</th> <th style="width: 15%;">基礎材種別</th> <th style="width: 10%;">PC鋼材による縦締め</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">据付・撤去</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1.0m/個</td> <td>1.25m<B≦2.5m</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表3.8)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>1.25m<H≦2.5m</td> </tr> <tr> <td>2.5m<B≦3.75m 1.25m≦H≦2.5m</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">1.5m/個</td> <td>1.25m<B≦2.5m 0m<H≦1.25m</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表3.8)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表3.9)</td> </tr> <tr> <td>1.25m<B≦2.5m 1.25m<H≦2.5m</td> </tr> <tr> <td>2.5m<B≦3.75m 1.25m≦H≦2.5m</td> </tr> <tr> <td>2.5m≦B≦3.75m 2.5m<H≦3.75m</td> </tr> <tr> <td>0m<B≦1.25m 0m<H≦1.25m</td> </tr> <tr> <td>1.25m<B≦2.5m 0m<H≦1.25m</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">2.0m/個</td> <td>0m<B≦1.25m 0m<H≦1.25m</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.8)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.9)</td> </tr> <tr> <td>1.25m<B≦2.5m 0m<H≦1.25m</td> </tr> <tr> <td>0m<B≦1.25m 1.25m≦H≦2.5m</td> </tr> <tr> <td>1.25m<B≦2.5m 1.25m<H≦2.5m</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、ボックスカルバートの設置、PC鋼材による縦締め、基礎材、均しコンクリート、型枠(剥離材塗布及びケレン作業を含む)、養生、敷モルタル、目地モルタル、グラウト、運搬距離30m程度までの現場内小運搬、レバーブロック、油圧ジャッキ(ポンプを含む)、グラウトポンプ、ミキサの損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、PC鋼材材料費、定着金具材料費は含まない。</p> <p>2. 対象としている製品は、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートである。</p> <p>3. 内空断面が台形タイプの場合やインバート形状の場合の内空高、内空幅は最大値とする。</p> <p>4. PC鋼材、定着金具は、必要数量を別途計上する。</p> <p>5. 縦締めは、直線部にのみ適用する。</p> <p>6. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p>7. 基礎碎石、均しコンクリートの材料は、種別・規格にかかわらず適用出来る。</p> <p>8. 撤去作業の場合、基礎碎石は含まない。</p> <p>9. 製品長が1個当たり1.0mの場合、PC鋼材による縦締めの費用は含まない。</p> <p>10. 基面整正は含まない。</p>		作業区分	製品長	内空幅・内空高(m)	基礎材種別	PC鋼材による縦締め	据付・撤去	1.0m/個	1.25m<B≦2.5m	(表3.8)	—	1.25m<H≦2.5m	2.5m<B≦3.75m 1.25m≦H≦2.5m	1.5m/個	1.25m<B≦2.5m 0m<H≦1.25m	(表3.8)	(表3.9)	1.25m<B≦2.5m 1.25m<H≦2.5m	2.5m<B≦3.75m 1.25m≦H≦2.5m	2.5m≦B≦3.75m 2.5m<H≦3.75m	0m<B≦1.25m 0m<H≦1.25m	1.25m<B≦2.5m 0m<H≦1.25m	2.0m/個	0m<B≦1.25m 0m<H≦1.25m	(表3.8)	(表3.9)	1.25m<B≦2.5m 0m<H≦1.25m	0m<B≦1.25m 1.25m≦H≦2.5m	1.25m<B≦2.5m 1.25m<H≦2.5m	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、現場内小運搬(運搬車から直接据え付ける場合も含む)、ボックスカルバートの設置、PC鋼材による縦締め、基礎材碎石、均しコンクリート、型枠(剥離材塗布及びケレン作業を含む)、養生、敷モルタル、目地モルタル、グラウト材、運搬距離30m程度までの現場内小運搬レバーブロック、油圧ジャッキ(ポンプを含む)、グラウトポンプ、ハンドミキサーの損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、PC鋼材材料費、定着金具材料費は含まない。</p> <p>2. 対象としている製品は、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートである。</p> <p>3. PC鋼材を使用しない場合において、高力ボルト連結、ボンド連結等による施工にも適用できる。</p> <p>4. 内空断面が台形タイプの場合やインバート形状の場合の内空高、内空幅は最大値とする。</p> <p>5. PC鋼材、定着金具の材料費は、必要数量を別途計上する。</p> <p>6. 製品表とは、一連のボックスカルバートの標準的な1部材の有効長であり、有効長未満の部材及び短尺、片斜切、横孔等の特殊加工部材が含まれる場合も適用できる。</p> <p>7. 縦締めは、直線部にのみ適用する。</p> <p>8. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p>9. 基礎碎石、均しコンクリートの材料は、種別・規格にかかわらず適用出来る。</p> <p>10. 撤去作業の場合、基礎碎石は含まない。</p> <p>11. 製品長が1個当たり1.0mの場合、PC鋼材による縦締めの費用は含まない。</p> <p>12. 床掘り、基面整正、埋戻し、残土処理は含まない。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		記載の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)
作業区分	製品長	内空幅・内空高(m)	基礎材種別	PC鋼材による縦締め																												
据付・撤去	1.0m/個	1.25m<B≦2.5m	(表3.8)	—																												
		1.25m<H≦2.5m																														
		2.5m<B≦3.75m 1.25m≦H≦2.5m																														
	1.5m/個	1.25m<B≦2.5m 0m<H≦1.25m	(表3.8)	(表3.9)																												
		1.25m<B≦2.5m 1.25m<H≦2.5m																														
		2.5m<B≦3.75m 1.25m≦H≦2.5m																														
		2.5m≦B≦3.75m 2.5m<H≦3.75m																														
		0m<B≦1.25m 0m<H≦1.25m																														
		1.25m<B≦2.5m 0m<H≦1.25m																														
	2.0m/個	0m<B≦1.25m 0m<H≦1.25m	(表3.8)	(表3.9)																												
		1.25m<B≦2.5m 0m<H≦1.25m																														
		0m<B≦1.25m 1.25m≦H≦2.5m																														
1.25m<B≦2.5m 1.25m<H≦2.5m																																
<p style="text-align: center;">表3.8 基礎材種別</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">基礎材種別</td> <td>基礎碎石+均しコンクリート</td> </tr> <tr> <td>基礎碎石</td> </tr> <tr> <td>均しコンクリート</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.9 PC鋼材による縦締め</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">PC鋼材による縦締め</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・10・9</p>		積算条件	区分	基礎材種別	基礎碎石+均しコンクリート	基礎碎石	均しコンクリート	無し	積算条件	区分	PC鋼材による縦締め	無し	有り																			
積算条件	区分																															
基礎材種別	基礎碎石+均しコンクリート																															
	基礎碎石																															
	均しコンクリート																															
	無し																															
積算条件	区分																															
PC鋼材による縦締め	無し																															
	有り																															
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4																													

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																			
現	行	改	正																																																																																																			
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 ボックスカルバート 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t吊 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t吊</td> <td>・貨料 ・内空高2.5m以下の場合 ・貨料 ・内空高2.5m超の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="16">材料</td> <td>Z 1 ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1000 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1000 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B1500×H1000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B3000×H3000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 2.5m<H≤3.75mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B600×H600×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 0m<H≤1.25mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B1500×H1000×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B1000×H1500×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B1500×H1500×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t吊 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t吊	・貨料 ・内空高2.5m以下の場合 ・貨料 ・内空高2.5m超の場合	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	—	材料	Z 1 ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B1500×H1000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B3000×H3000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 2.5m<H≤3.75mの場合	ボックスカルバート R C B600×H600×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 0m<H≤1.25mの場合	ボックスカルバート R C B1500×H1000×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合	ボックスカルバート R C B1000×H1500×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 ボックスカルバート 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t吊 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t吊</td> <td>・貨料 ・内空高2.5m以下の場合 ・貨料 ・内空高2.5m超の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="16">材料</td> <td>Z 1 ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1000 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1000 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B1500×H1000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B3000×H3000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 2.5m<H≤3.75mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B600×H600×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 0m<H≤1.25mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B1500×H1000×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B1000×H1500×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td> </tr> <tr> <td>ボックスカルバート R C B1500×H1500×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t吊 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t吊	・貨料 ・内空高2.5m以下の場合 ・貨料 ・内空高2.5m超の場合	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	—	材料	Z 1 ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B1500×H1000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B3000×H3000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 2.5m<H≤3.75mの場合	ボックスカルバート R C B600×H600×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 0m<H≤1.25mの場合	ボックスカルバート R C B1500×H1000×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合	ボックスカルバート R C B1000×H1500×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	→	<p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																																				
機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t吊 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t吊	・貨料 ・内空高2.5m以下の場合 ・貨料 ・内空高2.5m超の場合																																																																																																				
	K 2	—																																																																																																				
	K 3	—																																																																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																																																																				
	R 2	土木一般世話役																																																																																																				
	R 3	特殊作業員																																																																																																				
	R 4	—																																																																																																				
材料	Z 1 ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B1500×H1000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B3000×H3000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 2.5m<H≤3.75mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B600×H600×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 0m<H≤1.25mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B1500×H1000×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B1000×H1500×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																																																				
	Z 2	—																																																																																																				
	Z 3	—																																																																																																				
	Z 4	—																																																																																																				
	市場単価	S	—																																																																																																			
	項目	代表機材規格	備考																																																																																																			
	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t吊 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕45t吊	・貨料 ・内空高2.5m以下の場合 ・貨料 ・内空高2.5m超の場合																																																																																																			
K 2		—																																																																																																				
K 3		—																																																																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																																																																				
	R 2	土木一般世話役																																																																																																				
	R 3	特殊作業員																																																																																																				
	R 4	—																																																																																																				
材料	Z 1 ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B1500×H1000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B3000×H3000×L1500 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 2.5m<H≤3.75mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B600×H600×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 0m<H≤1.25mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B1500×H1000×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B1000×H1500×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																																																				
	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L2000 T-25 土盛り0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																																																				
	Z 2	—																																																																																																				
	Z 3	—																																																																																																				
	Z 4	—																																																																																																				
	市場単価	S	—																																																																																																			
	積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																																																																																																		

改正理由	一部改正	改正 現行																																						
現	行	改	正																																					
<p>3-11 PC管 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.28 PC管 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>管 径</th> <th>固定基礎</th> <th>生コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">据 付</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表 3.29)</td> <td>90° 巻き</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表 3.5)</td> </tr> <tr> <td>180° 巻き</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>撤 去</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>据付・撤去</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、PC管の設置、基礎砕石、巻きコンクリート（コンクリート、型枠）、運搬距離30m程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 撤去作業、据付・撤去作業は、PC管のみを対象としている。 3. 基面整正は含まない。 4. コンクリート、基礎砕石の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.07、基礎砕石が+0.20とする。 5. 作業区分が据付又は据付・撤去の場合、管径2,000mmは適用出来ない。 6. PC管の材料費は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.29 管径</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">管 径</td> <td>600mm</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">管 径</td> <td>1,200mm</td> </tr> <tr> <td>700mm</td> <td>1,350mm</td> </tr> <tr> <td>800mm</td> <td>1,500mm</td> </tr> <tr> <td>900mm</td> <td>1,650mm</td> </tr> <tr> <td>1,000mm</td> <td>1,800mm</td> </tr> <tr> <td>1,100mm</td> <td>2,000mm</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑩・23</p>		作業区分	管 径	固定基礎	生コンクリート規格	据 付	(表 3.29)	90° 巻き	(表 3.5)	180° 巻き	無し	-	撤 去	-	-	据付・撤去	-	-	-	積算条件	区分	積算条件	区分	管 径	600mm	管 径	1,200mm	700mm	1,350mm	800mm	1,500mm	900mm	1,650mm	1,000mm	1,800mm	1,100mm	2,000mm	<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>		<p>備考</p> <p style="text-align: center;">記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
作業区分	管 径	固定基礎	生コンクリート規格																																					
据 付	(表 3.29)	90° 巻き	(表 3.5)																																					
		180° 巻き																																						
無し		-																																						
撤 去		-	-																																					
据付・撤去	-	-	-																																					
積算条件	区分	積算条件	区分																																					
管 径	600mm	管 径	1,200mm																																					
	700mm		1,350mm																																					
	800mm		1,500mm																																					
	900mm		1,650mm																																					
	1,000mm		1,800mm																																					
	1,100mm		2,000mm																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																					

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																										
	現 行	改 正																																																																																																											
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.30 PC管 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">機械</td> <td rowspan="5">K 1</td> <td>トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊 ・賃料 ・管径が600mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊 ・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊 ・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊 ・賃料 ・管径が1,800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊 ・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) ・賃料 ・作業区分が据付の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t ・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>型わく工 固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手 (特殊) 上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊 ・賃料 ・管径が600mmの場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊 ・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊 ・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊 ・賃料 ・管径が1,800mmの場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊 ・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合	K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) ・賃料 ・作業区分が据付の場合	K 3	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t ・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合	労務	R 1	普通作業員	R 2	型わく工 固定基礎が有る場合	R 3	運転手 (特殊) 上記以外の場合	R 4	土木一般世話役	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	→	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.30 PC管 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">機械</td> <td rowspan="5">K 1</td> <td>トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊 ・賃料 ・管径が600mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊 ・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊 ・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊 ・賃料 ・管径が1,800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊 ・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) ・賃料 ・作業区分が据付の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値 2011年規制)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t ・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>型わく工 固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手 (特殊) 上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊 ・賃料 ・管径が600mmの場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊 ・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊 ・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊 ・賃料 ・管径が1,800mmの場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊 ・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合	K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) ・賃料 ・作業区分が据付の場合	K 3	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値 2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t ・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合	労務	R 1	普通作業員	R 2	型わく工 固定基礎が有る場合	R 3	運転手 (特殊) 上記以外の場合	R 4	土木一般世話役	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.30 PC管 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">機械</td> <td rowspan="5">K 1</td> <td>トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊 ・賃料 ・管径が600mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊 ・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊 ・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊 ・賃料 ・管径が1,800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊 ・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) ・賃料 ・作業区分が据付の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値 2011年規制)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t ・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>型わく工 固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手 (特殊) 上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊 ・賃料 ・管径が600mmの場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊 ・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊 ・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊 ・賃料 ・管径が1,800mmの場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊 ・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合	K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) ・賃料 ・作業区分が据付の場合	K 3	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値 2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t ・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合	労務	R 1	普通作業員	R 2	型わく工 固定基礎が有る場合	R 3	運転手 (特殊) 上記以外の場合	R 4	土木一般世話役	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—
項目	代表機材規格	備考																																																																																																											
機械	K 1	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊 ・賃料 ・管径が600mmの場合																																																																																																											
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊 ・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合																																																																																																											
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊 ・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合																																																																																																											
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊 ・賃料 ・管径が1,800mmの場合																																																																																																											
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊 ・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合																																																																																																											
	K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) ・賃料 ・作業区分が据付の場合																																																																																																											
K 3	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t ・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合																																																																																																												
労務	R 1	普通作業員																																																																																																											
	R 2	型わく工 固定基礎が有る場合																																																																																																											
	R 3	運転手 (特殊) 上記以外の場合																																																																																																											
	R 4	土木一般世話役																																																																																																											
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																											
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																											
	Z 3	—																																																																																																											
	Z 4	—																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																											
項目	代表機材規格	備考																																																																																																											
機械	K 1	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊 ・賃料 ・管径が600mmの場合																																																																																																											
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊 ・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合																																																																																																											
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊 ・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合																																																																																																											
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊 ・賃料 ・管径が1,800mmの場合																																																																																																											
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊 ・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合																																																																																																											
	K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) ・賃料 ・作業区分が据付の場合																																																																																																											
K 3	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値 2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t ・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合																																																																																																												
労務	R 1	普通作業員																																																																																																											
	R 2	型わく工 固定基礎が有る場合																																																																																																											
	R 3	運転手 (特殊) 上記以外の場合																																																																																																											
	R 4	土木一般世話役																																																																																																											
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																											
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																											
	Z 3	—																																																																																																											
	Z 4	—																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																											
項目	代表機材規格	備考																																																																																																											
機械	K 1	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊 ・賃料 ・管径が600mmの場合																																																																																																											
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊 ・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合																																																																																																											
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊 ・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合																																																																																																											
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊 ・賃料 ・管径が1,800mmの場合																																																																																																											
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊 ・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合																																																																																																											
	K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) ・賃料 ・作業区分が据付の場合																																																																																																											
K 3	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値 2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t ・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合																																																																																																												
労務	R 1	普通作業員																																																																																																											
	R 2	型わく工 固定基礎が有る場合																																																																																																											
	R 3	運転手 (特殊) 上記以外の場合																																																																																																											
	R 4	土木一般世話役																																																																																																											
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																											
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																											
	Z 3	—																																																																																																											
	Z 4	—																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																											
積算上の注意事項			<p style="text-align: center;">(控え頁)</p> <p style="text-align: center;">4/4</p>																																																																																																										

語句の追加・修正
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																
現	行	改	正																																																															
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 現場打ち水路(本体) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>鉄筋有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td>鉄筋有りの場合</td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合	K 3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋有りの場合	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	鉄筋有りの場合	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 現場打ち水路(本体) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値-2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>鉄筋有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td>鉄筋有りの場合</td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値-2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合	K 3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋有りの場合	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	鉄筋有りの場合	備考
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料																																																																
	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合																																																																
	K 3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																
労務	R 1 普通作業員																																																																	
	R 2 型わく工																																																																	
	R 3 土木一般世話役																																																																	
	R 4 特殊作業員																																																																	
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																	
	Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋有りの場合																																																																
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																
	Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																	
市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	鉄筋有りの場合																																																																
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料																																																																
	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値-2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合																																																																
	K 3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																
労務	R 1 普通作業員																																																																	
	R 2 型わく工																																																																	
	R 3 土木一般世話役																																																																	
	R 4 特殊作業員																																																																	
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																	
	Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋有りの場合																																																																
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																
	Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																	
市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	鉄筋有りの場合																																																																
2・⑩・5																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																															

記載の修正
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																															
現 行		改 正																																																																																															
備 考		備 考																																																																																															
<p style="text-align: center;">表3.4 コンクリート打設工法</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート打設工法</td> <td>バックホウ(クレーン機能付)打設</td> </tr> <tr> <td>人力打設</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 現場打ち集水枡・街渠枡(本体) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h(30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		積算条件	区分	コンクリート打設工法	バックホウ(クレーン機能付)打設	人力打設	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料	K2	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合	K3	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h(30,100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合	労務	R1	普通作業員		R2	型わく工		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 現場打ち集水枡・街渠枡(本体) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値・2011年規制)] 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h(30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料	K2	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値・2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合	K3	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h(30,100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合	労務	R1	普通作業員		R2	型わく工		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z4	—		市場単価	S	—		<p>記載の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算条件	区分																																																																																																
コンクリート打設工法	バックホウ(クレーン機能付)打設																																																																																																
	人力打設																																																																																																
項目	代表機材規格		備考																																																																																														
機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料																																																																																														
	K2	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合																																																																																														
	K3	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h(30,100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																														
労務	R1	普通作業員																																																																																															
	R2	型わく工																																																																																															
	R3	土木一般世話役																																																																																															
	R4	特殊作業員																																																																																															
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																															
	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																															
	Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																														
	Z4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
項目	代表機材規格		備考																																																																																														
機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料																																																																																														
	K2	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値・2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合																																																																																														
	K3	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h(30,100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																														
労務	R1	普通作業員																																																																																															
	R2	型わく工																																																																																															
	R3	土木一般世話役																																																																																															
	R4	特殊作業員																																																																																															
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																															
	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																															
	Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																														
	Z4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
2・18・4																																																																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																														

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																									
	<p>現 行</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.10 グラウト注入(アンカー) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>普通ポルトランドセメント 25kg 袋入</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 ボーリングマシン移設 (アンカー)</p> <p>(1) 条件区分 ボーリングマシン移設 (アンカー) における積算条件区分はない。 積算単位は、回とする。 (注) 1. スキッド型ボーリングマシンの据付・撤去及び上下移動 (移設) 等、その他の施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料を含む) を含む。 2. 横移動は、3-1 削孔 (アンカー) に含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.11 ボーリングマシン移設(アンカー) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>2・㉑・6</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	—	材料	Z 1	普通ポルトランドセメント 25kg 袋入	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>3-4 ボーリングマシン移設 (アンカー)</p> <p>(1) 条件区分 ボーリングマシン移設 (アンカー) における積算条件区分はない。 積算単位は、回とする。(据付・撤去1組で1回) (注) 1. スキッド型ボーリングマシンの据付・撤去及び上下移動 (移設) 等、その他の施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料を含む) を含む。 2. 横移動は、3-1 削孔 (アンカー) に含む。</p>	<p>備考</p> <p>語句の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																										
機械	K 1	—																																																																										
	K 2	—																																																																										
	K 3	—																																																																										
労務	R 1	普通作業員																																																																										
	R 2	土木一般世話役																																																																										
	R 3	特殊作業員																																																																										
	R 4	—																																																																										
材料	Z 1	普通ポルトランドセメント 25kg 袋入																																																																										
	Z 2	—																																																																										
	Z 3	—																																																																										
	Z 4	—																																																																										
市場単価	S	—																																																																										
項目	代表機材規格	備考																																																																										
機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																									
	K 2	—																																																																										
	K 3	—																																																																										
労務	R 1	普通作業員																																																																										
	R 2	土木一般世話役																																																																										
	R 3	特殊作業員																																																																										
	R 4	—																																																																										
材料	Z 1	—																																																																										
	Z 2	—																																																																										
	Z 3	—																																																																										
	Z 4	—																																																																										
市場単価	S	—																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現行							
現	行	改	正						
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 コンクリートはつり</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 コンクリートはつり 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">平均はつり厚</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3cm以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3cmを超え6cm以下</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、既設のコンクリート構造物表面部のはつり作業、破砕片の除去の他、コンクリートブレーカの賃料、チゼルの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. コンクリート殻の運搬車への積込み、運搬は含まない。</p> <p style="text-align: center;">2・㉔・2</p>		平均はつり厚	3cm以下	3cmを超え6cm以下	→	<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 コンクリートはつり</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.31 コンクリートはつり 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">平均はつり厚</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3cm以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3cmを超え6cm以下</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、既設のコンクリート構造物表面部のはつり作業、破砕片の除去の他、コンクリートブレーカの賃料、チゼルの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. コンクリート殻の運搬車への積込み、運搬は含まない。</p>	平均はつり厚	3cm以下	3cmを超え6cm以下
平均はつり厚									
3cm以下									
3cmを超え6cm以下									
平均はつり厚									
3cm以下									
3cmを超え6cm以下									
			備考						
			語句の修正						
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2						

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																																																													
現	行	改 正	備 考																																																																																																																													
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 4 コンクリートはつり 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0m3/min</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 積込み(コンクリート殻) (1) 条件区分 積込み(コンクリート殻)の積算条件区分はない。 積算単位は、m3とする。 (注) 1. 構造物とりこわしで生じたとりこわし殻等の積込費用等、その施工に必要な機械・労務・材料を含む。 2. 施工量はとりこわし構造物の破砕前の体積とする。 3. 表3. 5の代表機械より小型の機械を使用する場合は別途考慮する。 4. 殻運搬については、「第II編第2章共通工⑥殻運搬」により、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 5 積込(コンクリート殻) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表の機械は、「第II編第1章土工②土工②-1土工 3-7積込 (ルーズ)」による。</p> <p style="text-align: center;">2・②・3</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0m3/min	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 -		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)		K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 運転手 (特殊)		R 3 -		R 4 -		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 42 コンクリートはつり 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0m3/min</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 積込み(コンクリート殻) (1) 条件区分 積込み(コンクリート殻)の積算条件区分はない。 積算単位は、m3とする。 (注) 1. 構造物とりこわしで生じたとりこわし殻等の積込費用等、その施工に必要な機械・労務・材料を含む。 2. 施工量はとりこわし構造物の破砕前の体積とする。 3. 表3. 5の代表機械より小型の機械を使用する場合は別途考慮する。 4. 殻運搬については、「第II編第2章共通工⑥殻運搬」により、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 63 積込(コンクリート殻) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表の機械は、「第II編第1章土工②土工②-1土工 3-7積込 (ルーズ)」による。</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0m3/min	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 -		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)		K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 運転手 (特殊)		R 3 -		R 4 -		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																														
機械	K 1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0m3/min	賃料																																																																																																																														
	K 2 -																																																																																																																															
	K 3 -																																																																																																																															
労務	R 1 特殊作業員																																																																																																																															
	R 2 普通作業員																																																																																																																															
	R 3 土木一般世話役																																																																																																																															
	R 4 -																																																																																																																															
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																															
	Z 2 -																																																																																																																															
	Z 3 -																																																																																																																															
	Z 4 -																																																																																																																															
市場単価	S -																																																																																																																															
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																														
機械	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)																																																																																																																															
	K 2 -																																																																																																																															
	K 3 -																																																																																																																															
労務	R 1 普通作業員																																																																																																																															
	R 2 運転手 (特殊)																																																																																																																															
	R 3 -																																																																																																																															
	R 4 -																																																																																																																															
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																															
	Z 2 -																																																																																																																															
	Z 3 -																																																																																																																															
	Z 4 -																																																																																																																															
市場単価	S -																																																																																																																															
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																														
機械	K 1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0m3/min	賃料																																																																																																																														
	K 2 -																																																																																																																															
	K 3 -																																																																																																																															
労務	R 1 特殊作業員																																																																																																																															
	R 2 普通作業員																																																																																																																															
	R 3 土木一般世話役																																																																																																																															
	R 4 -																																																																																																																															
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																															
	Z 2 -																																																																																																																															
	Z 3 -																																																																																																																															
	Z 4 -																																																																																																																															
市場単価	S -																																																																																																																															
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																														
機械	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)																																																																																																																															
	K 2 -																																																																																																																															
	K 3 -																																																																																																																															
労務	R 1 普通作業員																																																																																																																															
	R 2 運転手 (特殊)																																																																																																																															
	R 3 -																																																																																																																															
	R 4 -																																																																																																																															
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																															
	Z 2 -																																																																																																																															
	Z 3 -																																																																																																																															
	Z 4 -																																																																																																																															
市場単価	S -																																																																																																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																																																																													

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																															
現	行	改 正	備 考																															
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 吸出し防止材設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1	-	K2	-	K3	-	労務	R1	普通作業員	R2	土木一般世話役	R3	-	R4	-	材料	Z1	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	Z2	-	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	<p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表2.2 吸出し防止材設置 代表機材規格一覧</p>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K1	-																																
	K2	-																																
	K3	-																																
労務	R1	普通作業員																																
	R2	土木一般世話役																																
	R3	-																																
	R4	-																																
材料	Z1	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m																																
	Z2	-																																
	Z3	-																																
	Z4	-																																
市場単価	S	-																																
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																												
	現 行	改 正																																													
	<p>3. 施工パッケージ 3-1 高欄撤去 (1) 条件区分 高欄撤去における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p> <p>(注) 1. 旧橋撤去における高欄（鋼製、橋梁用ガードレール、アルミ）の切断から運搬車両への積み込みまでの費用の他、高欄等の切断に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤーロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 設計数量は、高欄撤去の総延長であり、両車線の総撤去延長である。 3. コンクリート高欄（壁高欄含む）は床版1次破砕を含む。 4. 高欄撤去で生じた現場発生品の運搬については、別途計上する。 5. 高欄撤去で生じた現場発生品については、別途適正に処理する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 高欄撤去 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>溶接工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t		K2	—		K3	—		労務	R1	溶接工		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	運転手（特殊）		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		現 行 ど お り	記載の変更
項目	代表機材規格		備考																																												
機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t																																													
	K2	—																																													
	K3	—																																													
労務	R1	溶接工																																													
	R2	特殊作業員																																													
	R3	土木一般世話役																																													
	R4	運転手（特殊）																																													
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																													
	Z2	—																																													
	Z3	—																																													
	Z4	—																																													
市場単価	S	—																																													
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 高欄撤去 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~ 4.5t 繰積 吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>溶接工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~ 4.5t 繰積 吊能力 2.9t		K2	—		K3	—		労務	R1	溶接工		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	運転手（特殊）		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—			
項目	代表機材規格		備考																																												
機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~ 4.5t 繰積 吊能力 2.9t																																													
	K2	—																																													
	K3	—																																													
労務	R1	溶接工																																													
	R2	特殊作業員																																													
	R3	土木一般世話役																																													
	R4	運転手（特殊）																																													
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																													
	Z2	—																																													
	Z3	—																																													
	Z4	—																																													
市場単価	S	—																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																												

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																					
	現 行	改 正	備 考																					
	<p>⑫ 殻 運 搬</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、構造物撤去工における殻運搬に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 既設コンクリート構造物のとりこわしにより発生した殻（鉄筋・無筋）の運搬の場合 (2) コンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の破砕作業により発生した殻の運搬の場合 (3) バックホウを用いて行う平均施工幅1m未満の舗装版破砕（舗装厚5cm以内）により発生した殻の運搬の場合 (4) モルタルの吹付法面のとりこわし作業により発生した殻の運搬の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 路面切削作業で発生したアスファルト殻の運搬 (2) 電線共同溝におけるアスファルト舗装版の破砕作業により発生した殻の運搬 (3) 自動車専用道路を利用する場合 (4) 運搬距離が60kmを超える場合 (5) 既設コンクリート構造物のとりこわしにより発生した殻（鉄筋・無筋）を人力で積み込む場合</p> <p>2. 施工パッケージ 2-1 殻運搬 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 殻運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">殻発生作業</th> <th style="width: 20%;">積込工法区分</th> <th style="width: 20%;">DID区間の有無</th> <th style="width: 40%;">運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13" style="text-align: center;">コンクリート (無筋) 構造物とりこわし</td> <td rowspan="13" style="text-align: center;">機械積込</td> <td rowspan="13" style="text-align: center;">無し</td> <td>1.6km以下</td> </tr> <tr><td>3.3km以下</td></tr> <tr><td>5.7km以下</td></tr> <tr><td>8.0km以下</td></tr> <tr><td>10.9km以下</td></tr> <tr><td>14.4km以下</td></tr> <tr><td>18.5km以下</td></tr> <tr><td>23.2km以下</td></tr> <tr><td>28.4km以下</td></tr> <tr><td>34.3km以下</td></tr> <tr><td>41.3km以下</td></tr> <tr><td>49.4km以下</td></tr> <tr><td>58.8km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・㉔・1</p>	殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離	コンクリート (無筋) 構造物とりこわし	機械積込	無し	1.6km以下	3.3km以下	5.7km以下	8.0km以下	10.9km以下	14.4km以下	18.5km以下	23.2km以下	28.4km以下	34.3km以下	41.3km以下	49.4km以下	58.8km以下	60.0km以下	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 路面切削作業で発生したアスファルト殻の運搬 (2) 電線共同溝におけるアスファルト舗装版の破砕作業により発生した殻の運搬 (3) 自動車専用道路を利用する場合 (4) 運搬距離が60kmを超える場合 (5) 既設コンクリート構造物のとりこわし等により発生した殻（鉄筋・無筋）を人力で積み込む場合</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	記載の追加
殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離																					
コンクリート (無筋) 構造物とりこわし	機械積込	無し	1.6km以下																					
			3.3km以下																					
			5.7km以下																					
			8.0km以下																					
			10.9km以下																					
			14.4km以下																					
			18.5km以下																					
			23.2km以下																					
			28.4km以下																					
			34.3km以下																					
			41.3km以下																					
			49.4km以下																					
			58.8km以下																					
60.0km以下																								
			(控え頁) 1 / 1																					

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考
現	行	改 正	備 考
<p style="text-align: center;">設計日打設量</p> <p style="text-align: center;">図3-2 コンクリート打設工法の選定(2)</p> <p style="text-align: center;">(参考図)バックホウによるコンクリート打設範囲</p>		<p style="text-align: center;">設計日打設量</p> <p style="text-align: center;">図3-2 コンクリート打設工法の選定(2)</p> <p style="text-align: center;">(参考図)バックホウによるコンクリート打設範囲</p>	
3・①・2		記載の変更	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																						
現	行	改	正																																																																					
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 コンクリート打設(深礎工) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m³/h</td> <td>ポンプ車打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・ クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>特殊養生(練炭, ジェットヒータ) の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手 (特殊)</td> <td>ポンプ車打設の場合, バックホウ 打設の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>ポンプ車打設の場合, バックホウ 打設の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(練炭, ジェットヒータ) の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h	ポンプ車打設の場合	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・ クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ打設の場合	K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	特殊養生(練炭, ジェットヒータ) の場合	K 3	—		労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 運転手 (特殊)	ポンプ車打設の場合, バックホウ 打設の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%		Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	ポンプ車打設の場合, バックホウ 打設の場合	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(練炭, ジェットヒータ) の場合	Z 4	—	市場単価	S	—	→	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 コンクリート打設(深礎工) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m³/h</td> <td>ポンプ車打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・ クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2011年 規制)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>特殊養生(練炭, ジェットヒータ) の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手 (特殊)</td> <td>ポンプ車打設の場合, バックホウ 打設の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>ポンプ車打設の場合, バックホウ 打設の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(練炭, ジェットヒータ) の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h	ポンプ車打設の場合	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・ クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2011年 規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ打設の場合	K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	特殊養生(練炭, ジェットヒータ) の場合	K 3	—		労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 運転手 (特殊)	ポンプ車打設の場合, バックホウ 打設の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%		Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	ポンプ車打設の場合, バックホウ 打設の場合	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(練炭, ジェットヒータ) の場合	Z 4	—	市場単価	S	—	記載の変更 (歩掛り改訂に伴う)
項目	代表機材規格	備考																																																																						
機械	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h	ポンプ車打設の場合																																																																						
	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・ クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ打設の場合																																																																						
	K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	特殊養生(練炭, ジェットヒータ) の場合																																																																						
K 3	—																																																																							
労務	R 1 普通作業員																																																																							
	R 2 特殊作業員																																																																							
	R 3 土木一般世話役																																																																							
	R 4 運転手 (特殊)	ポンプ車打設の場合, バックホウ 打設の場合																																																																						
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%																																																																							
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	ポンプ車打設の場合, バックホウ 打設の場合																																																																						
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(練炭, ジェットヒータ) の場合																																																																						
	Z 4	—																																																																						
市場単価	S	—																																																																						
項目	代表機材規格	備考																																																																						
機械	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h	ポンプ車打設の場合																																																																						
	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・ クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2011年 規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ打設の場合																																																																						
	K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	特殊養生(練炭, ジェットヒータ) の場合																																																																						
K 3	—																																																																							
労務	R 1 普通作業員																																																																							
	R 2 特殊作業員																																																																							
	R 3 土木一般世話役																																																																							
	R 4 運転手 (特殊)	ポンプ車打設の場合, バックホウ 打設の場合																																																																						
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%																																																																							
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	ポンプ車打設の場合, バックホウ 打設の場合																																																																						
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(練炭, ジェットヒータ) の場合																																																																						
	Z 4	—																																																																						
市場単価	S	—																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																																																																																																																																																																					
	現 行	改 正																																																																																																																																																																																																																																						
	<p>(1) 無筋・鉄筋構造物</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">打設地上高さ</td> <td>4.5m超</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.5m以下</td> <td>バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦4.0m ※吊り走行なし</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>適用範囲外</td> </tr> <tr> <td>1.0m超</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0m以下</td> <td>人力打設 (現場内小運搬 15m以下)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0m</td> <td></td> <td>10m³/日未満</td> <td>10m³/日以上</td> <td>100m³/日未満</td> <td>100m³/日以上</td> <td>500m³/日未満</td> <td>500m³/日以上</td> </tr> <tr> <td>-1.0m以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-1.0m未満</td> <td>バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦2.0m ※吊り走行なし</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>適用範囲外</td> </tr> <tr> <td>-6.5m以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-6.5m未満</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">設計日打設量</p> <p style="text-align: center;">図3-2 コンクリート打設工法の選定(無筋・鉄筋構造物)</p> <p>(2) 小型構造物</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">打設地上高さ</td> <td>28m以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.5m超</td> <td></td> <td>クレーン車打設</td> <td>クレーン車打設</td> <td>クレーン車打設</td> <td>クレーン車打設</td> <td>クレーン車打設</td> <td>適用範囲外</td> </tr> <tr> <td>4.5m以下</td> <td>バックホウ (クレーン機能付) 打設 ※吊り走行なし</td> <td>【ラフテレーンクレーン】</td> <td>【クローラクレーン】</td> <td>【ラフテレーンクレーン】</td> <td>【クローラクレーン】</td> <td>【クローラクレーン】</td> <td>適用範囲外</td> </tr> <tr> <td>1.0m超</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0m以下</td> <td>人力打設 (現場内小運搬 15m以下)</td> <td>15m以下</td> <td>15m超</td> <td>20m以下</td> <td>20m超</td> <td>30m以下</td> <td>30m超</td> </tr> <tr> <td>0m</td> <td></td> <td>2m以下</td> <td>2m超</td> <td>4m以下</td> <td>4m超</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-1.0m以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-1.0m未満</td> <td>バックホウ (クレーン機能付) 打設 ※吊り走行なし</td> <td>クレーン車打設</td> <td>クレーン車打設</td> <td>クレーン車打設</td> <td>クレーン車打設</td> <td>クレーン車打設</td> <td>クレーン車打設</td> <td>適用範囲外</td> </tr> <tr> <td>-6.5m以上</td> <td></td> <td>【ラフテレーンクレーン】</td> <td>【クローラクレーン】</td> <td>【ラフテレーンクレーン】</td> <td>【クローラクレーン】</td> <td>【クローラクレーン】</td> <td>【クローラクレーン】</td> </tr> <tr> <td>-6.5m未満</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">水平打設距離</p> <p style="text-align: center;">図3-3 コンクリート打設工法の選定(小型構造物)</p> <p style="text-align: center;">4・①・3</p>	打設地上高さ	4.5m超									4.5m以下	バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦4.0m ※吊り走行なし	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	適用範囲外	1.0m超								1.0m以下	人力打設 (現場内小運搬 15m以下)							0m		10m ³ /日未満	10m ³ /日以上	100m ³ /日未満	100m ³ /日以上	500m ³ /日未満	500m ³ /日以上	-1.0m以上								-1.0m未満	バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦2.0m ※吊り走行なし	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	適用範囲外	-6.5m以上								-6.5m未満								打設地上高さ	28m以下								4.5m超		クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	適用範囲外	4.5m以下	バックホウ (クレーン機能付) 打設 ※吊り走行なし	【ラフテレーンクレーン】	【クローラクレーン】	【ラフテレーンクレーン】	【クローラクレーン】	【クローラクレーン】	適用範囲外	1.0m超								1.0m以下	人力打設 (現場内小運搬 15m以下)	15m以下	15m超	20m以下	20m超	30m以下	30m超	0m		2m以下	2m超	4m以下	4m超			-1.0m以上								-1.0m未満	バックホウ (クレーン機能付) 打設 ※吊り走行なし	クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	適用範囲外	-6.5m以上		【ラフテレーンクレーン】	【クローラクレーン】	【ラフテレーンクレーン】	【クローラクレーン】	【クローラクレーン】	【クローラクレーン】	-6.5m未満								<p>(1) 無筋・鉄筋構造物</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">打設地上高さ</td> <td>4.5m超</td> <td>適用範囲外</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.5m以下</td> <td>バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦4.0m ※吊り走行なし</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>適用範囲外</td> </tr> <tr> <td>1.0m超</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0m以下</td> <td>人力打設 (現場内小運搬 15m以下)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0m</td> <td></td> <td>10m³/日未満</td> <td>10m³/日以上</td> <td>100m³/日未満</td> <td>100m³/日以上</td> <td>500m³/日未満</td> <td>500m³/日以上</td> </tr> <tr> <td>-1.0m以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-1.0m未満</td> <td>バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦2.0m ※吊り走行なし</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>コンクリートポンプ車打設</td> <td>適用範囲外</td> </tr> <tr> <td>-6.5m以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-6.5m未満</td> <td>適用範囲外</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">設計日打設量</p> <p style="text-align: center;">図3-2 コンクリート打設工法の選定(無筋・鉄筋構造物)</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	打設地上高さ	4.5m超	適用範囲外							4.5m以下	バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦4.0m ※吊り走行なし	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	適用範囲外	1.0m超								1.0m以下	人力打設 (現場内小運搬 15m以下)							0m		10m ³ /日未満	10m ³ /日以上	100m ³ /日未満	100m ³ /日以上	500m ³ /日未満	500m ³ /日以上	-1.0m以上								-1.0m未満	バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦2.0m ※吊り走行なし	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	適用範囲外	-6.5m以上								-6.5m未満	適用範囲外							記載の変更
打設地上高さ	4.5m超																																																																																																																																																																																																																																							
	4.5m以下		バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦4.0m ※吊り走行なし	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	適用範囲外																																																																																																																																																																																																																															
	1.0m超																																																																																																																																																																																																																																							
	1.0m以下		人力打設 (現場内小運搬 15m以下)																																																																																																																																																																																																																																					
	0m			10m ³ /日未満	10m ³ /日以上	100m ³ /日未満	100m ³ /日以上	500m ³ /日未満	500m ³ /日以上																																																																																																																																																																																																																															
	-1.0m以上																																																																																																																																																																																																																																							
-1.0m未満	バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦2.0m ※吊り走行なし	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	適用範囲外																																																																																																																																																																																																																																	
-6.5m以上																																																																																																																																																																																																																																								
-6.5m未満																																																																																																																																																																																																																																								
打設地上高さ	28m以下																																																																																																																																																																																																																																							
	4.5m超		クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	適用範囲外																																																																																																																																																																																																																																
	4.5m以下	バックホウ (クレーン機能付) 打設 ※吊り走行なし	【ラフテレーンクレーン】	【クローラクレーン】	【ラフテレーンクレーン】	【クローラクレーン】	【クローラクレーン】	適用範囲外																																																																																																																																																																																																																																
	1.0m超																																																																																																																																																																																																																																							
	1.0m以下	人力打設 (現場内小運搬 15m以下)	15m以下	15m超	20m以下	20m超	30m以下	30m超																																																																																																																																																																																																																																
	0m		2m以下	2m超	4m以下	4m超																																																																																																																																																																																																																																		
-1.0m以上																																																																																																																																																																																																																																								
-1.0m未満	バックホウ (クレーン機能付) 打設 ※吊り走行なし	クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	クレーン車打設	適用範囲外																																																																																																																																																																																																																																
-6.5m以上		【ラフテレーンクレーン】	【クローラクレーン】	【ラフテレーンクレーン】	【クローラクレーン】	【クローラクレーン】	【クローラクレーン】																																																																																																																																																																																																																																	
-6.5m未満																																																																																																																																																																																																																																								
打設地上高さ	4.5m超	適用範囲外																																																																																																																																																																																																																																						
	4.5m以下	バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦4.0m ※吊り走行なし	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	適用範囲外																																																																																																																																																																																																																																
	1.0m超																																																																																																																																																																																																																																							
	1.0m以下	人力打設 (現場内小運搬 15m以下)																																																																																																																																																																																																																																						
	0m		10m ³ /日未満	10m ³ /日以上	100m ³ /日未満	100m ³ /日以上	500m ³ /日未満	500m ³ /日以上																																																																																																																																																																																																																																
	-1.0m以上																																																																																																																																																																																																																																							
-1.0m未満	バックホウ (クレーン機能付) 打設 ただしL≦2.0m ※吊り走行なし	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	コンクリートポンプ車打設	適用範囲外																																																																																																																																																																																																																																	
-6.5m以上																																																																																																																																																																																																																																								
-6.5m未満	適用範囲外																																																																																																																																																																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 1/5																																																																																																																																																																																																																																					

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
 下表機材は、当該パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。
 表4.5 コンクリート 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考	
機械	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合	
	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・無筋・鉄筋構造物バックホウ打設の場合、又は小型構造物バックホウ打設の場合	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]16t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 17m 以下、水平打設距離約 17m 以下の場合	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]20t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平打設距離約 18m 以下の場合	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平打設距離約 20m 以下の場合	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]35t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 28m 以下、水平打設距離約 20m 以下の場合	
	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型]50t 吊	・賃料 ・小型構造物で、水平打設距離約 30m 以下の場合	
K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(練炭、ジェットヒータ)の場合、又は小型構造物で、特殊養生(ジェットヒータ)の場合	
K 3	—		
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	運転手(特殊)	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合、無筋・鉄筋構造物バックホウ打設の場合、又は小型構造物バックホウ打設の場合
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%	
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合、無筋・鉄筋構造物バックホウ打設の場合、又は小型構造物で、水平打設距離約 30m 以下の場合
	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(練炭、ジェットヒータ)の場合、又は小型構造物で、特殊養生(ジェットヒータ)の場合
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

4・①・7

(2) 代表機材規格
 下表機材は、当該パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。
 表4.5 コンクリート 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考	
機械	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合	
	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値-2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・無筋・鉄筋構造物バックホウ打設の場合、又は小型構造物バックホウ打設の場合	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]16t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 17m 以下、水平打設距離約 17m 以下の場合	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]20t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平打設距離約 18m 以下の場合	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平打設距離約 20m 以下の場合	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]35t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 28m 以下、水平打設距離約 20m 以下の場合	
	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型]50t 吊	・賃料 ・小型構造物で、水平打設距離約 30m 以下の場合	
K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(練炭、ジェットヒータ)の場合、又は小型構造物で、特殊養生(ジェットヒータ)の場合	
K 3	—		
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	運転手(特殊)	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合、無筋・鉄筋構造物バックホウ打設の場合、又は小型構造物バックホウ打設の場合
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C55%	
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合、無筋・鉄筋構造物バックホウ打設の場合、又は小型構造物で、水平打設距離約 30m 以下の場合
	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(練炭、ジェットヒータ)の場合、又は小型構造物で、特殊養生(ジェットヒータ)の場合
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

代表機械の修正
(歩掛り改定に伴う)



積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																																				
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>5. 施 工 歩 掛</p> <p>5-1 圧送管組立・撤去</p> <p>5-1-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表5. 1に示す施工パッケージ以外で、コンクリートポンプ車から作業範囲 30m を超える場合の、 超えた部分の圧送管延長分の組立・撤去に適用する。</p> <p style="text-align: center;">表5. 1 本歩掛が適用出来ない施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>・函渠 (1)</td> <td>・重力式擁壁</td> <td>・もたれ式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> <td>・コンクリート打設 (深礎工)</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>5-1-2 圧送管組立・撤去歩掛</p> <p>コンクリートポンプ車から作業範囲 30m を超える場合は、超えた部分の圧送管延長分について、次表の労務を、組立・撤去歩掛として計上する。 なお、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表5. 2 圧送管組立・撤去歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>組 立</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.26</td> <td>0.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 圧送管の固定足場 (受枠) を必要とする場合は、別途計上する。</p> <p>5-2 養生工</p> <p>5-2-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表5. 3に示す施工パッケージ以外の養生工に適用する。</p> <p style="text-align: center;">表5. 3 本歩掛が適用出来ない施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>・ヒューム管 (B形管)</td> <td>・函渠 (1)</td> <td>・現場打基礎コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・天端コンクリート</td> <td>・小型擁壁 (B)</td> <td>・重力式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・もたれ式擁壁</td> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート打設 (深礎工)</td> <td>・コンクリート</td> <td></td> </tr> </table> <p>5-2-2 一般養生工</p> <p>一般養生工における歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5. 4 養生歩掛 (10m3 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.31</td> <td>0.16</td> <td>0.64</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>12</td> <td>25</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、シート、養生マット、角材、パイプ、散水等に使用する機械の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5-3 養生工 (特殊養生)</p> <p>5-3-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表5. 5に示す施工パッケージ以外の河川、海岸、道路工事等における寒中コンクリートの養生に適用する。なお、養生方法は給熱養生を標準とし、異形ブロック製作における養生は、適用しない。</p> <p style="text-align: center;">表5. 5 本歩掛が適用出来ない施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>・ヒューム管 (B形管)</td> <td>・函渠 (1)</td> <td>・現場打基礎コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・天端コンクリート</td> <td>・小型擁壁 (B)</td> <td>・重力式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・もたれ式擁壁</td> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート打設 (深礎工)</td> <td>・コンクリート</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">4・①・9</p>	・函渠 (1)	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート打設 (深礎工)	・コンクリート			名 称	単 位	組 立	撤 去	普 通 作 業 員	人	0.26	0.20	・ヒューム管 (B形管)	・函渠 (1)	・現場打基礎コンクリート	・天端コンクリート	・小型擁壁 (B)	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート打設 (深礎工)	・コンクリート		名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	普 通 作 業 員	人	0.31	0.16	0.64	諸 雑 費 率	%	12	25	16	・ヒューム管 (B形管)	・函渠 (1)	・現場打基礎コンクリート	・天端コンクリート	・小型擁壁 (B)	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート打設 (深礎工)	・コンクリート		<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p> <p>5-2 養生工</p> <p>5-2-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表5. 3に示す施工パッケージ以外の養生工に適用する。</p> <p style="text-align: center;">表5. 3 本歩掛が適用出来ない施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>・ヒューム管 (B形管)</td> <td>・函渠 (1)</td> <td>・現場打基礎コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・天端コンクリート</td> <td>・小型擁壁 (B)</td> <td>・重力式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・もたれ式擁壁</td> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート打設 (深礎工)</td> <td>・コンクリート</td> <td></td> </tr> </table> <p>5-2-2 一般養生工</p> <p>一般養生工における歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5. 4 養生歩掛 (10m3 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.08</td> <td>0.05</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.31 0.25</td> <td>0.16 0.13</td> <td>0.64 0.52</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>12 10</td> <td>25 21</td> <td>16 13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、シート、養生マット、角材、パイプ、散水等に使用する機械の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5-3 養生工 (特殊養生)</p> <p>5-3-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表5. 5に示す施工パッケージ以外の河川、海岸、道路工事等における寒中コンクリートの養生に適用する。なお、養生方法は給熱養生を標準とし、異形ブロック製作における養生は、適用しない。</p> <p style="text-align: center;">表5. 5 本歩掛が適用出来ない施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>・ヒューム管 (B形管)</td> <td>・函渠 (1)</td> <td>・現場打基礎コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・天端コンクリート</td> <td>・小型擁壁 (B)</td> <td>・重力式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・もたれ式擁壁</td> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート打設 (深礎工)</td> <td>・コンクリート</td> <td></td> </tr> </table>	・ヒューム管 (B形管)	・函渠 (1)	・現場打基礎コンクリート	・天端コンクリート	・小型擁壁 (B)	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート打設 (深礎工)	・コンクリート		名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	土 木 一 般 世 話 役	人	0.08	0.05	0.18	普 通 作 業 員	人	0.31 0.25	0.16 0.13	0.64 0.52	諸 雑 費 率	%	12 10	25 21	16 13	・ヒューム管 (B形管)	・函渠 (1)	・現場打基礎コンクリート	・天端コンクリート	・小型擁壁 (B)	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート打設 (深礎工)	・コンクリート		<p>語句の追加・修正・ 削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
・函渠 (1)	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁																																																																																																					
・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート打設 (深礎工)																																																																																																					
・コンクリート																																																																																																							
名 称	単 位	組 立	撤 去																																																																																																				
普 通 作 業 員	人	0.26	0.20																																																																																																				
・ヒューム管 (B形管)	・函渠 (1)	・現場打基礎コンクリート																																																																																																					
・天端コンクリート	・小型擁壁 (B)	・重力式擁壁																																																																																																					
・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁																																																																																																					
・コンクリート打設 (深礎工)	・コンクリート																																																																																																						
名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																																			
普 通 作 業 員	人	0.31	0.16	0.64																																																																																																			
諸 雑 費 率	%	12	25	16																																																																																																			
・ヒューム管 (B形管)	・函渠 (1)	・現場打基礎コンクリート																																																																																																					
・天端コンクリート	・小型擁壁 (B)	・重力式擁壁																																																																																																					
・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁																																																																																																					
・コンクリート打設 (深礎工)	・コンクリート																																																																																																						
・ヒューム管 (B形管)	・函渠 (1)	・現場打基礎コンクリート																																																																																																					
・天端コンクリート	・小型擁壁 (B)	・重力式擁壁																																																																																																					
・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁																																																																																																					
・コンクリート打設 (深礎工)	・コンクリート																																																																																																						
名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																																			
土 木 一 般 世 話 役	人	0.08	0.05	0.18																																																																																																			
普 通 作 業 員	人	0.31 0.25	0.16 0.13	0.64 0.52																																																																																																			
諸 雑 費 率	%	12 10	25 21	16 13																																																																																																			
・ヒューム管 (B形管)	・函渠 (1)	・現場打基礎コンクリート																																																																																																					
・天端コンクリート	・小型擁壁 (B)	・重力式擁壁																																																																																																					
・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁																																																																																																					
・コンクリート打設 (深礎工)	・コンクリート																																																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 3/5																																																																																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																												
	<p>5-3-2 特殊養生工 5-3-2-1 特殊養生工(練炭養生) 練炭による特殊養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 特殊養生歩掛(練炭養生) (10m3 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.88</td> <td>0.54</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、練炭、コンロ、シート、養生マット、角材、パイプ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 養生のための足場は、別途計上する。</p> <p>5-3-2-2 特殊養生工(ジェットヒータ養生) (1) 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.7 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]</td> <td>[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 施工歩掛 ジェットヒータによる特殊養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.8 特殊養生歩掛(ジェットヒータ養生) (10m3 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.74</td> <td>0.43</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運 転</td> <td>日</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> <td>7.8</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>13</td> <td>28</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ジェットヒータは、賃料とする。 2. 諸雑費は、電力に関する経費、シート、養生マット、角材、パイプ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 養生のための足場は、別途計上する。</p> <p>(3) 運転時間 ジェットヒータによる特殊養生に要する施工機械運転日当り運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.9 施工機械運転日当り運転時間 (h/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転</td> <td>18.5</td> <td>15.2</td> <td>20.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ジェットヒータの運転時間当り燃料消費量は、灯油 3.6ℓ/h とする。</p> <p style="text-align: center;">4・①・10</p>	名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	普通作業員	人	0.88	0.54	1.6	諸 雑 費 率	%	25	25	32	機 械 名	規 格	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	普通作業員	人	0.74	0.43	2.4	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運 転	日	1.6	1.8	7.8	諸 雑 費 率	%	13	28	33	名 称	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転	18.5	15.2	20.1	<p>5-3-2 特殊養生工 5-3-2-1 特殊養生工(練炭養生) 練炭による特殊養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 特殊養生歩掛(練炭養生) (10m3 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>0.25</td> <td>0.15</td> <td>0.46</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.880.72</td> <td>0.540.44</td> <td>1.61.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>2519</td> <td>2520</td> <td>3226</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表5.8 特殊養生歩掛(ジェットヒータ養生) (10m3 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>0.21</td> <td>0.12</td> <td>0.69</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.740.6</td> <td>0.430.35</td> <td>2.42.0</td> </tr> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運 転</td> <td>日</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> <td>7.8</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>1311</td> <td>2822</td> <td>3328</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	土木一般世話役	人	0.25	0.15	0.46	普通作業員	人	0.88 0.72	0.54 0.44	1.6 1.3	諸 雑 費 率	%	25 19	25 20	32 26	名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	土木一般世話役	人	0.21	0.12	0.69	普通作業員	人	0.74 0.6	0.43 0.35	2.4 2.0	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運 転	日	1.6	1.8	7.8	諸 雑 費 率	%	13 11	28 22	33 28	<p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																											
普通作業員	人	0.88	0.54	1.6																																																																																											
諸 雑 費 率	%	25	25	32																																																																																											
機 械 名	規 格																																																																																														
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油																																																																																														
名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																											
普通作業員	人	0.74	0.43	2.4																																																																																											
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運 転	日	1.6	1.8	7.8																																																																																											
諸 雑 費 率	%	13	28	33																																																																																											
名 称	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																												
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転	18.5	15.2	20.1																																																																																												
名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																											
土木一般世話役	人	0.25	0.15	0.46																																																																																											
普通作業員	人	0.88 0.72	0.54 0.44	1.6 1.3																																																																																											
諸 雑 費 率	%	25 19	25 20	32 26																																																																																											
名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																																																											
土木一般世話役	人	0.21	0.12	0.69																																																																																											
普通作業員	人	0.74 0.6	0.43 0.35	2.4 2.0																																																																																											
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運 転	日	1.6	1.8	7.8																																																																																											
諸 雑 費 率	%	13 11	28 22	33 28																																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 4/5																																																																																												

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

6. 単 価 表

(1) 圧送管組立・撤去費 10m3 当り単価表

		施工歩掛コード		WB240020
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普通作業員		人	0.46 × L/B	表 5.2
諸 雑 費		式	1	
計				

- (注) 1. Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲 30m を超えた部分の圧送管延長とする。
 2. Bは、コンクリートの標準日打設とする。
 3. 設計日打設量が 10m3 以上 100m3 未満の場合は、標準日打設量を 69m3 とする。
 4. 設計日打設量が 100m3 以上 500m3 未満の場合は、標準日打設量を 280m3 とする。

(2) 養生工（一般養生）10m3 当り単価表

		施工歩掛コード		WB240050
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普通作業員		人		表 5.4
諸 雑 費		式	1	"
計				

(3) 養生工（特殊養生・練炭）10m3 当り単価表

		施工歩掛コード		WB240050
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普通作業員		人		表 5.6
諸 雑 費		式	1	"
計				

(4) 養生工（特殊養生・ジェットヒータ）10m3 当り単価表

		施工歩掛コード		WB240050
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普通作業員		人		表 5.8
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	日		"
諸 雑 費		式	1	"
計				

(5) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	機-16	燃料消費量→表5.9 機械賃料数量→1.20

4・①・11

現行どおり

(2) 養生工（一般養生）10m3 当り単価表

		施工歩掛コード		WB240050
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 5.4
普通作業員		人		表 5.4
諸 雑 費		式	1	"
計				

(3) 養生工（特殊養生・練炭）10m3 当り単価表

		施工歩掛コード		WB240050
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 5.6
普通作業員		人		表 5.6
諸 雑 費		式	1	"
計				

(4) 養生工（特殊養生・ジェットヒータ）10m3 当り単価表

		施工歩掛コード		WB240050
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表 5.8
普通作業員		人		表 5.8
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 運転	[油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	日		"
諸 雑 費		式	1	"
計				

現行どおり

語句の追加・修正
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項			(控え頁) 5/5
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																				
現	行	改	正																																																																																																																																			
<p>表3.5 1個当りコンクリート体積-1個当り型枠面積の区分表 【消波根固めブロック規格:5.5tを超え11.0t以下】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>1個当り コンクリート 体積(m³)</th> <th>1個当り型枠面積(m²)</th> <th>1個当り コンクリート 体積(m³)</th> <th>1個当り型枠面積(m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">2.20m³以上 2.40m³以下</td> <td>10.01m²以上11.59m²以下</td> <td rowspan="2">3.45m³を超え 3.70m³以下</td> <td>12.23m²以上14.51m²以下</td> </tr> <tr> <td>11.59m²を超え13.15m²以下</td> <td>14.51m²を超え16.79m²以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.40m³を超え 2.60m³以下</td> <td>13.15m²を超え14.73m²以下</td> <td rowspan="2">3.70m³を超え 3.96m³以下</td> <td>16.79m²を超え19.07m²以下</td> </tr> <tr> <td>10.38m²以上12.08m²以下</td> <td>12.86m²以上15.28m²以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.60m³を超え 2.80m³以下</td> <td>12.08m²を超え13.76m²以下</td> <td rowspan="2">3.96m³を超え 4.23m³以下</td> <td>15.28m²を超え17.70m²以下</td> </tr> <tr> <td>13.76m²を超え15.46m²以下</td> <td>17.70m²を超え20.12m²以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.80m³を超え 3.00m³以下</td> <td>10.74m²以上12.56m²以下</td> <td rowspan="2">4.23m³を超え 4.53m³以下</td> <td>13.33m²以上15.93m²以下</td> </tr> <tr> <td>12.56m²を超え14.36m²以下</td> <td>15.93m²を超え18.51m²以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.80m³を超え 3.00m³以下</td> <td>14.36m²を超え16.18m²以下</td> <td rowspan="2">4.53m³を超え 4.84m³以下</td> <td>18.51m²を超え21.11m²以下</td> </tr> <tr> <td>11.12m²以上13.04m²以下</td> <td>21.11m²を超え23.71m²以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.00m³を超え 3.22m³以下</td> <td>13.04m²を超え14.96m²以下</td> <td rowspan="2">4.84m³を超え 5.15m³以下</td> <td>23.71m²を超え26.31m²以下</td> </tr> <tr> <td>14.96m²を超え16.88m²以下</td> <td>26.31m²を超え28.92m²以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.22m³を超え 3.45m³以下</td> <td>11.51m²以上13.53m²以下</td> <td rowspan="2">5.15m³を超え 5.46m³以下</td> <td>28.92m²を超え31.52m²以下</td> </tr> <tr> <td>13.53m²を超え15.65m²以下</td> <td>31.52m²を超え34.13m²以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.45m³を超え 3.70m³以下</td> <td>15.65m²を超え17.87m²以下</td> <td rowspan="2">5.46m³を超え 5.77m³以下</td> <td>34.13m²を超え36.74m²以下</td> </tr> <tr> <td>17.87m²を超え19.99m²以下</td> <td>36.74m²を超え39.35m²以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.70m³を超え 3.96m³以下</td> <td>11.94m²以上14.10m²以下</td> <td rowspan="2">5.77m³を超え 6.08m³以下</td> <td>39.35m²を超え41.96m²以下</td> </tr> <tr> <td>14.10m²を超え16.24m²以下</td> <td>41.96m²を超え44.57m²以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.96m³を超え 4.23m³以下</td> <td>16.24m²を超え18.40m²以下</td> <td rowspan="2">6.08m³を超え 6.39m³以下</td> <td>44.57m²を超え47.18m²以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>47.18m²を超え49.79m²以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3.6 養生工の種類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">養生工の種類</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>給熱</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.7 消波根固めブロック製作 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 21-8-25(20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 鋼製型枠 異形ブロック 10t未満</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>Z3 練炭 高4号</td> <td>給熱養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表3.7 消波根固めブロック製作 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 21-8-25(20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 鋼製型枠 異形ブロック 10t未満</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>Z3 練炭 高4号 マッチ練炭4号</td> <td>給熱養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">5・①・6</p>		1個当り コンクリート 体積(m ³)	1個当り型枠面積(m ²)	1個当り コンクリート 体積(m ³)	1個当り型枠面積(m ²)	2.20m ³ 以上 2.40m ³ 以下	10.01m ² 以上11.59m ² 以下	3.45m ³ を超え 3.70m ³ 以下	12.23m ² 以上14.51m ² 以下	11.59m ² を超え13.15m ² 以下	14.51m ² を超え16.79m ² 以下	2.40m ³ を超え 2.60m ³ 以下	13.15m ² を超え14.73m ² 以下	3.70m ³ を超え 3.96m ³ 以下	16.79m ² を超え19.07m ² 以下	10.38m ² 以上12.08m ² 以下	12.86m ² 以上15.28m ² 以下	2.60m ³ を超え 2.80m ³ 以下	12.08m ² を超え13.76m ² 以下	3.96m ³ を超え 4.23m ³ 以下	15.28m ² を超え17.70m ² 以下	13.76m ² を超え15.46m ² 以下	17.70m ² を超え20.12m ² 以下	2.80m ³ を超え 3.00m ³ 以下	10.74m ² 以上12.56m ² 以下	4.23m ³ を超え 4.53m ³ 以下	13.33m ² 以上15.93m ² 以下	12.56m ² を超え14.36m ² 以下	15.93m ² を超え18.51m ² 以下	2.80m ³ を超え 3.00m ³ 以下	14.36m ² を超え16.18m ² 以下	4.53m ³ を超え 4.84m ³ 以下	18.51m ² を超え21.11m ² 以下	11.12m ² 以上13.04m ² 以下	21.11m ² を超え23.71m ² 以下	3.00m ³ を超え 3.22m ³ 以下	13.04m ² を超え14.96m ² 以下	4.84m ³ を超え 5.15m ³ 以下	23.71m ² を超え26.31m ² 以下	14.96m ² を超え16.88m ² 以下	26.31m ² を超え28.92m ² 以下	3.22m ³ を超え 3.45m ³ 以下	11.51m ² 以上13.53m ² 以下	5.15m ³ を超え 5.46m ³ 以下	28.92m ² を超え31.52m ² 以下	13.53m ² を超え15.65m ² 以下	31.52m ² を超え34.13m ² 以下	3.45m ³ を超え 3.70m ³ 以下	15.65m ² を超え17.87m ² 以下	5.46m ³ を超え 5.77m ³ 以下	34.13m ² を超え36.74m ² 以下	17.87m ² を超え19.99m ² 以下	36.74m ² を超え39.35m ² 以下	3.70m ³ を超え 3.96m ³ 以下	11.94m ² 以上14.10m ² 以下	5.77m ³ を超え 6.08m ³ 以下	39.35m ² を超え41.96m ² 以下	14.10m ² を超え16.24m ² 以下	41.96m ² を超え44.57m ² 以下	3.96m ³ を超え 4.23m ³ 以下	16.24m ² を超え18.40m ² 以下	6.08m ³ を超え 6.39m ³ 以下	44.57m ² を超え47.18m ² 以下		47.18m ² を超え49.79m ² 以下	積算条件	区 分	養生工の種類	一般	給熱	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1 生コンクリート 高炉 21-8-25(20) W/C 55%		Z2 鋼製型枠 異形ブロック 10t未満	賃料	Z3 練炭 高4号	給熱養生の場合	Z4 -		市場単価	S -		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1 生コンクリート 高炉 21-8-25(20) W/C 55%		Z2 鋼製型枠 異形ブロック 10t未満	賃料	Z3 練炭 高4号 マッチ練炭4号	給熱養生の場合	Z4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p>	<p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
1個当り コンクリート 体積(m ³)	1個当り型枠面積(m ²)	1個当り コンクリート 体積(m ³)	1個当り型枠面積(m ²)																																																																																																																																			
2.20m ³ 以上 2.40m ³ 以下	10.01m ² 以上11.59m ² 以下	3.45m ³ を超え 3.70m ³ 以下	12.23m ² 以上14.51m ² 以下																																																																																																																																			
	11.59m ² を超え13.15m ² 以下		14.51m ² を超え16.79m ² 以下																																																																																																																																			
2.40m ³ を超え 2.60m ³ 以下	13.15m ² を超え14.73m ² 以下	3.70m ³ を超え 3.96m ³ 以下	16.79m ² を超え19.07m ² 以下																																																																																																																																			
	10.38m ² 以上12.08m ² 以下		12.86m ² 以上15.28m ² 以下																																																																																																																																			
2.60m ³ を超え 2.80m ³ 以下	12.08m ² を超え13.76m ² 以下	3.96m ³ を超え 4.23m ³ 以下	15.28m ² を超え17.70m ² 以下																																																																																																																																			
	13.76m ² を超え15.46m ² 以下		17.70m ² を超え20.12m ² 以下																																																																																																																																			
2.80m ³ を超え 3.00m ³ 以下	10.74m ² 以上12.56m ² 以下	4.23m ³ を超え 4.53m ³ 以下	13.33m ² 以上15.93m ² 以下																																																																																																																																			
	12.56m ² を超え14.36m ² 以下		15.93m ² を超え18.51m ² 以下																																																																																																																																			
2.80m ³ を超え 3.00m ³ 以下	14.36m ² を超え16.18m ² 以下	4.53m ³ を超え 4.84m ³ 以下	18.51m ² を超え21.11m ² 以下																																																																																																																																			
	11.12m ² 以上13.04m ² 以下		21.11m ² を超え23.71m ² 以下																																																																																																																																			
3.00m ³ を超え 3.22m ³ 以下	13.04m ² を超え14.96m ² 以下	4.84m ³ を超え 5.15m ³ 以下	23.71m ² を超え26.31m ² 以下																																																																																																																																			
	14.96m ² を超え16.88m ² 以下		26.31m ² を超え28.92m ² 以下																																																																																																																																			
3.22m ³ を超え 3.45m ³ 以下	11.51m ² 以上13.53m ² 以下	5.15m ³ を超え 5.46m ³ 以下	28.92m ² を超え31.52m ² 以下																																																																																																																																			
	13.53m ² を超え15.65m ² 以下		31.52m ² を超え34.13m ² 以下																																																																																																																																			
3.45m ³ を超え 3.70m ³ 以下	15.65m ² を超え17.87m ² 以下	5.46m ³ を超え 5.77m ³ 以下	34.13m ² を超え36.74m ² 以下																																																																																																																																			
	17.87m ² を超え19.99m ² 以下		36.74m ² を超え39.35m ² 以下																																																																																																																																			
3.70m ³ を超え 3.96m ³ 以下	11.94m ² 以上14.10m ² 以下	5.77m ³ を超え 6.08m ³ 以下	39.35m ² を超え41.96m ² 以下																																																																																																																																			
	14.10m ² を超え16.24m ² 以下		41.96m ² を超え44.57m ² 以下																																																																																																																																			
3.96m ³ を超え 4.23m ³ 以下	16.24m ² を超え18.40m ² 以下	6.08m ³ を超え 6.39m ³ 以下	44.57m ² を超え47.18m ² 以下																																																																																																																																			
			47.18m ² を超え49.79m ² 以下																																																																																																																																			
積算条件	区 分																																																																																																																																					
養生工の種類	一般																																																																																																																																					
	給熱																																																																																																																																					
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																				
機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料																																																																																																																																				
	K2 -																																																																																																																																					
	K3 -																																																																																																																																					
労務	R1 普通作業員																																																																																																																																					
	R2 特殊作業員																																																																																																																																					
	R3 土木一般世話役																																																																																																																																					
	R4 -																																																																																																																																					
材料	Z1 生コンクリート 高炉 21-8-25(20) W/C 55%																																																																																																																																					
	Z2 鋼製型枠 異形ブロック 10t未満	賃料																																																																																																																																				
	Z3 練炭 高4号	給熱養生の場合																																																																																																																																				
	Z4 -																																																																																																																																					
市場単価	S -																																																																																																																																					
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																				
機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料																																																																																																																																				
	K2 -																																																																																																																																					
	K3 -																																																																																																																																					
労務	R1 普通作業員																																																																																																																																					
	R2 特殊作業員																																																																																																																																					
	R3 土木一般世話役																																																																																																																																					
	R4 -																																																																																																																																					
材料	Z1 生コンクリート 高炉 21-8-25(20) W/C 55%																																																																																																																																					
	Z2 鋼製型枠 異形ブロック 10t未満	賃料																																																																																																																																				
	Z3 練炭 高4号 マッチ練炭4号	給熱養生の場合																																																																																																																																				
	Z4 -																																																																																																																																					
市場単価	S -																																																																																																																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																																																																																																			

改正理由	一部改正	改正 現行																																																															
現	行	改	正																																																														
<p>表3.19 トラック1台当り運搬距離</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15" style="text-align: center;">トラック1台当り 運搬距離</td><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>4.5km以下</td></tr> <tr><td>5.0km以下</td></tr> <tr><td>5.5km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>6.5km以下</td></tr> <tr><td>7.0km以下</td></tr> <tr><td>7.5km以下</td></tr> <tr><td>8.5km以下</td></tr> <tr><td>9.5km以下</td></tr> <tr><td>10.5km以下</td></tr> <tr><td>11.5km以下</td></tr> <tr><td>12.5km以下</td></tr> <tr><td>14.0km以下</td></tr> <tr><td>15.0km以下</td></tr> </tbody> </table>		積算条件	区分	トラック1台当り 運搬距離	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.0km以下	3.5km以下	4.0km以下	4.5km以下	5.0km以下	5.5km以下	6.0km以下	6.5km以下	7.0km以下	7.5km以下	8.5km以下	9.5km以下	10.5km以下	11.5km以下	12.5km以下	14.0km以下	15.0km以下	<p>現行どおり</p>	備考																																					
積算条件	区分																																																																
トラック1台当り 運搬距離	0.5km以下																																																																
	1.0km以下																																																																
	1.5km以下																																																																
	2.0km以下																																																																
	2.5km以下																																																																
	3.0km以下																																																																
	3.5km以下																																																																
	4.0km以下																																																																
	4.5km以下																																																																
	5.0km以下																																																																
	5.5km以下																																																																
	6.0km以下																																																																
	6.5km以下																																																																
	7.0km以下																																																																
	7.5km以下																																																																
8.5km以下																																																																	
9.5km以下																																																																	
10.5km以下																																																																	
11.5km以下																																																																	
12.5km以下																																																																	
14.0km以下																																																																	
15.0km以下																																																																	
<p>(2) 代表機材規格 次表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.20 消波根固めブロック運搬 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>トラック [普通型] 11t 種</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>運転手 (一般)</td></tr> <tr><td>R2</td><td>—</td></tr> <tr><td>R3</td><td>—</td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>軽油 1.2号 バトルール給油</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1	トラック [普通型] 11t 種	K2	—	K3	—	労務	R1	運転手 (一般)	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>(2) 代表機材規格 次表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.20 消波根固めブロック運搬 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>トラック [普通型] 10~11t 種</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>運転手 (一般)</td></tr> <tr><td>R2</td><td>—</td></tr> <tr><td>R3</td><td>—</td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>軽油 1.2号 バトルール給油</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1	トラック [普通型] 10~11t 種	K2	—	K3	—	労務	R1	運転手 (一般)	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—
項目	代表機材規格	備考																																																															
機械	K1	トラック [普通型] 11t 種																																																															
	K2	—																																																															
	K3	—																																																															
労務	R1	運転手 (一般)																																																															
	R2	—																																																															
	R3	—																																																															
	R4	—																																																															
材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油																																																															
	Z2	—																																																															
	Z3	—																																																															
	Z4	—																																																															
市場単価	S	—																																																															
項目	代表機材規格	備考																																																															
機械	K1	トラック [普通型] 10~11t 種																																																															
	K2	—																																																															
	K3	—																																																															
労務	R1	運転手 (一般)																																																															
	R2	—																																																															
	R3	—																																																															
	R4	—																																																															
材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油																																																															
	Z2	—																																																															
	Z3	—																																																															
	Z4	—																																																															
市場単価	S	—																																																															
5・①・13																																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																														

記載の変更

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																													
現 行		改 正																																																																																														
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 注入 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ボーリングマシン [油圧式] 5.5kW 級</td> <td>ロッド工法の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 発動発電機 [ディーゼル駆動・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 45kVA</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 ベントナイト 25kg/袋 メッシュ 200</td> <td>注入材料が各種配合以外の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2 セメント 高炉 B 25kg 袋入</td> <td>注入材料が各種配合の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>注入材料が各種配合以外の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 起泡剤 アルミ粉</td> <td>注入材料が各種配合以外の場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 注入設備据付・解体 (1) 条件区分 注入設備据付・解体における積算条件区分はない。 積算単位は、回とする。 (注) 1. 注入設備の据付・解体に要する費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 注入設備2セット分の費用である。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 注入設備据付・解体 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 トラック [クレーン装置付] ペーストラック 4t 級・吊能力 2.9 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ボーリングマシン [油圧式] 5.5kW 級	ロッド工法の場合	K2 発動発電機 [ディーゼル駆動・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 45kVA	賃料	K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 土木一般世話役		R3 普通作業員		R4 -		材料	Z1 ベントナイト 25kg/袋 メッシュ 200	注入材料が各種配合以外の場合	Z2 セメント 高炉 B 25kg 袋入	注入材料が各種配合の場合	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油	注入材料が各種配合以外の場合	Z4 起泡剤 アルミ粉	注入材料が各種配合以外の場合	市場単価	S -		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 トラック [クレーン装置付] ペーストラック 4t 級・吊能力 2.9 t		K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手 (特殊)		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 注入設備据付・解体 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 トラック [クレーン装置付] ペーストラック 4~4.5t 縦積・吊能力 2.9 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 トラック [クレーン装置付] ペーストラック 4~4.5t 縦積・吊能力 2.9 t		K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手 (特殊)		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		記載の変更
項目	代表機材規格	備考																																																																																														
機械	K1 ボーリングマシン [油圧式] 5.5kW 級	ロッド工法の場合																																																																																														
	K2 発動発電機 [ディーゼル駆動・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 45kVA	賃料																																																																																														
	K3 -																																																																																															
労務	R1 特殊作業員																																																																																															
	R2 土木一般世話役																																																																																															
	R3 普通作業員																																																																																															
	R4 -																																																																																															
材料	Z1 ベントナイト 25kg/袋 メッシュ 200	注入材料が各種配合以外の場合																																																																																														
	Z2 セメント 高炉 B 25kg 袋入	注入材料が各種配合の場合																																																																																														
	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油	注入材料が各種配合以外の場合																																																																																														
	Z4 起泡剤 アルミ粉	注入材料が各種配合以外の場合																																																																																														
市場単価	S -																																																																																															
項目	代表機材規格	備考																																																																																														
機械	K1 トラック [クレーン装置付] ペーストラック 4t 級・吊能力 2.9 t																																																																																															
	K2 -																																																																																															
	K3 -																																																																																															
労務	R1 普通作業員																																																																																															
	R2 特殊作業員																																																																																															
	R3 土木一般世話役																																																																																															
	R4 運転手 (特殊)																																																																																															
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																															
	Z2 -																																																																																															
	Z3 -																																																																																															
	Z4 -																																																																																															
市場単価	S -																																																																																															
項目	代表機材規格	備考																																																																																														
機械	K1 トラック [クレーン装置付] ペーストラック 4~4.5t 縦積・吊能力 2.9 t																																																																																															
	K2 -																																																																																															
	K3 -																																																																																															
労務	R1 普通作業員																																																																																															
	R2 特殊作業員																																																																																															
	R3 土木一般世話役																																																																																															
	R4 運転手 (特殊)																																																																																															
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																															
	Z2 -																																																																																															
	Z3 -																																																																																															
	Z4 -																																																																																															
市場単価	S -																																																																																															
積算上の注意事項	6・⑥・7		(控え頁) 1/1																																																																																													

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																													
現	行	改 正	備 考																																													
<p>⑦ 機械土工 (河床等掘削)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川工事における以下の機械土工を、超ロングアームバックホウにより施工する場合に適用する。ただし、下記以外の一般土工には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 河床等掘削 (1) 川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び道路、河川工事におけるほぐした土の掘削、積込み (2) 最大掘削深さが11.7m以下の場合</p> <p>1-1-2 軟弱土等運搬 (1) 川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去した後の運搬</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記のとおりとする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは二重実線部分のみである。 2. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。</p> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 河床等掘削 (1) 条件区分 河床等掘削における積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。 (注) 河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び道路、河川工事におけるほぐした土の掘削、積込み等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表3.1 河床等掘削 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[超ロングアーム・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.4m³(平積0.3m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)[超ロングアーム・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.4m ³ (平積0.3m ³)		K2	—		K3	—		労務	R1	運転手(特殊)		R2	—		R3	—		R4	—		材料	Z1	軽油1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>⑦ 機械土工 (河床等掘削)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、道路、河川工事における以下の機械土工を、超ロングアームバックホウ(超ロングアーム)により施工する場合に適用する。ただし、下記以外の一般土工には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 河床等掘削 (1) 川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び道路、河川工事におけるほぐした土の掘削、積込み (2) 最大掘削深さが11.7m以下の場合</p> <p>1-1-2 軟弱土等運搬 (1) 川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去し、水切りした後の運搬</p>		<p>語句の修正・追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																													
機械	K1	バックホウ(クローラ型)[超ロングアーム・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.4m ³ (平積0.3m ³)																																														
	K2	—																																														
	K3	—																																														
労務	R1	運転手(特殊)																																														
	R2	—																																														
	R3	—																																														
	R4	—																																														
材料	Z1	軽油1.2号 バトロール給油																																														
	Z2	—																																														
	Z3	—																																														
	Z4	—																																														
市場単価	S	—																																														
<p>6・⑦・1</p>		<p>現行どおり</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																													

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">現行なし</p> </div>	<p style="text-align: center; color: red;">⑧ 機械土工 (河床等掘削) (ICT)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川工事における以下の機械土工を、バックホウ (ICT施工対応型) により施工する場合に適用する。ただし、下記以外の一般土工には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 河床等掘削</p> <p>(1) 3D-MG又はMCバックホウによる川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び積込み</p> <p>(2) 最大掘削深さが6.5m以下の場合</p> <p>1-1-2 軟弱土等運搬</p> <p>(1) 川や水路及び河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去し、水切りした後の運搬</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記のとおりとする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは二重実線部分のみである。 2. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。</p> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 河床等掘削</p> <p>(1) 条件区分 河床等掘削における積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。 (注) 河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び河川工事におけるほぐした土の掘削、積込み等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含み、クレーン作業は含まない。</p>	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4

改正理由	一部改正	改正 現行																																
現 行	改 正		備 考																															
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">現行なし</p> </div>		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 河床等掘削 (ICT) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 ICT建設機械経費賃料加算額</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ICT建設機械経費賃料加算額 (バックホウ (ICT施工対応型)) は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料	K 2 ICT建設機械経費賃料加算額	賃料	K 3 -		労務	R 1 運転手 (特殊)		R 2 -		R 3 -		R 4 -		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料																																
	K 2 ICT建設機械経費賃料加算額	賃料																																
	K 3 -																																	
労務	R 1 運転手 (特殊)																																	
	R 2 -																																	
	R 3 -																																	
	R 4 -																																	
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油																																	
	Z 2 -																																	
	Z 3 -																																	
	Z 4 -																																	
市場単価	S -																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																															

改正理由	一部改正	改正 現行																																			
現 行	改 正		備 考																																		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">現行なし</div>	<p>3-2 軟弱土等運搬 (ICT)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 軟弱土等運搬 積算条件区分一覧</p> <p style="text-align: center;">(積算単位：m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">DID 区間の有無</th> <th style="text-align: center;">運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15" style="text-align: center;">無し</td><td>0.2km 以下</td></tr> <tr><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>0.8km 以下</td></tr> <tr><td>1.1km 以下</td></tr> <tr><td>1.5km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.6km 以下</td></tr> <tr><td>3.3km 以下</td></tr> <tr><td>4.2km 以下</td></tr> <tr><td>5.5km 以下</td></tr> <tr><td>7.3km 以下</td></tr> <tr><td>9.7km 以下</td></tr> <tr><td>13.8km 以下</td></tr> <tr><td>22.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> <tr><td rowspan="15" style="text-align: center;">有り</td><td>0.2km 以下</td></tr> <tr><td>0.4km 以下</td></tr> <tr><td>0.7km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>1.4km 以下</td></tr> <tr><td>1.9km 以下</td></tr> <tr><td>2.5km 以下</td></tr> <tr><td>3.1km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.2km 以下</td></tr> <tr><td>6.7km 以下</td></tr> <tr><td>9.0km 以下</td></tr> <tr><td>12.6km 以下</td></tr> <tr><td>19.5km 以下</td></tr> <tr><td>39.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去した後の運搬作業及び道路、河川工事におけるほぐした土の運搬作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用を含む。 3. タイヤ損耗の「良好」「普通」「不良」にかかわらず適用出来る。 4. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。 5. DID (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 6. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 7. 現場条件により表3.2で想定する機械により難い場合は、別途考慮する。</p>	DID 区間の有無	運搬距離	無し	0.2km 以下	0.5km 以下	0.8km 以下	1.1km 以下	1.5km 以下	2.0km 以下	2.6km 以下	3.3km 以下	4.2km 以下	5.5km 以下	7.3km 以下	9.7km 以下	13.8km 以下	22.0km 以下	60.0km 以下	有り	0.2km 以下	0.4km 以下	0.7km 以下	1.0km 以下	1.4km 以下	1.9km 以下	2.5km 以下	3.1km 以下	4.0km 以下	5.2km 以下	6.7km 以下	9.0km 以下	12.6km 以下	19.5km 以下	39.0km 以下	60.0km 以下	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
DID 区間の有無	運搬距離																																				
無し	0.2km 以下																																				
	0.5km 以下																																				
	0.8km 以下																																				
	1.1km 以下																																				
	1.5km 以下																																				
	2.0km 以下																																				
	2.6km 以下																																				
	3.3km 以下																																				
	4.2km 以下																																				
	5.5km 以下																																				
	7.3km 以下																																				
	9.7km 以下																																				
	13.8km 以下																																				
	22.0km 以下																																				
	60.0km 以下																																				
有り	0.2km 以下																																				
	0.4km 以下																																				
	0.7km 以下																																				
	1.0km 以下																																				
	1.4km 以下																																				
	1.9km 以下																																				
	2.5km 以下																																				
	3.1km 以下																																				
	4.0km 以下																																				
	5.2km 以下																																				
	6.7km 以下																																				
	9.0km 以下																																				
	12.6km 以下																																				
	19.5km 以下																																				
	39.0km 以下																																				
60.0km 以下																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																		

改正理由	一部改正	改正 現行																																
現 行	改 正		備 考																															
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">現行なし</div>	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 軟弱土等運搬(ICT) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積載</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積載	タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む	K2 -		K3 -		労務	R1 運転手(一般)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -			<p style="text-align: right;">記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積載	タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む																																
	K2 -																																	
	K3 -																																	
労務	R1 運転手(一般)																																	
	R2 -																																	
	R3 -																																	
	R4 -																																	
材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油																																	
	Z2 -																																	
	Z3 -																																	
	Z4 -																																	
市場単価	S -																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 4/4																															

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.6 巨石張(練) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料
	K2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	裏込材が有りの場合
	K3	-	
労務	R1	普通作業員	
	R2	特殊作業員	
	R3	土木一般世話役	
	R4	運転手(特殊)	裏込材が有りの場合
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	
	Z2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合
	Z3	軽油 1.2号 バトロール給油	裏込材が有りの場合
	Z4	遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シートもしくは、止水シートが有りの場合
市場単価	S	-	

3-2 巨石張(空)

(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3.7 巨石張(空) 積算条件区分一覧

(積算単位:m2)

石材径区分	吸出し防止材の有無	裏込材の有無	裏込材規格	胴込材規格
(表3.2)	有り	有り	(表3.3)	(表3.3)
		無し	-	
	無し	有り	(表3.3)	
		無し	-	

- (注) 1. 上表は、巨石(法勾配1割以上)の設置、裏込材設置、胴込材設置、吸出し防止材、現場内小運搬の他、型枠、コンクリートバケット、コンクリートパイプレータ、つき固め機械損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石材(材料費)は含まない。
2. 石材径とは、最大径と最小径の平均値とする。
3. 20m程度の現場内小運搬を含むが、施工現場まで距離がある場合(20m超)の運搬費は、別途計上する。
4. 石材を現地採取する場合は、「3-6 巨石採取」で別途計上する。また、石材を購入する場合は、購入費をm2当り単価で別途計上する。
5. かみ合せによる石の加工を含む。
6. 吸出し防止材、裏込材、胴込材の材料ロスを含む。標準ロス率は、吸出し防止材が+0.09、裏込材及び胴込材が+0.20とする。
7. 裏込材とは、裏込砕石(クラッシュラン、雑砕石等)、胴込材とは、胴込砕石(玉石、割栗石、雑割石等)とする。

6・⑧・4

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.6 巨石張(練) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料
	K2	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第1次基準値-2011年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)	裏込材が有りの場合
	K3	-	
労務	R1	普通作業員	
	R2	特殊作業員	
	R3	土木一般世話役	
	R4	運転手(特殊)	裏込材が有りの場合
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	
	Z2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合
	Z3	軽油 1.2号 バトロール給油	裏込材が有りの場合
	Z4	遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シートもしくは、止水シートが有りの場合
市場単価	S	-	

現行どおり

代表機械の追加・修正
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

3.8 巨石積(空) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料
	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	運転手(特殊)	
材料	Z 1	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	吸出し防止材が有りの場合
	Z 2	再生クラッシュラン RC-40(裏込材)	裏込材が有りの場合
	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z 4	再生クラッシュラン RC-40(胴込材)	
市場単価	S	—	

3-3 巨石積(練)

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表3.9 巨石積(練) 積算条件区分一覧

(積算単位:m²)

石材径区分	遮水シートの有無	止水シートの有無	裏込材の有無	裏込材規格	胴込・裏込コンクリート使用量	胴込・裏込コンクリート規格
(表3.2)	有り	有り	有り	(表3.3)	(表3.4)	(表3.5)
			無し	—		
		無し	有り	(表3.3)		
			無し	—		
	無し	有り	有り	(表3.3)		
			無し	—		
		無し	有り	(表3.3)		
			無し	—		

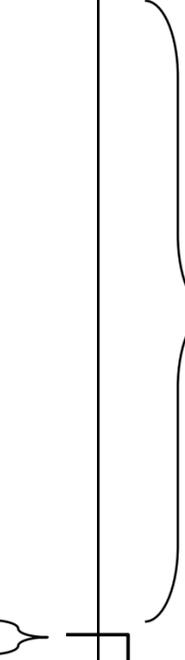
- (注) 1. 上表は、巨石(法勾配1割未満)の設置、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設(一般養生を含む)、遮水シート・止水シート、水抜きパイプ、吸出し防止材、現場内小運搬の他、型枠、コンクリートバケット、コンクリートパイプレータ、つき固め機械損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石材(材料費)は含まない。
 2. 石材径とは、最大径と最小径の平均値とする。
 3. 20m程度の現場内小運搬を含むが、施工現場まで距離がある場合(20m超)の運搬費は、別途計上する。
 4. 石材を現地採取する場合は、「3-6 巨石採取」で別途計上する。また、石材を購入する場合は、購入費をm²当り単価で別途計上する。
 5. かみ合せによる石の加工を含む。
 6. 遮水・止水シート、裏込材、胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、遮水・止水シートが+0.09、裏込材が+0.20、胴込・裏込コンクリートが+0.13とする。
 7. 裏込材とは、裏込砕石(クラッシュラン、雑割石等)とする。

6・⑧・5

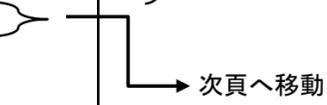
(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

3.8 巨石積(空) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第42次基準値)]25t吊	賃料
	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第1次基準値-2011年規制)]山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	運転手(特殊)	
材料	Z 1	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	吸出し防止材が有りの場合
	Z 2	再生クラッシュラン RC-40(裏込材)	裏込材が有りの場合
	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z 4	再生クラッシュラン RC-40(胴込材)	
市場単価	S	—	



現行どおり



次頁へ移動

代表機械の追加・修正
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項		(控え頁)	2/5
----------	--	-------	-----

工種	巨石積(張)工
----	---------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改	正
	前頁から移動 →	が+0.09, 裏込材が+0.20, 胴込・裏込コンクリートが+0.13 とする。 7. 裏込材とは, 裏込碎石 (クラッシュラン, 雑割石等) とする。	
積算上の注意事項			(控え頁) 3/5

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.10 巨石積(線) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料
	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	裏込材が有りの場合
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	運転手(特殊)	裏込材が有りの場合
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%	
	Z 2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合
	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油	裏込材が有りの場合
	Z 4	遮水シート 厚 1.0+10.0mm	遮水シートもしくは、 止水シートが有りの場合
市場単価	S	—	

- 3-4 基礎コンクリート工
基礎コンクリート工は、「第Ⅲ編第2章①護岸基礎ブロック工」又は「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」及び「第Ⅱ編第4章②-1型枠工」により別途計上する。
- 3-5 天端コンクリート工
天端コンクリート工は、「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」及び「第Ⅱ編第4章②-1型枠工」により別途計上する。
- 3-6 巨石採取
(1) 条件区分
巨石採取における積算条件区分はない。
積算単位は、個とする。
(注) 1. 巨石採取は、多自然護岸工事における巨石材(径40cm以上~100cm以下)の掘削、採取、積み込み、洗浄、選別、現場内小運搬の他、掴み装置、高圧洗浄機、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。
2. 機械による破碎作業や火薬類による発破作業が必要な場合は、別途計上する。
3. 採取による20m程度の現場内小運搬を含むが、施工現場まで距離がある場合(20m超)の運搬費は、別途計上する。

6・⑧・6

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.10 巨石積(線) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第42次基準値)]25t吊	賃料
	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第1次基準値-2011年規制)]山積0.8m3(平積0.6m3)	裏込材が有りの場合
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	運転手(特殊)	裏込材が有りの場合
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%	
	Z 2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合
	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油	裏込材が有りの場合
	Z 4	遮水シート 厚 1.0+10.0mm	遮水シートもしくは、 止水シートが有りの場合
市場単価	S	—	

現行どおり

代表機械の追加・修正
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.11 巨石採取 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	
	K 2	バックホウ用アタッチメント [掴み装置] 開口幅 2,100~2,500mm 爪幅 450~1,000mm	
	K 3	-	
労務	R 1	運転手 (特殊)	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	-	
	R 4	-	
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z 2	-	
	Z 3	-	
	Z 4	-	
市場単価	S	-	

3-7 巨石 (材料費)
(1) 条件区分
巨石 (材料費) における積算条件区分はない。
積算単位は、m2 とする。

6・⑧・7

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.11 巨石採取 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第1次基準値 -2011 年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	
	K 2	バックホウ用アタッチメント [掴み装置] 開口幅 2,100~2,500mm 爪幅 450~1,000mm	
	K 3	-	
労務	R 1	運転手 (特殊)	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	-	
	R 4	-	
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z 2	-	
	Z 3	-	
	Z 4	-	
市場単価	S	-	

→
} 現行どおり

代表機械の追加・修正
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考	
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>⑩ 光ケーブル配管工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川堤防に布設する光ケーブル配管工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 掘削(光ケーブル配管) (1) 河川堤防に布設する光ケーブル配管工事の掘削(土の状態を問わない)を行う場合</p> <p>1-1-2 埋戻し締固め (1) 土質が、レキ質、砂・砂質土、粘性土の場合 (2) 保護砂の有無にかかわらず適用出来る</p> <p>1-1-3 配管設置(埋設部) (1) 設置条数(2~4条)の通常管(FEP管類、φ50~80程度)の埋設部における配管設置 (2) 合成樹脂多孔管(内管の設置条数2~4条、内管φ50~80程度)の埋設部における配管設置</p> <p>1-1-4 配管設置(露出部) (1) 設置条数(2~4条)の厚鋼電線管類(φ50~80程度)の露出部における配管設置 (2) 設置箇所が、橋梁添架部、橋梁横断部、堤防露出部、管渠部の場合</p> <p>1-1-5 ハンドホール (1) ハンドホール規格が、高さ1,500mm以下、質量2,500kg以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 配管設置(埋設部) (1) 露出部の配管 (2) 河川堤防における光ケーブル用以外の配管</p> <p>1-2-2 配管設置(露出部) (1) 埋設部の配管</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、次図を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 舗装版破砕積込は、「第IV編第3章②舗装版破砕工」による。 3. 基礎砕石工は、「第II編第2章②基礎・裏込砕石工」による。 4. 盛土法面整形は、「第II編第2章①-1法面整形工」による。 5. ダンプトラック運搬が必要な場合「第II編第1章②土工(土砂等運搬)」による。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 掘削(光ケーブル配管) (1) 条件区分 掘削(光ケーブル配管)の積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。 (注) 掘削(光ケーブル配管)は河川堤防での光ケーブルの設置における掘削、基面整形(床揃え又は敷砂)の他、基面整正作業時に必要な締固め機械の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p style="text-align: center;">6・⑩・1</p>	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現 行</p>	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p>⑩ 光ケーブル配管工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川堤防に掘削埋設する光ケーブル配管工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 掘削(光ケーブル配管) (1) 河川堤防に掘削埋設する光ケーブル配管工事の掘削(土の状態を問わない)を行う場合</p> <p>1-1-2 埋戻し締固め (1) 土質が、レキ質、砂・砂質土、粘性土の場合 (2) 保護砂の有無にかかわらず適用出来る</p> <p>1-1-3 配管設置(埋設部) (1) 設置条数(2~4条)の通常管(FEP管類、φ50~80程度)の埋設部における配管設置 (2) 合成樹脂多孔管(内管の設置条数2~4条、内管φ50~80程度)の埋設部における配管設置 1-1-4 配管設置(露出部) 1-1-5 配管設置(φ50~80程度の厚鋼電線管類(φ50~80程度)の露出部における配管設置 1-1-6 設置箇所が、橋梁添架部、橋梁横断部、堤防露出部、管渠部の場合</p> <p>1-1-4 ハンドホール (1) ハンドホール規格が、高さ1,500mm以下、質量2,500kg以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 配管設置(埋設部) (1) 露出部、合成樹脂多孔管の配管 (2) 河川堤防における光ケーブル用以外の配管</p> <p>1-2-2 配管設置(露出部) 1-1 埋設部の配管</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、次図を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>記載の追加・修正・ 削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/8	

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																																					
現	行	改	正																																																																																																																																					
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削(光ケーブル配管) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 埋戻し締固め (1) 条件区分 埋戻し締固めの積算条件区分はない。 積算単位は、m3とする。 (注) 1. 埋戻し締固め、埋戻しシート設置 (材料費を含む)、締固め機械の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料を含む) を含む。ただし、敷砂、保護砂の材料費は含まない。 2. 埋戻し締固めの土量は締固め後の土量とする。 3. 敷砂及び保護砂に購入土を使用する場合の材料費は別途計上する。 4. 水締め作業が必要な場合は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 埋戻し締固め 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3)	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手 (特殊)		R 2	特殊作業員		R 3	普通作業員		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトルール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3)	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手 (特殊)		R 2	普通作業員		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトルール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削(光ケーブル配管) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 埋戻し締固め (1) 条件区分 埋戻し締固めの積算条件区分はない。 積算単位は、m3とする。 (注) 1. 埋戻し締固め、埋戻しシート設置 (材料費を含む除く)、締固め機械の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料を含む) を含む。ただし、敷砂、保護砂の材料費は含まない。 2. 埋戻し締固めの土量は締固め後の土量とする。 →3. 敷砂及び保護砂に購入土を使用する場合の材料費は別途計上する。 →4. 敷砂及び保護砂に購入土を使用する場合の材料費は別途計上する。 →5. 水締め作業が必要な場合は別途計上する。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3)	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手 (特殊)		R 2	特殊作業員		R 3	普通作業員		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトルール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>→</p> <p>次頁に移動</p>	<p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																					
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3)	賃料																																																																																																																																					
	K 2	—																																																																																																																																						
	K 3	—																																																																																																																																						
労務	R 1	運転手 (特殊)																																																																																																																																						
	R 2	特殊作業員																																																																																																																																						
	R 3	普通作業員																																																																																																																																						
	R 4	—																																																																																																																																						
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトルール給油																																																																																																																																						
	Z 2	—																																																																																																																																						
	Z 3	—																																																																																																																																						
	Z 4	—																																																																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																																																																						
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																					
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3)	賃料																																																																																																																																					
	K 2	—																																																																																																																																						
	K 3	—																																																																																																																																						
労務	R 1	運転手 (特殊)																																																																																																																																						
	R 2	普通作業員																																																																																																																																						
	R 3	特殊作業員																																																																																																																																						
	R 4	—																																																																																																																																						
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトルール給油																																																																																																																																						
	Z 2	—																																																																																																																																						
	Z 3	—																																																																																																																																						
	Z 4	—																																																																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																																																																						
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																					
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3)	賃料																																																																																																																																					
	K 2	—																																																																																																																																						
	K 3	—																																																																																																																																						
労務	R 1	運転手 (特殊)																																																																																																																																						
	R 2	特殊作業員																																																																																																																																						
	R 3	普通作業員																																																																																																																																						
	R 4	—																																																																																																																																						
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトルール給油																																																																																																																																						
	Z 2	—																																																																																																																																						
	Z 3	—																																																																																																																																						
	Z 4	—																																																																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 2/8																																																																																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																															
現	行	改	正																																																																																															
<p style="text-align: center;">前頁から移動</p> <p>3-3 敷砂、保護砂（材料費） (1) 条件区分 敷砂、保護砂（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。</p> <p>3-4 配管設置（埋設部） (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 配管設置（埋設部）積算条件区分一覧 <small>（積算単位：配管設置m当り）</small></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>配管材種類</th> <th>設置条数</th> <th>内管条数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">通常管</td> <td style="text-align: center;">2条</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4条</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">多孔管</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2条（多孔管（内管2条）×1本）</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">3条（多孔管（内管3条）×1本）</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">4条（多孔管（内管2条）×2本）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、埋設部における配管設置、配管付属品と配管継手材等の取付け及び、通線確認並びに管内清掃作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。ただし、配管付属品の材料費は含まない。 2. 対象延長（設計数量）は、配管設置箇所の掘削延長（継手含む）とし、配管の条数に関係なく算出する。（参考図1参照） 3. 配管付属品の材料費については、別途必要量を計上する。 4. 配管材の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.01）</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 配管設置（埋設部）代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K 1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td style="text-align: center;">土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z 1</td> <td style="text-align: center;">FEF 80mm 合成樹脂多孔管 80×2孔 通常管の場合 多孔管で、内管条数2条又は4条の場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">6・16・3</p>		配管材種類	設置条数	内管条数	通常管	2条	-	3条	4条	多孔管	-	2条（多孔管（内管2条）×1本）		3条（多孔管（内管3条）×1本）		4条（多孔管（内管2条）×2本）	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	-	K 2	-	K 3	-	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	-	R 4	-	材料	Z 1	FEF 80mm 合成樹脂多孔管 80×2孔 通常管の場合 多孔管で、内管条数2条又は4条の場合	Z 2	-	Z 3	-	Z 4	-	Z 4	-	市場単価	S	-	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 埋戻し締固め 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K 1</td> <td style="text-align: center;">バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排 出ガス対策型（第+3次基準値）] 山積 0.28m³（平積 0.2m³）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td style="text-align: center;">運転手（特殊）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td style="text-align: center;">特殊作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z 1</td> <td style="text-align: center;">軽油 1.2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 敷砂、保護砂（材料費） (1) 条件区分 敷砂、保護砂（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。</p> <p>3-4 埋設表示シート（材料費） (1) 条件区分 埋設表示シート（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 埋設表示シート（材料費）の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.01）</p> <p>3-4.5 配管設置（埋設部） (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 配管設置（埋設部）積算条件区分一覧 <small>（積算単位：配管設置m当り）</small></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>配管材種類</th> <th>設置条数</th> <th>内管条数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">通常管</td> <td style="text-align: center;">2条</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4条</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">多孔管</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2条（多孔管（内管2条）×1本）</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">3条（多孔管（内管3条）×1本）</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">4条（多孔管（内管2条）×2本）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、埋設部における配管設置、配管付属品と配管継手材等の取付け及び、通線確認並びに管内清掃作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。ただし、配管付属品の材料費は含まない。 2. 対象延長（設計数量）は、配管設置箇所の掘削延長（継手含む）とし、配管の条数に関係なく算出する。（参考図1参照）</p> <p style="text-align: center;">次頁に移動</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排 出ガス対策型（第+3次基準値）] 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ）	K 2	-	K 3	-	労務	R 1	運転手（特殊）	R 2	普通作業員	R 3	特殊作業員	R 4	-	材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	Z 2	-	Z 3	-	Z 4	-	市場単価	S	-	配管材種類	設置条数	内管条数	通常管	2条	-	3条	4条	多孔管	-	2条（多孔管（内管2条）×1本）		3条（多孔管（内管3条）×1本）		4条（多孔管（内管2条）×2本）	<p>語句の追加・修正 （歩掛り改定に伴う）</p> <p>記載の追加・修正・ 削除 （歩掛り改定に伴う）</p>
配管材種類	設置条数	内管条数																																																																																																
通常管	2条	-																																																																																																
	3条																																																																																																	
	4条																																																																																																	
多孔管	-	2条（多孔管（内管2条）×1本）																																																																																																
		3条（多孔管（内管3条）×1本）																																																																																																
		4条（多孔管（内管2条）×2本）																																																																																																
項目	代表機材規格	備考																																																																																																
機械	K 1	-																																																																																																
	K 2	-																																																																																																
	K 3	-																																																																																																
労務	R 1	普通作業員																																																																																																
	R 2	土木一般世話役																																																																																																
	R 3	-																																																																																																
	R 4	-																																																																																																
材料	Z 1	FEF 80mm 合成樹脂多孔管 80×2孔 通常管の場合 多孔管で、内管条数2条又は4条の場合																																																																																																
	Z 2	-																																																																																																
	Z 3	-																																																																																																
	Z 4	-																																																																																																
	Z 4	-																																																																																																
市場単価	S	-																																																																																																
項目	代表機材規格	備考																																																																																																
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排 出ガス対策型（第+3次基準値）] 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ）																																																																																																
	K 2	-																																																																																																
	K 3	-																																																																																																
労務	R 1	運転手（特殊）																																																																																																
	R 2	普通作業員																																																																																																
	R 3	特殊作業員																																																																																																
	R 4	-																																																																																																
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																
	Z 2	-																																																																																																
	Z 3	-																																																																																																
	Z 4	-																																																																																																
市場単価	S	-																																																																																																
配管材種類	設置条数	内管条数																																																																																																
通常管	2条	-																																																																																																
	3条																																																																																																	
	4条																																																																																																	
多孔管	-	2条（多孔管（内管2条）×1本）																																																																																																
		3条（多孔管（内管3条）×1本）																																																																																																
		4条（多孔管（内管2条）×2本）																																																																																																
積算上の注意事項			（控え頁） 3/8																																																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																	
	現 行	改 正																																		
	<p>前頁から移動</p>	<p>3. 配管付属品の材料費については、別途必要量を計上する。 4. 配管材の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.01)</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 配管設置(埋設部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>FEP 80mm</td> <td>標準品の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1</td> <td>合成樹脂多孔管 80×2孔 各孔管径・内径各数値を2倍又は4倍の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>合成樹脂多孔管 80×2孔 各孔管径・内径各数値3倍の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	—	R 4	—	材料	FEP 80mm	標準品の場合	Z 1	合成樹脂多孔管 80×2孔 各孔管径・内径各数値を2倍又は4倍の場合	Z 2	合成樹脂多孔管 80×2孔 各孔管径・内径各数値3倍の場合	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																		
機械	K 1	—																																		
	K 2	—																																		
	K 3	—																																		
労務	R 1	普通作業員																																		
	R 2	土木一般世話役																																		
	R 3	—																																		
	R 4	—																																		
材料	FEP 80mm	標準品の場合																																		
	Z 1	合成樹脂多孔管 80×2孔 各孔管径・内径各数値を2倍又は4倍の場合																																		
	Z 2	合成樹脂多孔管 80×2孔 各孔管径・内径各数値3倍の場合																																		
	Z 3	—																																		
	Z 4	—																																		
市場単価	S	—																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 4/8																																	

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																					
	現 行	改 正	備 考																					
	<p>3-5 配管設置（露出部）</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 配管設置（露出部）積算条件区分一覧 (積算単位：配管設置m当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>配管材設計数量/対象延長</th> <th>設置条数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">1.00</td><td>2条</td></tr> <tr><td>3条</td></tr> <tr><td>4条</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.95以上1.00未満</td><td>2条</td></tr> <tr><td>3条</td></tr> <tr><td rowspan="3">0.90以上0.95未満</td><td>2条</td></tr> <tr><td>3条</td></tr> <tr><td>4条</td></tr> <tr><td rowspan="3">0.85以上0.90未満</td><td>2条</td></tr> <tr><td>3条</td></tr> <tr><td>4条</td></tr> <tr><td rowspan="3">0.80以上0.85未満</td><td>2条</td></tr> <tr><td>3条</td></tr> <tr><td>4条</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、露出部における配管設置、配管付属品、支持金具と配管付属品の取付け及び通線確認並びに管内清掃等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし、配管付属品及び支持金具の材料費は含まない。 2. 対象延長(設計数量)は配管継手材及び配管付属品類を含んだ区間延長とし、配管の条数に関係なく算出する。(参考図2参照) 3. 配管付属品及び支持金具の材料費については、別途必要量を計上する。 4. 高所作業車及び足場が必要な場合については現場条件に適合する足場費用を計上する。 5. 配管材設計数量/対象延長の条件区分は、参考図2における a/(a+b) の比率による。 6. 配管材の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.01)</p>	配管材設計数量/対象延長	設置条数	1.00	2条	3条	4条	0.95以上1.00未満	2条	3条	0.90以上0.95未満	2条	3条	4条	0.85以上0.90未満	2条	3条	4条	0.80以上0.85未満	2条	3条	4条	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">削除</div>	<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
配管材設計数量/対象延長	設置条数																							
1.00	2条																							
	3条																							
	4条																							
0.95以上1.00未満	2条																							
	3条																							
0.90以上0.95未満	2条																							
	3条																							
	4条																							
0.85以上0.90未満	2条																							
	3条																							
	4条																							
0.80以上0.85未満	2条																							
	3条																							
	4条																							
積算上の注意事項			(控え頁) 5/8																					

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																															
	現 行	改 正	備 考																															
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 配管設置(露出部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R2</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R3</td><td>—</td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>厚鋼電線管 G54</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>3-6 配管支持金具 (材料費) (1) 条件区分 配管支持金具 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p>3-7 フルボックス (材料費) (1) 条件区分 フルボックス (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p>3-8 可とう電線管 (材料費) (1) 条件区分 可とう電線管 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p> <p>3-9 伸縮継手 (材料費) (1) 条件区分 伸縮継手 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p>3-10 ノーマルバンド (材料費) (1) 条件区分 ノーマルバンド (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p style="text-align: center;">6・⑩・5</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	土木一般世話役	R3	—	R4	—	材料	Z1	厚鋼電線管 G54	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">削除</div>	<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K1	—																																
	K2	—																																
	K3	—																																
労務	R1	普通作業員																																
	R2	土木一般世話役																																
	R3	—																																
	R4	—																																
材料	Z1	厚鋼電線管 G54																																
	Z2	—																																
	Z3	—																																
	Z4	—																																
市場単価	S	—																																
積算上の注意事項			(控え頁) 6/8																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																								
	現 行	改 正																																																																																									
	<p>3-11 ハンドホール (1) 条件区分 ハンドホールの積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。 (注) ハンドホールの設置、ベルマウス等の取付け(材料費を含む)、蓋の設置等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 ハンドホール 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ペーストトラック 4t 級・吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>ハンドホール 600×600×600mm R2K-60 蓋付</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	トラック [クレーン装置付] ペーストトラック 4t 級・吊能力 2.9t		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	特殊作業員		R4	土木一般世話役		材料	Z1	ハンドホール 600×600×600mm R2K-60 蓋付		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>3-446 ハンドホール</p> <p style="font-size: 2em;">}</p> <p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.446 ハンドホール 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ペーストトラック 4t 級・吊能力 2.9t [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)]山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>ハンドホール 600×600×600mm R2K-60 蓋付</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	トラック [クレーン装置付] ペーストトラック 4t 級・吊能力 2.9t [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)]山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	特殊作業員		R4	土木一般世話役		材料	Z1	ハンドホール 600×600×600mm R2K-60 蓋付		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>代表機械の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K1	トラック [クレーン装置付] ペーストトラック 4t 級・吊能力 2.9t																																																																																									
	K2	—																																																																																									
	K3	—																																																																																									
労務	R1	普通作業員																																																																																									
	R2	運転手(特殊)																																																																																									
	R3	特殊作業員																																																																																									
	R4	土木一般世話役																																																																																									
材料	Z1	ハンドホール 600×600×600mm R2K-60 蓋付																																																																																									
	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
	Z3	—																																																																																									
	Z4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K1	トラック [クレーン装置付] ペーストトラック 4t 級・吊能力 2.9t [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)]山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t																																																																																									
	K2	—																																																																																									
	K3	—																																																																																									
労務	R1	普通作業員																																																																																									
	R2	運転手(特殊)																																																																																									
	R3	特殊作業員																																																																																									
	R4	土木一般世話役																																																																																									
材料	Z1	ハンドホール 600×600×600mm R2K-60 蓋付																																																																																									
	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
	Z3	—																																																																																									
	Z4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 7/8																																																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	現 行	改 正	備 考
	<p>[参考図2] 露出部配管数量算出について</p> <p>(例)4条設置の場合</p> <p>側面図 平面図</p> <p>a:厚鋼電線管類区間延長 b:配管付属品区間延長 a:厚鋼電線管類区間延長</p> <p>対象延長=※a+b ※a:厚鋼電線管類区間延長とは 配管類の設置延長であり、継手材の材料延長は含まれている。 b:配管付属品区間延長とは 配管及び配管継手以外の配管部品の設置延長である。 (例) プルボックス、可とう電線管、伸縮継手、ノーマルベント、その他必要な部品</p> <p>配管材料用量 設計数量×条数 ※設計数量=a:厚鋼電線管類区間延長 諸補費には、配管継手材の材料費等を含む。 支持金具及び配管付属品類は、別途必要量を計上する。</p> <p style="text-align: center;">6・⑩・8</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">削除</div>	<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 8/8

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	現 行	改 正	備 考
	7章. 砂 防		
	<p>① 土工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、砂防工（本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合）の施工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 掘削（砂防）</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 土砂、岩塊・玉石の掘削・積込、軟岩、硬岩、転石の掘削</p> <p>(3) 作業土工における床掘りの場合</p> <p>1-1-2 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 運搬距離が片道7km以下の場合</p> <p>(3) 運搬路が砂利道、河床路等その他これに準ずる搬路が主で、舗装道路を含む場合は、舗装道路の走行距離が全体走行距離の半分に満たない場合</p> <p>1-1-3 積込（ルーズ）（砂防）</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の積込みの場合</p> <p>(3) 作業土工で生じ、仮置きされた土砂等の積込みの場合</p> <p>(4) 掘削工、作業土工で生じた残土の仮置場での積込みの場合</p> <p>(5) 掘削工、作業土工において地山掘削後、一度ルーズな状態とした土砂等の積込みの場合</p> <p>(6) 転圧、締固めを伴わない埋戻作業の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲（土木工事標準積算基準書等により別途計上するもの）</p> <p>1-2-1 掘削（砂防）</p> <p>(1) 軟岩、硬岩、転石において集積・積込又は集積・押土を含む場合</p> <p>(2) 硬岩Ⅱの掘削の場合</p> <p>(3) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p> <p>(4) 小規模で土砂以外の場合</p> <p>(5) 3D-MG又はMCバックホウによる土砂の掘削積込</p> <p>1-2-2 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(1) 小規模で土砂以外の場合</p> <p>1-2-3 積込（ルーズ）（砂防）</p> <p>(1) 地山掘削した土砂等を、直接運搬車両等に投入する場合</p> <p>(2) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p> <p>(3) 小規模で土砂以外の場合</p> <p>1-3 適用出来ない範囲（別途考慮するもの）</p> <p>1-3-1 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(1) 自動車専用道路を利用する場合</p> <p>1-3-2 押土（ルーズ）（砂防）</p> <p style="text-align: right;">7・①・1</p>	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	現 行	改 正	備 考
	<p>2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> * 掘削(砂防)等施工パッケージ名称を斜体で示した。(●→) * 掘削(砂防)、積込(ルース)(砂防)、土砂等運搬(砂防)等を実線で示した。(●→) * 掘削、積込(ルース)、土砂等運搬等を一点鎖線で示した。(●- - -●) * 掘削(土)は通常現場準備であり、運搬は土材料に含まれるため破線で示した。(図中⑥)(●- - -●) ただし、土材料(購入土)を土場渡し準備で積算する場合は土砂等運搬(砂防)又は土砂等運搬を計上する。 * 作業土工(床掘り・埋戻し・工区内運搬)における土の流れを長二点鎖線で示した。(●- - - -●) <p>(注) 1. 掘削(砂防)等の砂防堰堤独自施工パッケージと掘削等の河川修繕等に適用される施工パッケージの相違については、各施工パッケージの条件区分における注釈の記述を参照。 2. 掘削に含まれる自工区内の運搬について(図中①、②)※掘削(砂防)は、工区内運搬を含まない。 (1)土質が土砂の場合 掘削において、押土「有り」を選択した場合、60m以内の工区内運搬を含む。 (2)土質が軟岩又は硬岩の場合 掘削において、以下の条件を選択した場合、30m以内の工区内運搬を含む。 「軟岩」で施工数量「5,000m3以上」又は集積押土「有り」を選択した場合 「硬岩」で火薬使用「可」又は集積押土「有り」を選択した場合 3. 土砂等運搬、残土運搬時の積込作業について(図中①～③) 掘削(砂防)において、条件区分により積込作業を含まない場合がある。 積込(ルース)を別途計上する必要がある条件区分は、「第1章土工②土工(参考)ダンプトラックによる土砂等運搬時に積込(ルース)の計上が必要な掘削の積算条件」を参照のこと。 積込(ルース)(砂防)を別途計上する必要がある条件区分は、「(参考)積込(ルース)(砂防)の計上が必要な掘削(砂防)の積算条件」を参照のこと。 4. 現場内集積場又は土取場等からの土砂等運搬作業等について(図中④、⑤) 土砂等運搬(砂防)を行う場合、別途積込(ルース)(砂防)、積込(ルース)を計上する。 押土(ルース)には、60m以内の運搬を含む。 5. 土取場において、地山を掘削する場合は、掘削(砂防)、掘削を使用する。(図中④)</p>	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
積算上の注意事項	7・①・3		(控え頁) 2/3

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																																																				
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 掘削(砂防) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削(砂防) 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> <th>掘削範囲</th> <th>火薬使用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土砂</td> <td rowspan="2">3,000m3未満</td> <td>無し</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3,000m3以上</td> <td>無し</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小規模</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">岩塊・玉石</td> <td rowspan="2">3,000m3未満</td> <td>無し</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3,000m3以上</td> <td>無し</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">軟岩</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m超</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">硬岩</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m超</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">転石</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m超</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、砂防工事における土砂及び岩塊・玉石の掘削・積込、軟岩、硬岩及び転石の掘削等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 土量は、地山土量とする。 3. 施工数量は「小規模」を除き、1工事当りの数量とする。 4. 「小規模」は1箇所当りの施工数量が100m3未満または平均施工幅2m未満とする。なお、1箇所当りとは目的物(構造物・掘削等)1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。 5. 障害の有無 ①無し: 作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。なお標準内とは、作業範囲が機械走行面より上下に5m以内とする。 ②有り: 作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合 6. 掘削範囲 ①機械走行面より5m以内: 作業範囲が機械走行面より上下に5m以内の場合は、機械による岩石掘削。 ②機械走行面より5m超: 作業範囲が機械走行面より上下に5mを超える場合は、火薬又は人力による岩石掘削。 7. 火薬使用は作業範囲が機械走行面より上下に5mを超える場合で、火薬が使用可能か否かにより区分する。</p> <p style="text-align: center;">7・①・5</p>	土質	施工数量	障害の有無	掘削範囲	火薬使用	土砂	3,000m3未満	無し	—	—	有り	—	—	3,000m3以上	無し	—	—	有り	—	—	小規模	—	—	—	岩塊・玉石	3,000m3未満	無し	—	—	有り	—	—	3,000m3以上	無し	—	—	有り	—	—	—	—	機械走行面より5m以内	—	軟岩	—	—	機械走行面より5m超	可	—	—	—	不可	—	—	—	—	硬岩	—	—	機械走行面より5m以内	—	—	—	機械走行面より5m超	可	—	—	—	不可	転石	—	—	機械走行面より5m以内	—	—	—	機械走行面より5m超	可	—	—	—	不可	<p style="font-size: 2em;">}</p> <p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削(砂防) 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> <th>掘削範囲</th> <th>火薬使用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土砂</td> <td rowspan="2">3,000m3未満</td> <td>無し</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3,000m3以上</td> <td>無し</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>小規模</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">岩塊・玉石</td> <td rowspan="2">3,000m3未満</td> <td>無し</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3,000m3以上</td> <td>無し</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">軟岩</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m超</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">硬岩</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m超</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">転石</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>機械走行面より5m超</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">}</p> <p>現行どおり</p>	土質	施工数量	障害の有無	掘削範囲	火薬使用	土砂	3,000m3未満	無し	—	—	有り	-	-	3,000m3以上	無し	—	—	有り	-	-	小規模	—	—	—	岩塊・玉石	3,000m3未満	無し	—	—	有り	-	-	3,000m3以上	無し	—	—	有り	-	-	—	—	機械走行面より5m以内	—	軟岩	—	—	機械走行面より5m超	可	—	—	—	不可	—	—	—	—	硬岩	—	—	機械走行面より5m以内	—	—	—	機械走行面より5m超	可	—	—	—	不可	転石	—	—	機械走行面より5m以内	—	—	—	機械走行面より5m超	可	—	—	—	不可	<p>語句の修正</p>
土質	施工数量	障害の有無	掘削範囲	火薬使用																																																																																																																																																																			
土砂	3,000m3未満	無し	—	—																																																																																																																																																																			
		有り	—	—																																																																																																																																																																			
	3,000m3以上	無し	—	—																																																																																																																																																																			
		有り	—	—																																																																																																																																																																			
小規模	—	—	—																																																																																																																																																																				
岩塊・玉石	3,000m3未満	無し	—	—																																																																																																																																																																			
		有り	—	—																																																																																																																																																																			
	3,000m3以上	無し	—	—																																																																																																																																																																			
		有り	—	—																																																																																																																																																																			
—	—	機械走行面より5m以内	—																																																																																																																																																																				
軟岩	—	—	機械走行面より5m超	可																																																																																																																																																																			
	—	—	—	不可																																																																																																																																																																			
	—	—	—	—																																																																																																																																																																			
硬岩	—	—	機械走行面より5m以内	—																																																																																																																																																																			
	—	—	機械走行面より5m超	可																																																																																																																																																																			
	—	—	—	不可																																																																																																																																																																			
転石	—	—	機械走行面より5m以内	—																																																																																																																																																																			
	—	—	機械走行面より5m超	可																																																																																																																																																																			
	—	—	—	不可																																																																																																																																																																			
土質	施工数量	障害の有無	掘削範囲	火薬使用																																																																																																																																																																			
土砂	3,000m3未満	無し	—	—																																																																																																																																																																			
		有り	-	-																																																																																																																																																																			
	3,000m3以上	無し	—	—																																																																																																																																																																			
		有り	-	-																																																																																																																																																																			
小規模	—	—	—																																																																																																																																																																				
岩塊・玉石	3,000m3未満	無し	—	—																																																																																																																																																																			
		有り	-	-																																																																																																																																																																			
	3,000m3以上	無し	—	—																																																																																																																																																																			
		有り	-	-																																																																																																																																																																			
—	—	機械走行面より5m以内	—																																																																																																																																																																				
軟岩	—	—	機械走行面より5m超	可																																																																																																																																																																			
	—	—	—	不可																																																																																																																																																																			
	—	—	—	—																																																																																																																																																																			
硬岩	—	—	機械走行面より5m以内	—																																																																																																																																																																			
	—	—	機械走行面より5m超	可																																																																																																																																																																			
	—	—	—	不可																																																																																																																																																																			
転石	—	—	機械走行面より5m以内	—																																																																																																																																																																			
	—	—	機械走行面より5m超	可																																																																																																																																																																			
	—	—	—	不可																																																																																																																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 3/3																																																																																																																																																																				

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																	
現	行	改	正																	
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 掘削(砂防) (ICT) ※ [ICT建機使用割合 100%]</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 掘削(砂防) (ICT) ※ [ICT建機使用割合 100%] 積算条件区分一覧 (積算単位: m³)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土砂</td> <td rowspan="2">3,000m³未満</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3,000m³以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">岩塊・玉石</td> <td rowspan="2">3,000m³未満</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3,000m³以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、砂防工事における土砂及び岩塊・玉石の掘削・積込等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 上表は、同一の施工箇所において、3D-MG又はMCバックホウ(以下「ICT建機」という。)のみで施工する(ICT建機使用割合100%)場合である。</p> <p>なお、施工数量は、1工事当りの全体掘削土量により判定する。また、該当する施工箇所におけるICT建機による施工分と通常建機による施工分を合計した掘削土量をその箇所の掘削土量とし、これを合計したものを全体掘削土量とする。</p> <p>3. 同一の施工箇所においてICT建機と通常建機(ICT建機を使用しない通常機種のバックホウ)を組合せて施工する(ICT建機使用割合100%以外)場合は、該当する箇所における掘削土量をICT建機使用割合に応じてICT建機による施工分と通常建機による施工分に分割し、ICT建機による施工分に上表を適用する。また、通常建機による施工分は、「第三編第3章砂防工④土工①-1 土工 3-1 掘削(砂防)」により別途計上する。</p> <p>4. 土量は、地山土量とする。</p> <p>5. 障害の有無</p> <p>①無し: 作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。なお標準内とは、作業範囲が機械走行面より上下に5m以内とする。</p> <p>②有り: 作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合</p> <p>6. ICT建機使用割合は、上記(注)2. 又は3. の1工事当りの全体掘削土量に対する1工事当りのICT建機による掘削土量の割合である。</p>		土質	施工数量	障害の有無	土砂	3,000m ³ 未満	無し	有り	3,000m ³ 以上	無し	有り	岩塊・玉石	3,000m ³ 未満	無し	有り	3,000m ³ 以上	無し	有り	<p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p>
土質	施工数量	障害の有無																		
土砂	3,000m ³ 未満	無し																		
		有り																		
	3,000m ³ 以上	無し																		
		有り																		
岩塊・玉石	3,000m ³ 未満	無し																		
		有り																		
	3,000m ³ 以上	無し																		
		有り																		
積算上の注意事項	7・②・2		(控え頁) 1/1																	

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																																																																																																																					
	現 行	改 正	備 考																																																																																																																																																																																					
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.15 上層路盤(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">瀝青安定処理材</td> <td rowspan="8">1.4m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="16">1.4m以上 3.0m以下</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 舗装幅1.4~3.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="16">3.0m超</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(2011年規制)] 舗装幅2.3~6.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量10t 締固め幅2.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型(2011年規制)] 運転質量13t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材料	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	瀝青安定処理材	1.4m未満	機械	K1 振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t		K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg		K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		材料	Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z4 ガソリン レギュラー スタンド		市場単価	S	-		1.4m以上 3.0m以下	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 舗装幅1.4~3.0m	賃料	K2 振動ローラ [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量3~4t	賃料	K3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量3~4t	賃料	労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手(特殊)		材料	Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z4 軽油1.2号 バトルール給油		市場単価	S	-		3.0m超	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(2011年規制)] 舗装幅2.3~6.0m	賃料	K2 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量10t 締固め幅2.1m	賃料	K3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型(2011年規制)] 運転質量13t	賃料	労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手(特殊)		材料	Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z4 軽油1.2号 バトルール給油		市場単価	S	-		→	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.15 上層路盤(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">瀝青安定処理材</td> <td rowspan="8">1.4m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="16">1.4m以上 3.0m以下</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(第3次基準値)2014年規制] 舗装幅1.4~3.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ [搭乗・コンバインド式、排出ガス対策型(第3次基準値)超低騒音型] 運転質量3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 タイヤローラ [普通型、排出ガス対策型(第3次基準値)超低騒音型] 運転質量3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="16">3.0m超</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(2011年規制)2014年規制] 舗装幅2.3~6.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 ロードローラ [マカダム、排出ガス対策型(第2次基準値)超低騒音型] 運転質量10t 締固め幅2.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 タイヤローラ [普通型、排出ガス対策型(2011年規制)超低騒音型] 運転質量13t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材料	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	瀝青安定処理材	1.4m未満	機械	K1 振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t		K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg		K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		材料	Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z4 ガソリン レギュラー スタンド		市場単価	S	-		1.4m以上 3.0m以下	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 2014年規制] 舗装幅1.4~3.0m	賃料	K2 振動ローラ [搭乗・コンバインド式、 排出ガス対策型(第3次基準値) 超低騒音型] 運転質量3~4t	賃料	K3 タイヤローラ [普通型、 排出ガス対策型(第3次基準値) 超低騒音型] 運転質量3~4t	賃料	労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手(特殊)		材料	Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z4 軽油1.2号 バトルール給油		市場単価	S	-		3.0m超	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 2014年規制] 舗装幅2.3~6.0m	賃料	K2 ロードローラ [マカダム、 排出ガス対策型(第2次基準値) 超低騒音型] 運転質量10t 締固め幅2.1m	賃料	K3 タイヤローラ [普通型、 排出ガス対策型(2011年規制) 超低騒音型] 運転質量13t	賃料	労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手(特殊)		材料	Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z4 軽油1.2号 バトルール給油		市場単価	S	-		<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
材料	平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																				
瀝青安定処理材	1.4m未満	機械	K1 振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t																																																																																																																																																																																					
			K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg																																																																																																																																																																																					
			K3 -																																																																																																																																																																																					
		労務	R1 特殊作業員																																																																																																																																																																																					
			R2 普通作業員																																																																																																																																																																																					
			R3 土木一般世話役																																																																																																																																																																																					
		材料	Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)																																																																																																																																																																																					
			Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																																				
	Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		タックコートの場合																																																																																																																																																																																					
	Z4 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																																							
	市場単価	S	-																																																																																																																																																																																					
	1.4m以上 3.0m以下	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 舗装幅1.4~3.0m	賃料																																																																																																																																																																																				
			K2 振動ローラ [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量3~4t	賃料																																																																																																																																																																																				
			K3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量3~4t	賃料																																																																																																																																																																																				
		労務	R1 普通作業員																																																																																																																																																																																					
			R2 特殊作業員																																																																																																																																																																																					
R3 運転手(特殊)																																																																																																																																																																																								
材料		Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)																																																																																																																																																																																						
		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																																					
		Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																																					
		Z4 軽油1.2号 バトルール給油																																																																																																																																																																																						
市場単価		S	-																																																																																																																																																																																					
3.0m超		機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型(2011年規制)] 舗装幅2.3~6.0m	賃料																																																																																																																																																																																				
			K2 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量10t 締固め幅2.1m	賃料																																																																																																																																																																																				
			K3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型(2011年規制)] 運転質量13t	賃料																																																																																																																																																																																				
		労務	R1 普通作業員																																																																																																																																																																																					
			R2 特殊作業員																																																																																																																																																																																					
	R3 運転手(特殊)																																																																																																																																																																																							
	材料	Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)																																																																																																																																																																																						
		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																																					
		Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																																					
		Z4 軽油1.2号 バトルール給油																																																																																																																																																																																						
	市場単価	S	-																																																																																																																																																																																					
	材料	平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																			
	瀝青安定処理材	1.4m未満	機械	K1 振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t																																																																																																																																																																																				
				K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg																																																																																																																																																																																				
				K3 -																																																																																																																																																																																				
			労務	R1 特殊作業員																																																																																																																																																																																				
R2 普通作業員																																																																																																																																																																																								
R3 土木一般世話役																																																																																																																																																																																								
材料			Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)																																																																																																																																																																																					
			Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																																				
		Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																																					
		Z4 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																																						
市場単価		S	-																																																																																																																																																																																					
1.4m以上 3.0m以下		機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 2014年規制] 舗装幅1.4~3.0m	賃料																																																																																																																																																																																				
			K2 振動ローラ [搭乗・コンバインド式、 排出ガス対策型(第3次基準値) 超低騒音型] 運転質量3~4t	賃料																																																																																																																																																																																				
			K3 タイヤローラ [普通型、 排出ガス対策型(第3次基準値) 超低騒音型] 運転質量3~4t	賃料																																																																																																																																																																																				
		労務	R1 普通作業員																																																																																																																																																																																					
			R2 特殊作業員																																																																																																																																																																																					
	R3 運転手(特殊)																																																																																																																																																																																							
	材料	Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)																																																																																																																																																																																						
		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																																					
		Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																																					
		Z4 軽油1.2号 バトルール給油																																																																																																																																																																																						
	市場単価	S	-																																																																																																																																																																																					
	3.0m超	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 2014年規制] 舗装幅2.3~6.0m	賃料																																																																																																																																																																																				
			K2 ロードローラ [マカダム、 排出ガス対策型(第2次基準値) 超低騒音型] 運転質量10t 締固め幅2.1m	賃料																																																																																																																																																																																				
			K3 タイヤローラ [普通型、 排出ガス対策型(2011年規制) 超低騒音型] 運転質量13t	賃料																																																																																																																																																																																				
		労務	R1 普通作業員																																																																																																																																																																																					
			R2 特殊作業員																																																																																																																																																																																					
R3 運転手(特殊)																																																																																																																																																																																								
材料		Z1 アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)																																																																																																																																																																																						
		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																																					
		Z3 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																																					
		Z4 軽油1.2号 バトルール給油																																																																																																																																																																																						
市場単価		S	-																																																																																																																																																																																					
積算上の注意事項				(控え頁) 1/1																																																																																																																																																																																				

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																						
現	行	改	正																																																																																						
1.4m 未満	<p>2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 基層(車道・路肩部)・中間層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td>Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締め後密度 2.35t/m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締め後密度 2.30t/m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締め後密度 1.94t/m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m³ 未満)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>プライムコートの場合 タックコートの場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価 S</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t		K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60 k g		K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締め後密度 2.35t/m ³		アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締め後密度 2.30t/m ³		アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)	標準締め後密度 1.94t/m ³		再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m ³ 未満)		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合		Z3 ガソリン レギュラー スタンド			Z4 軽油 1.2号 バトロール給油			市場単価 S			→	1.4m 以上 3.0m 以下	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 基層(車道・路肩部)・中間層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">1.4m 以上 3.0m 以下</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td>Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20) アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13) アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13) 再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締め後密度 2.35t/m³ 標準締め後密度 2.30t/m³ 標準締め後密度 1.94t/m³ 標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m³ 未満)</td> <td>標準締め後密度 2.35t/m³ 標準締め後密度 2.30t/m³ 標準締め後密度 1.94t/m³ 標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m³ 未満)</td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>プライムコートの場合 タックコートの場合</td> <td>プライムコートの場合 タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価 S</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 以上 3.0m 以下	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t		K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60 k g		K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20) アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13) アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13) 再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締め後密度 2.35t/m ³ 標準締め後密度 2.30t/m ³ 標準締め後密度 1.94t/m ³ 標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m ³ 未満)	標準締め後密度 2.35t/m ³ 標準締め後密度 2.30t/m ³ 標準締め後密度 1.94t/m ³ 標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m ³ 未満)	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合	プライムコートの場合 タックコートの場合	Z3 ガソリン レギュラー スタンド			Z4 軽油 1.2号 バトロール給油			市場単価 S			(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。	代表機材の修正・追加・削除 (歩掛り改定に伴う)
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																						
1.4m 未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t																																																																																							
		K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60 k g																																																																																							
		K3 -																																																																																							
	労務	R1 特殊作業員																																																																																							
		R2 普通作業員																																																																																							
		R3 土木一般世話役																																																																																							
		R4 -																																																																																							
	材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締め後密度 2.35t/m ³																																																																																						
		アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締め後密度 2.30t/m ³																																																																																						
		アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)	標準締め後密度 1.94t/m ³																																																																																						
		再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m ³ 未満)																																																																																						
		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合																																																																																						
Z3 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																									
Z4 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
市場単価 S																																																																																									
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																						
1.4m 以上 3.0m 以下	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t																																																																																							
		K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60 k g																																																																																							
		K3 -																																																																																							
	労務	R1 特殊作業員																																																																																							
		R2 普通作業員																																																																																							
		R3 土木一般世話役																																																																																							
		R4 -																																																																																							
	材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20) アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13) アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13) 再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締め後密度 2.35t/m ³ 標準締め後密度 2.30t/m ³ 標準締め後密度 1.94t/m ³ 標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m ³ 未満)	標準締め後密度 2.35t/m ³ 標準締め後密度 2.30t/m ³ 標準締め後密度 1.94t/m ³ 標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m ³ 未満)																																																																																					
		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合	プライムコートの場合 タックコートの場合																																																																																					
		Z3 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																							
		Z4 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																							
		市場単価 S																																																																																							
積算上の注意事項				(控え頁) 1/7																																																																																					

工 種	アスファルト舗装工
-----	-----------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																		
	現 行	改 正																																																																																																			
	→																																																																																																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">3.0m 超</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世帯役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td rowspan="2">Z 1</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.35t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13) アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.30t/m³ 標準締固め後密度 1.94t/m³</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Z 2</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m³ 未満)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>プライムコートの場合 タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	3.0m 超	機械	K 1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料	K 2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料	K 3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料	労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	運転手 (特殊)		R 4	土木一般世帯役		材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13) アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³ 標準締固め後密度 1.94t/m ³	Z 2	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m ³ 未満)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	—		市場単価	S	—		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">3.0m 超</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (20112014年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>ロードローラ [マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>タイヤローラ [普通型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世帯役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td rowspan="2">Z 1</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 アスコン (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.35t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 アスコン (13) アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 アスコン (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.30t/m³ 標準締固め後密度 1.94t/m³</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Z 2</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 アスコン (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m³ 未満)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>プライムコートの場合 タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	3.0m 超	機械	K 1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型 (2011 2014年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料	K 2	ロードローラ [マカダム・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料	K 3	タイヤローラ [普通型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料	労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	運転手 (特殊)		R 4	土木一般世帯役		材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 アスコン (13) アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³ 標準締固め後密度 1.94t/m ³	Z 2	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m ³ 未満)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>代表機材の修正・追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																		
3.0m 超	機械	K 1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料																																																																																																	
		K 2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料																																																																																																	
		K 3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料																																																																																																	
	労務	R 1	普通作業員																																																																																																		
		R 2	特殊作業員																																																																																																		
		R 3	運転手 (特殊)																																																																																																		
		R 4	土木一般世帯役																																																																																																		
	材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³																																																																																																	
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13) アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³ 標準締固め後密度 1.94t/m ³																																																																																																	
		Z 2	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m ³ 未満)																																																																																																	
			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合																																																																																																	
		Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																		
		Z 4	—																																																																																																		
市場単価		S	—																																																																																																		
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																		
3.0m 超	機械	K 1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型 (2011 2014年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料																																																																																																	
		K 2	ロードローラ [マカダム・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料																																																																																																	
		K 3	タイヤローラ [普通型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料																																																																																																	
	労務	R 1	普通作業員																																																																																																		
		R 2	特殊作業員																																																																																																		
		R 3	運転手 (特殊)																																																																																																		
		R 4	土木一般世帯役																																																																																																		
	材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³																																																																																																	
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 アスコン (13) アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³ 標準締固め後密度 1.94t/m ³																																																																																																	
		Z 2	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m ³ 未満)																																																																																																	
			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合																																																																																																	
		Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																		
		Z 4	—																																																																																																		
市場単価		S	—																																																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 2/7																																																																																																		

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																																																																																																									
現	行	改 正	考																																																																																																																																																																									
<p>表3.5 表層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="4">Z 1</td> <td>アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.35t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.30t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 1.94t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>プライムコートの場合 タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="16">1.4m 以上 3.0m 以下</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 1.4~3.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="4">Z 1</td> <td>アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.35t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.30t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 1.94t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>プライムコートの場合 タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K 1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t		K 2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60kg		K 3 -		労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 -		材料	Z 1	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m ³ 未満)	Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合	Z 3	ガソリン レギュラー スタンド		Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	-		1.4m 以上 3.0m 以下	機械	K 1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 1.4~3.0m	賃料	K 2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料	K 3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料	労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 運転手 (特殊)		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m ³ 未満)	Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	-		市場単価	S	-		<p>表3.5 表層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="4">Z 1</td> <td>アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.35t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS混合物 アスコン (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.30t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS混合物 アスコン (13)</td> <td>標準締固め後密度 1.94t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>プライムコートの場合 タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="16">1.4m 以上 3.0m 以下</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値 2014年規制)] 舗装幅 1.4~3.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 タイヤローラ [普通型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="4">Z 1</td> <td>アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.35t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS混合物 アスコン (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.30t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS混合物 アスコン (13)</td> <td>標準締固め後密度 1.94t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>プライムコートの場合 タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K 1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t		K 2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60kg		K 3 -		労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 -		材料	Z 1	アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³	アスファルト混合物 開粒度 AS混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³	アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m ³ 未満)	Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合	Z 3	ガソリン レギュラー スタンド		Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	-		1.4m 以上 3.0m 以下	機械	K 1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型 (第3次基準値 2014年規制)] 舗装幅 1.4~3.0m	賃料	K 2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料	K 3 タイヤローラ [普通型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料	労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 運転手 (特殊)		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1	アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³	アスファルト混合物 開粒度 AS混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³	アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m ³ 未満)	Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	-		市場単価	S	-		<p>代表機材の修正・追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																									
1.4m 未満	機械	K 1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t																																																																																																																																																																										
		K 2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60kg																																																																																																																																																																										
		K 3 -																																																																																																																																																																										
	労務	R 1 特殊作業員																																																																																																																																																																										
		R 2 普通作業員																																																																																																																																																																										
		R 3 土木一般世話役																																																																																																																																																																										
		R 4 -																																																																																																																																																																										
	材料	Z 1	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³																																																																																																																																																																								
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³																																																																																																																																																																								
			アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³																																																																																																																																																																								
			アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m ³ 未満)																																																																																																																																																																								
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合																																																																																																																																																																								
		Z 3	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																									
		Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																									
		市場単価	S	-																																																																																																																																																																								
	1.4m 以上 3.0m 以下	機械	K 1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 1.4~3.0m	賃料																																																																																																																																																																								
K 2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t			賃料																																																																																																																																																																									
K 3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t			賃料																																																																																																																																																																									
労務		R 1 普通作業員																																																																																																																																																																										
		R 2 特殊作業員																																																																																																																																																																										
		R 3 運転手 (特殊)																																																																																																																																																																										
		R 4 土木一般世話役																																																																																																																																																																										
材料		Z 1	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³																																																																																																																																																																								
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³																																																																																																																																																																								
			アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³																																																																																																																																																																								
			アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m ³ 未満)																																																																																																																																																																								
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合																																																																																																																																																																								
		Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																									
		Z 4	-																																																																																																																																																																									
		市場単価	S	-																																																																																																																																																																								
平均幅員		項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																								
1.4m 未満	機械	K 1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t																																																																																																																																																																										
		K 2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60kg																																																																																																																																																																										
		K 3 -																																																																																																																																																																										
	労務	R 1 特殊作業員																																																																																																																																																																										
		R 2 普通作業員																																																																																																																																																																										
		R 3 土木一般世話役																																																																																																																																																																										
		R 4 -																																																																																																																																																																										
	材料	Z 1	アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³																																																																																																																																																																								
			アスファルト混合物 細粒度 AS混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³																																																																																																																																																																								
			アスファルト混合物 開粒度 AS混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³																																																																																																																																																																								
			アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m ³ 未満)																																																																																																																																																																								
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合																																																																																																																																																																								
		Z 3	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																									
		Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																									
		市場単価	S	-																																																																																																																																																																								
	1.4m 以上 3.0m 以下	機械	K 1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型 (第3次基準値 2014年規制)] 舗装幅 1.4~3.0m	賃料																																																																																																																																																																								
K 2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t			賃料																																																																																																																																																																									
K 3 タイヤローラ [普通型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t			賃料																																																																																																																																																																									
労務		R 1 普通作業員																																																																																																																																																																										
		R 2 特殊作業員																																																																																																																																																																										
		R 3 運転手 (特殊)																																																																																																																																																																										
		R 4 土木一般世話役																																																																																																																																																																										
材料		Z 1	アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³																																																																																																																																																																								
			アスファルト混合物 細粒度 AS混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³																																																																																																																																																																								
			アスファルト混合物 開粒度 AS混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³																																																																																																																																																																								
			アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m ³ 未満)																																																																																																																																																																								
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用 アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	プライムコートの場合 タックコートの場合																																																																																																																																																																								
		Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																									
		Z 4	-																																																																																																																																																																									
		市場単価	S	-																																																																																																																																																																								
積算上の注意事項				(控え頁) 3/7																																																																																																																																																																								

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																				
現	行	改	正																																																				
現 行		改 正																																																					
3.0m 超	<table border="1"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>ロードローラー [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>タイヤローラー [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="4">Z 1</td> <td>アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.35t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.30t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 1.94t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料	K 2	ロードローラー [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料	K 3	タイヤローラー [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料	労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	運転手 (特殊)		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m ³ 未満)	Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	Z 3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	-		→	改 正	現 行	備 考
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																				
機械	K 1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料																																																				
	K 2	ロードローラー [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料																																																				
	K 3	タイヤローラー [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																					
	R 2	特殊作業員																																																					
	R 3	運転手 (特殊)																																																					
	R 4	土木一般世話役																																																					
材料	Z 1	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³																																																				
		アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³																																																				
		アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³																																																				
		アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m ³ 未満)																																																				
	Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																				
	Z 3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																				
	Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																					
	市場単価	S	-																																																				
3.0m 超	<table border="1"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型 (20112014年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>ロードローラー [マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>タイヤローラー [普通型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="4">Z 1</td> <td>アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.35t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS混合物 アスコン (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.30t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS混合物 アスコン (13)</td> <td>標準締固め後密度 1.94t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 密粒度 AS混合物 アスコン (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型 (2011 2014年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料	K 2	ロードローラー [マカダム・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料	K 3	タイヤローラー [普通型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料	労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	運転手 (特殊)		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m ³ 未満)	Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	Z 3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	-		→	改 正	現 行	備 考
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																				
機械	K 1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 低騒音型 ・排出ガス対策型 (2011 2014年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料																																																				
	K 2	ロードローラー [マカダム・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料																																																				
	K 3	タイヤローラー [普通型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																					
	R 2	特殊作業員																																																					
	R 3	運転手 (特殊)																																																					
	R 4	土木一般世話役																																																					
材料	Z 1	アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³																																																				
		アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 2.30t/m ³																																																				
		アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 アスコン (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³																																																				
		アスファルト混合物 密粒度 AS 混合物 アスコン (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.50t/m ³ 未満)																																																				
	Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																				
	Z 3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																				
	Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																					
	市場単価	S	-																																																				
積算上の注意事項		(控え頁)																																																					
		4 / 7																																																					

代表機材の修正・追加・削除
(歩掛り改定に伴う)

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																																																																				
現	行	改	正																																																																																																																																																																				
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 基層(歩道部)・中間層(歩道部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td rowspan="2">Z1</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.20t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.15t/m³</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">Z2</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m³ 未満)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコート の場合</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">1.4m 以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4~ 3.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t</td> <td>資料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td rowspan="2">Z1</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.20t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.15t/m³</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">Z2</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m³ 未満)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコート の場合</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t		K2 振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60 k g		K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³	Z2	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3	ガソリン レギュラー スタンド		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	-	1.4m 以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4~ 3.0m		K2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t	資料	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手 (特殊)		R4 土木一般世話役		材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³	Z2	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z4	-		市場単価	S	-	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 基層(歩道部)・中間層(歩道部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td rowspan="2">Z1</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.20t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.15t/m³</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">Z2</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m³ 未満)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコート の場合</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">1.4m 以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4~3.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t</td> <td>資料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td rowspan="2">Z1</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.20t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.15t/m³</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">Z2</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m³ 未満)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコート の場合</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t		K2 振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60 k g		K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³	Z2	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3	ガソリン レギュラー スタンド		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	-	1.4m 以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4~3.0m		K2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t	資料	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手 (特殊)		R4 土木一般世話役		材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³	Z2	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z4	-		市場単価	S	-	<p>代表機材の修正・追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																				
1.4m 未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t																																																																																																																																																																					
		K2 振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60 k g																																																																																																																																																																					
		K3 -																																																																																																																																																																					
	労務	R1 特殊作業員																																																																																																																																																																					
		R2 普通作業員																																																																																																																																																																					
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																																																					
		R4 -																																																																																																																																																																					
	材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³																																																																																																																																																																			
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³																																																																																																																																																																			
		Z2	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)																																																																																																																																																																			
			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合																																																																																																																																																																			
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																			
		Z3	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																				
Z4		軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																					
市場単価	S	-																																																																																																																																																																					
1.4m 以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4~ 3.0m																																																																																																																																																																					
		K2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t	資料																																																																																																																																																																				
		K3 -																																																																																																																																																																					
	労務	R1 普通作業員																																																																																																																																																																					
		R2 特殊作業員																																																																																																																																																																					
		R3 運転手 (特殊)																																																																																																																																																																					
		R4 土木一般世話役																																																																																																																																																																					
	材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³																																																																																																																																																																			
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³																																																																																																																																																																			
		Z2	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)																																																																																																																																																																			
			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合																																																																																																																																																																			
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																			
		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																				
Z4		-																																																																																																																																																																					
市場単価	S	-																																																																																																																																																																					
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																				
1.4m 未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t																																																																																																																																																																					
		K2 振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60 k g																																																																																																																																																																					
		K3 -																																																																																																																																																																					
	労務	R1 特殊作業員																																																																																																																																																																					
		R2 普通作業員																																																																																																																																																																					
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																																																					
		R4 -																																																																																																																																																																					
	材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³																																																																																																																																																																			
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³																																																																																																																																																																			
		Z2	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)																																																																																																																																																																			
			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合																																																																																																																																																																			
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																			
		Z3	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																				
Z4		軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																					
市場単価	S	-																																																																																																																																																																					
1.4m 以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4~3.0m																																																																																																																																																																					
		K2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t	資料																																																																																																																																																																				
		K3 -																																																																																																																																																																					
	労務	R1 普通作業員																																																																																																																																																																					
		R2 特殊作業員																																																																																																																																																																					
		R3 運転手 (特殊)																																																																																																																																																																					
		R4 土木一般世話役																																																																																																																																																																					
	材料	Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³																																																																																																																																																																			
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³																																																																																																																																																																			
		Z2	再生アスファルト混合物 再生粗粒度 AS 混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)																																																																																																																																																																			
			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合																																																																																																																																																																			
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																			
		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																				
Z4		-																																																																																																																																																																					
市場単価	S	-																																																																																																																																																																					
9・③・9																																																																																																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 5/7																																																																																																																																																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																																																												
	現 行	改 正																																																																																																																																																																													
	<p style="text-align: center;">表3.9 表層(歩道部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="3">Z 1</td> <td>再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.20t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.15t/m³</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m³ 未満)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコート の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">1.4m 以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4~ 3.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="3">Z 1</td> <td>再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.20t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.15t/m³</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m³ 未満)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコート の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K 1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t		K 2 振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60 k g		K 3 -		労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 -		材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.20t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)	Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合	Z 3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z 3	ガソリン レギュラー スタンド		Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	-		1.4m 以上	機械	K 1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4~ 3.0m		K 2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t	賃料	K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 運転手 (特殊)		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.20t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)	Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合	Z 3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	-		市場単価	S	-		<p style="text-align: center;">表3.9 表層(歩道部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="3">Z 1</td> <td>再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 730N (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.20t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 730N (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.15t/m³</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 730N (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m³ 未満)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコート の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">1.4m 以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4~3.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="3">Z 1</td> <td>再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 730N (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.20t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 730N (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.15t/m³</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 730N (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m³ 未満)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコート の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K 1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t		K 2 振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60 k g		K 3 -		労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 -		材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 730N (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 730N (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 730N (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)	Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合	Z 3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z 3	ガソリン レギュラー スタンド		Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	-		1.4m 以上	機械	K 1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4~3.0m		K 2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t	賃料	K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 運転手 (特殊)		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 730N (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³	アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 730N (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 730N (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)	Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合	Z 3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	-		市場単価	S	-		<p>代表機材の修正・追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																												
1.4m 未満	機械	K 1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t																																																																																																																																																																													
		K 2 振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60 k g																																																																																																																																																																													
		K 3 -																																																																																																																																																																													
	労務	R 1 特殊作業員																																																																																																																																																																													
		R 2 普通作業員																																																																																																																																																																													
		R 3 土木一般世話役																																																																																																																																																																													
		R 4 -																																																																																																																																																																													
	材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.20t/m ³																																																																																																																																																																											
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³																																																																																																																																																																											
			再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)																																																																																																																																																																											
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合																																																																																																																																																																											
		Z 3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																											
		Z 3	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																												
		Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																												
市場単価		S	-																																																																																																																																																																												
1.4m 以上	機械	K 1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4~ 3.0m																																																																																																																																																																													
		K 2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t	賃料																																																																																																																																																																												
		K 3 -																																																																																																																																																																													
	労務	R 1 普通作業員																																																																																																																																																																													
		R 2 特殊作業員																																																																																																																																																																													
		R 3 運転手 (特殊)																																																																																																																																																																													
		R 4 土木一般世話役																																																																																																																																																																													
	材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.20t/m ³																																																																																																																																																																											
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³																																																																																																																																																																											
			再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 (13)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)																																																																																																																																																																											
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合																																																																																																																																																																											
		Z 3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																											
		Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																												
		Z 4	-																																																																																																																																																																												
市場単価		S	-																																																																																																																																																																												
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																												
1.4m 未満	機械	K 1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t																																																																																																																																																																													
		K 2 振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60 k g																																																																																																																																																																													
		K 3 -																																																																																																																																																																													
	労務	R 1 特殊作業員																																																																																																																																																																													
		R 2 普通作業員																																																																																																																																																																													
		R 3 土木一般世話役																																																																																																																																																																													
		R 4 -																																																																																																																																																																													
	材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 730N (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³																																																																																																																																																																											
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 730N (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³																																																																																																																																																																											
			再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 730N (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)																																																																																																																																																																											
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合																																																																																																																																																																											
		Z 3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																											
		Z 3	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																												
		Z 4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																												
市場単価		S	-																																																																																																																																																																												
1.4m 以上	機械	K 1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅 1.4~3.0m																																																																																																																																																																													
		K 2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t	賃料																																																																																																																																																																												
		K 3 -																																																																																																																																																																													
	労務	R 1 普通作業員																																																																																																																																																																													
		R 2 特殊作業員																																																																																																																																																																													
		R 3 運転手 (特殊)																																																																																																																																																																													
		R 4 土木一般世話役																																																																																																																																																																													
	材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 730N (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³																																																																																																																																																																											
			アスファルト混合物 細粒度 AS 混合物 730N (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³																																																																																																																																																																											
			再生アスファルト混合物 再生密粒度 AS 混合物 730N (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)																																																																																																																																																																											
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコート の場合																																																																																																																																																																											
		Z 3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																											
		Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																												
		Z 4	-																																																																																																																																																																												
市場単価		S	-																																																																																																																																																																												
9・③・10																																																																																																																																																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 6/7																																																																																																																																																																												

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																												
現	行	改	正																																																																																											
<p>3-3 アスカーブ (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 アスカーブ 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">断面積</th> <th style="width: 50%;">材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>125cm²以上140cm²未満</td><td rowspan="10" style="text-align: center;">(表3.11)</td></tr> <tr><td>140cm²以上155cm²未満</td></tr> <tr><td>155cm²以上175cm²未満</td></tr> <tr><td>175cm²以上195cm²未満</td></tr> <tr><td>195cm²以上215cm²未満</td></tr> <tr><td>215cm²以上235cm²未満</td></tr> <tr><td>235cm²以上255cm²未満</td></tr> <tr><td>255cm²以上280cm²未満</td></tr> <tr><td>280cm²以上300cm²未満</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、アスカーブ設置の他、瀝青材、瀝青材の散布及び加熱燃料等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.09)</p> <p style="text-align: center;">表3.11 材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="5" style="text-align: center;">材料</td><td>細粒度アスファルト混合物(13)</td></tr> <tr><td>細粒度アスファルト混合物(13F)</td></tr> <tr><td>再生細粒度アスファルト混合物(13)</td></tr> <tr><td>再生細粒度アスファルト混合物(13F)</td></tr> <tr><td>各種(締固め後密度2.10 t/m³)</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 アスカーブ 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">代表機材規格</th> <th style="width: 80%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td><td>K 1</td><td>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積載 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td></tr> <tr><td>K 2</td><td>アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 能力4.0~4.5m³/h</td></tr> <tr><td>K 3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td></tr> <tr><td>R 4</td><td>運転手(一般)</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td><td>Z 1</td><td>再生アスファルト混合物 再生細粒度AS混合物(13)</td></tr> <tr><td>Z 2</td><td>軽油1.2号 バトロール給油</td></tr> <tr><td>Z 3</td><td>ガソリン レギュラー スタンド</td></tr> <tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">9・③・11</p>		断面積	材料	125cm ² 以上140cm ² 未満	(表3.11)	140cm ² 以上155cm ² 未満	155cm ² 以上175cm ² 未満	175cm ² 以上195cm ² 未満	195cm ² 以上215cm ² 未満	215cm ² 以上235cm ² 未満	235cm ² 以上255cm ² 未満	255cm ² 以上280cm ² 未満	280cm ² 以上300cm ² 未満	積算条件	区分	材料	細粒度アスファルト混合物(13)	細粒度アスファルト混合物(13F)	再生細粒度アスファルト混合物(13)	再生細粒度アスファルト混合物(13F)	各種(締固め後密度2.10 t/m ³)	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積載 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K 2	アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 能力4.0~4.5m ³ /h	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	運転手(一般)	材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生細粒度AS混合物(13)	Z 2	軽油1.2号 バトロール給油	Z 3	ガソリン レギュラー スタンド	Z 4	—	市場単価	S	—	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">} 現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.11 材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="5" style="text-align: center;">材料</td><td>細粒度アスファルト混合物 アロン(13)</td></tr> <tr><td>細粒度アスファルト混合物 アロン(13F)</td></tr> <tr><td>再生細粒度アスファルト混合物 アロン(13)</td></tr> <tr><td>再生細粒度アスファルト混合物 アロン(13F)</td></tr> <tr><td>各種(締固め後密度2.10 t/m³)</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 アスカーブ 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">代表機材規格</th> <th style="width: 80%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td><td>K 1</td><td>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積載 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td></tr> <tr><td>K 2</td><td>アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 能力4.0~4.5m³/h</td></tr> <tr><td>K 3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td></tr> <tr><td>R 4</td><td>運転手(一般)</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td><td>Z 1</td><td>再生アスファルト混合物 再生細粒度 AS混合物 アロン(13)</td></tr> <tr><td>Z 2</td><td>軽油1.2号 バトロール給油</td></tr> <tr><td>Z 3</td><td>ガソリン レギュラー スタンド</td></tr> <tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>		積算条件	区分	材料	細粒度 アスファルト混合物 アロン (13)	細粒度 アスファルト混合物 アロン (13F)	再生細粒度 アスファルト混合物 アロン (13)	再生細粒度 アスファルト混合物 アロン (13F)	各種(締固め後密度2.10 t/m ³)	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積載 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K 2	アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 能力4.0~4.5m ³ /h	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	運転手(一般)	材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生細粒度 AS混合物 アロン (13)	Z 2	軽油1.2号 バトロール給油	Z 3	ガソリン レギュラー スタンド	Z 4	—	市場単価	S	—	備考
断面積	材料																																																																																													
125cm ² 以上140cm ² 未満	(表3.11)																																																																																													
140cm ² 以上155cm ² 未満																																																																																														
155cm ² 以上175cm ² 未満																																																																																														
175cm ² 以上195cm ² 未満																																																																																														
195cm ² 以上215cm ² 未満																																																																																														
215cm ² 以上235cm ² 未満																																																																																														
235cm ² 以上255cm ² 未満																																																																																														
255cm ² 以上280cm ² 未満																																																																																														
280cm ² 以上300cm ² 未満																																																																																														
積算条件		区分																																																																																												
材料	細粒度アスファルト混合物(13)																																																																																													
	細粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																													
	再生細粒度アスファルト混合物(13)																																																																																													
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																													
	各種(締固め後密度2.10 t/m ³)																																																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																																																												
機械	K 1	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積載 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																																												
	K 2	アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 能力4.0~4.5m ³ /h																																																																																												
	K 3	—																																																																																												
労務	R 1	普通作業員																																																																																												
	R 2	土木一般世話役																																																																																												
	R 3	特殊作業員																																																																																												
	R 4	運転手(一般)																																																																																												
材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生細粒度AS混合物(13)																																																																																												
	Z 2	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																												
	Z 3	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																												
	Z 4	—																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																												
積算条件	区分																																																																																													
材料	細粒度 アスファルト混合物 アロン (13)																																																																																													
	細粒度 アスファルト混合物 アロン (13F)																																																																																													
	再生細粒度 アスファルト混合物 アロン (13)																																																																																													
	再生細粒度 アスファルト混合物 アロン (13F)																																																																																													
	各種(締固め後密度2.10 t/m ³)																																																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																																																												
機械	K 1	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積載 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																																												
	K 2	アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 能力4.0~4.5m ³ /h																																																																																												
	K 3	—																																																																																												
労務	R 1	普通作業員																																																																																												
	R 2	土木一般世話役																																																																																												
	R 3	特殊作業員																																																																																												
	R 4	運転手(一般)																																																																																												
材料	Z 1	再生アスファルト混合物 再生細粒度 AS混合物 アロン (13)																																																																																												
	Z 2	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																												
	Z 3	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																												
	Z 4	—																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																												
積算上の注意事項		(控え頁) 7/7																																																																																												

語句の修正・削除
(歩掛り改定に伴う)

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																									
現	行	改	正																																																																																									
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 セメントミルク浸透 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.0t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>散水車 [トラック架装型] タンク容量 3800L</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>半たわみ性舗装用セメントミルク超速硬型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 アスファルト舗装工 アスファルト舗設作業は「第IV編第1章②-1アスファルト舗装工」による。</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.0t		K 2	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t		K 3	散水車 [トラック架装型] タンク容量 3800L		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	運転手 (特殊)		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	半たわみ性舗装用セメントミルク超速硬型		Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 セメントミルク浸透 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 吊 吊能力 2.0t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>散水車 [トラック架装型] タンク容量 3800L</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>半たわみ性舗装用セメントミルク超速硬型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 アスファルト舗装工 アスファルト舗設作業は「第IV編第1章②-1アスファルト舗装工」による。</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 吊 吊能力 2.0t		K 2	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t		K 3	散水車 [トラック架装型] タンク容量 3800L		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	運転手 (特殊)		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	半たわみ性舗装用セメントミルク超速硬型		Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>記載の変更</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.0t																																																																																										
	K 2	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t																																																																																										
	K 3	散水車 [トラック架装型] タンク容量 3800L																																																																																										
労務	R 1	普通作業員																																																																																										
	R 2	特殊作業員																																																																																										
	R 3	運転手 (特殊)																																																																																										
	R 4	土木一般世話役																																																																																										
材料	Z 1	半たわみ性舗装用セメントミルク超速硬型																																																																																										
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 吊 吊能力 2.0t																																																																																										
	K 2	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・ 排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t																																																																																										
	K 3	散水車 [トラック架装型] タンク容量 3800L																																																																																										
労務	R 1	普通作業員																																																																																										
	R 2	特殊作業員																																																																																										
	R 3	運転手 (特殊)																																																																																										
	R 4	土木一般世話役																																																																																										
材料	Z 1	半たわみ性舗装用セメントミルク超速硬型																																																																																										
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																					
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 排水性舗装・表層（車道・路肩部） (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 排水性舗装・表層（車道・路肩部）積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均施工幅員</th> <th>1層当り平均仕上り厚</th> <th>導水パイプの設置</th> <th>片側車線数</th> <th>材料</th> <th>瀝青材料の規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1.4m未満</td> <td rowspan="2">実数入力</td> <td>有り</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.2)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.3)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.4m以上</td> <td rowspan="2">実数入力</td> <td>有り</td> <td>片側1車線</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>片側2車線以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、表層（車道部及び路肩部）のアスファルト混合物数均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、導水パイプの設置、瀝青材飛散保護等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、平均施工幅員1.4m未満で導水パイプを設置する場合は、導水パイプ材料費を別途計上する。 2. 面積＝本線（舗装端部含む）＋すりつけ部＋非常駐車帯とする。 3. アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.07） 4. 瀝青材の材料ロスを含む。なお、標準使用量は、43L/100m²とする。 5. 排水性舗装端部の排水帯の有無にかかわらず適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> <th>標準締固め後密度(t/m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">材料</td> <td>アスファルト混合物</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2.00</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (20)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td>各種 (1.90 t/m³以上2.00t/m³未満)</td> <td>1.90以上2.00未満</td> </tr> <tr> <td>各種 (2.00 t/m³以上2.10t/m³未満)</td> <td>2.00以上2.10未満</td> </tr> <tr> <td>各種 (2.10 t/m³以上2.20t/m³未満)</td> <td>2.10以上2.20未満</td> </tr> <tr> <td>各種 (2.20 t/m³以上2.30t/m³未満)</td> <td>2.20以上2.30未満</td> </tr> <tr> <td>各種 (2.30 t/m³以上2.40t/m³未満)</td> <td>2.30以上2.40未満</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">9・⑤・2</p>	平均施工幅員	1層当り平均仕上り厚	導水パイプの設置	片側車線数	材料	瀝青材料の規格	1.4m未満	実数入力	有り	-	(表3.2)	(表3.3)	無し	2.4m以上	実数入力	有り	片側1車線	無し	片側2車線以上	積算条件	区 分	標準締固め後密度(t/m ³)	材料	アスファルト混合物	2.00	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (20)	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)	各種 (1.90 t/m ³ 以上2.00t/m ³ 未満)	1.90以上2.00未満	各種 (2.00 t/m ³ 以上2.10t/m ³ 未満)	2.00以上2.10未満	各種 (2.10 t/m ³ 以上2.20t/m ³ 未満)	2.10以上2.20未満	各種 (2.20 t/m ³ 以上2.30t/m ³ 未満)	2.20以上2.30未満	各種 (2.30 t/m ³ 以上2.40t/m ³ 未満)	2.30以上2.40未満	<p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
平均施工幅員	1層当り平均仕上り厚	導水パイプの設置	片側車線数	材料	瀝青材料の規格																																			
1.4m未満	実数入力	有り	-	(表3.2)	(表3.3)																																			
		無し																																						
2.4m以上	実数入力	有り	片側1車線																																					
		無し	片側2車線以上																																					
積算条件	区 分	標準締固め後密度(t/m ³)																																						
材料	アスファルト混合物	2.00																																						
	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (20)																																							
	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)																																							
	各種 (1.90 t/m ³ 以上2.00t/m ³ 未満)	1.90以上2.00未満																																						
	各種 (2.00 t/m ³ 以上2.10t/m ³ 未満)	2.00以上2.10未満																																						
	各種 (2.10 t/m ³ 以上2.20t/m ³ 未満)	2.10以上2.20未満																																						
	各種 (2.20 t/m ³ 以上2.30t/m ³ 未満)	2.20以上2.30未満																																						
	各種 (2.30 t/m ³ 以上2.40t/m ³ 未満)	2.30以上2.40未満																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																					

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																																																															
	現 行	改 正																																																																																																																																																																																
	<p style="text-align: center;">表3. 3 瀝青材料の規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">瀝青材料 の規格</td> <td>タックコート PKR (ゴム入り)</td> </tr> <tr> <td>タックコート (各種)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 4 排水性舗装・表層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均施工幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">1.4m 未満</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1</td> <td>振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PKR ゴム入り</td> <td>瀝青材散布有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">2.4m 以上</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出 ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PKR ゴム入り</td> <td>瀝青材散布有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18</td> <td>導水パイプの設置有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	瀝青材料 の規格	タックコート PKR (ゴム入り)	タックコート (各種)	無し	平均施工幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t		K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg		K3	—		R1	特殊作業員		労務	R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		Z1	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)		材料	Z2	アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合	Z3	ガソリン レギュラー スタンド		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	—	2.4m 以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出 ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料	K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料	K3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料	R1	普通作業員		労務	R2	運転手 (特殊)		R3	特殊作業員		R4	土木一般世話役		Z1	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)		材料	Z2	アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合	Z3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z4	導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18	導水パイプの設置有りの場合	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">表3. 4 排水性舗装・表層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均施工幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">1.4m 未満</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1</td> <td>振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物アス (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PKR ゴム入り</td> <td>瀝青材散布有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">2.4m 以上</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出 ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物アス (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PKR ゴム入り</td> <td>瀝青材散布有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18</td> <td>導水パイプの設置有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	平均施工幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t		K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg		K3	—		R1	特殊作業員		労務	R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		Z1	アスファルト混合物 ポーラス アスファルト 混合物 アス (13)		材料	Z2	アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合	Z3	ガソリン レギュラー スタンド		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	—	2.4m 以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出 ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料	K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料	K3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料	R1	普通作業員		労務	R2	運転手 (特殊)		R3	特殊作業員		R4	土木一般世話役		Z1	アスファルト混合物 ポーラス アスファルト 混合物 アス (13)		材料	Z2	アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合	Z3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z4	導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18	導水パイプの設置有りの場合	市場単価	S	—	<p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
積算条件	区分																																																																																																																																																																																	
瀝青材料 の規格	タックコート PKR (ゴム入り)																																																																																																																																																																																	
	タックコート (各種)																																																																																																																																																																																	
	無し																																																																																																																																																																																	
平均施工幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																															
1.4m 未満	機械	K1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t																																																																																																																																																																															
		K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg																																																																																																																																																																															
		K3	—																																																																																																																																																																															
		R1	特殊作業員																																																																																																																																																																															
	労務	R2	普通作業員																																																																																																																																																																															
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																															
		R4	—																																																																																																																																																																															
		Z1	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)																																																																																																																																																																															
	材料	Z2	アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合																																																																																																																																																																														
		Z3	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																															
		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																															
		市場単価	S	—																																																																																																																																																																														
	2.4m 以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出 ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料																																																																																																																																																																													
K2			タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料																																																																																																																																																																														
K3			ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料																																																																																																																																																																														
R1			普通作業員																																																																																																																																																																															
労務		R2	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																															
		R3	特殊作業員																																																																																																																																																																															
		R4	土木一般世話役																																																																																																																																																																															
		Z1	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)																																																																																																																																																																															
材料		Z2	アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合																																																																																																																																																																														
		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																															
		Z4	導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18	導水パイプの設置有りの場合																																																																																																																																																																														
		市場単価	S	—																																																																																																																																																																														
平均施工幅員		項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																														
1.4m 未満	機械	K1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t																																																																																																																																																																															
		K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量 40~60kg																																																																																																																																																																															
		K3	—																																																																																																																																																																															
		R1	特殊作業員																																																																																																																																																																															
	労務	R2	普通作業員																																																																																																																																																																															
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																															
		R4	—																																																																																																																																																																															
		Z1	アスファルト混合物 ポーラス アスファルト 混合物 アス (13)																																																																																																																																																																															
	材料	Z2	アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合																																																																																																																																																																														
		Z3	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																															
		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																															
		市場単価	S	—																																																																																																																																																																														
	2.4m 以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出 ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料																																																																																																																																																																													
K2			タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料																																																																																																																																																																														
K3			ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料																																																																																																																																																																														
R1			普通作業員																																																																																																																																																																															
労務		R2	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																															
		R3	特殊作業員																																																																																																																																																																															
		R4	土木一般世話役																																																																																																																																																																															
		Z1	アスファルト混合物 ポーラス アスファルト 混合物 アス (13)																																																																																																																																																																															
材料		Z2	アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合																																																																																																																																																																														
		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																															
		Z4	導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18	導水パイプの設置有りの場合																																																																																																																																																																														
		市場単価	S	—																																																																																																																																																																														
9・⑤・3																																																																																																																																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																																																																																																																															

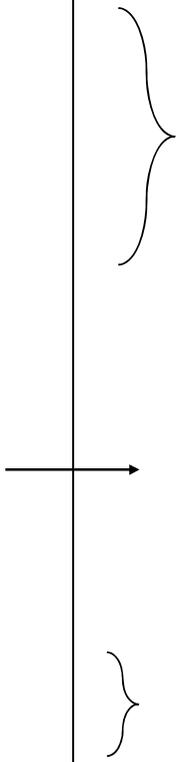
改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																														
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 フィルター層 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.28m³（平積 0.20m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 運転質量 3～4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世帯役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>砂 再生砂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 透水性アスファルト舗装 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 透水性アスファルト舗装 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>1層当り平均仕上り厚</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4m未満</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">実数入力</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表3.4)</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上2.4m未満</td> </tr> <tr> <td>2.4m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表層（歩道部）の透水性アスファルト混合物敷均し・締固めの他、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、その施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。なお平均幅員が2.4m以上の場合、振動ローラ（ハンドガイド式）の運転経費を含む。 2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.10） 3. すりつけに使用する混合物は、実状に応じて別途計上する。 4. 幅員にかかわらず機械施工が困難な場合は、平均幅員1.4m未満を適用する。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>アスファルト混合物</th> <th>締固め後密度 (t/m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">材料</td> <td>開粒度75% (13)</td> <td>2.05</td> </tr> <tr> <td>各種 (1.90以上2.00t/m³未満)</td> <td>1.90以上2.00未満</td> </tr> <tr> <td>各種 (2.00以上2.10t/m³未満)</td> <td>2.00以上2.10未満</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.28m ³ （平積 0.20m ³ ）	賃料	K 2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 運転質量 3～4t	賃料	K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	運転手（特殊）		R 4	土木一般世帯役		材料	Z 1	砂 再生砂		Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		平均幅員	1層当り平均仕上り厚	材料	1.4m未満	実数入力	(表3.4)	1.4m以上2.4m未満	2.4m以上	積算条件	アスファルト混合物	締固め後密度 (t/m ³)	材料	開粒度75% (13)	2.05	各種 (1.90以上2.00t/m ³ 未満)	1.90以上2.00未満	各種 (2.00以上2.10t/m ³ 未満)	2.00以上2.10未満	<p>現行どおり</p>	<p>記載の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																														
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.28m ³ （平積 0.20m ³ ）	賃料																																																														
	K 2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 運転質量 3～4t	賃料																																																														
	K 3	—																																																															
労務	R 1	特殊作業員																																																															
	R 2	普通作業員																																																															
	R 3	運転手（特殊）																																																															
	R 4	土木一般世帯役																																																															
材料	Z 1	砂 再生砂																																																															
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																															
	Z 3	—																																																															
	Z 4	—																																																															
市場単価	S	—																																																															
平均幅員	1層当り平均仕上り厚	材料																																																															
1.4m未満	実数入力	(表3.4)																																																															
1.4m以上2.4m未満																																																																	
2.4m以上																																																																	
積算条件	アスファルト混合物	締固め後密度 (t/m ³)																																																															
材料	開粒度75% (13)	2.05																																																															
	各種 (1.90以上2.00t/m ³ 未満)	1.90以上2.00未満																																																															
	各種 (2.00以上2.10t/m ³ 未満)	2.00以上2.10未満																																																															
積算上の注意事項	9・⑥・2		(控え頁) 1/2																																																														

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																																																																																																																																																															
現	行	改	正																																																																																																																																																																																																																																																															
<p>(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 透水性アスファルト舗装 代表機材材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド型] 運転質量 0.5~0.6t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動コンバクタ [前進型] 機械質量 40~60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1.4m 以上 2.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 1.4~3.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">2.4m 以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 2.4~6.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m³ (平積 0.20m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平均幅員	項目	代表機材材規格	備考	1.4m 未満	機械	K1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド型] 運転質量 0.5~0.6t		K2	振動コンバクタ [前進型] 機械質量 40~60kg		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		Z2	ガソリン レギュラー スタンド		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z4	—		市場単価	S	—		1.4m 以上 2.4m 未満	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 1.4~3.0m		K2	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	運転手 (特殊)		R4	土木一般世話役		材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		2.4m 以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 2.4~6.0m		K2	バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.20m ³)	賃料	K3	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料	労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	運転手 (特殊)		R4	土木一般世話役		材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 透水性アスファルト舗装 代表機材材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド型] 運転質量 0.5~0.6t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動コンバクタ [前進型] 機械質量 40~60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1.4m 以上 2.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 1.4~3.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">2.4m 以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 2.4 3~6.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m³ (平積 0.20m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材材規格	備考	1.4m 未満	機械	K1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド型] 運転質量 0.5~0.6t		K2	振動コンバクタ [前進型] 機械質量 40~60kg		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		Z2	ガソリン レギュラー スタンド		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z4	—		市場単価	S	—		1.4m 以上 2.4m 未満	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 1.4~3.0m		K2	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	運転手 (特殊)		R4	土木一般世話役		材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		2.4m 以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 2.4 3~6.0m		K2	バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.20m ³)	賃料	K3	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料	労務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	運転手 (特殊)		R4	土木一般世話役		材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		→	語句の修正
平均幅員	項目	代表機材材規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																															
1.4m 未満	機械	K1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド型] 運転質量 0.5~0.6t																																																																																																																																																																																																																																																															
		K2	振動コンバクタ [前進型] 機械質量 40~60kg																																																																																																																																																																																																																																																															
		K3	—																																																																																																																																																																																																																																																															
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																															
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																															
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																															
		R4	—																																																																																																																																																																																																																																																															
	材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)																																																																																																																																																																																																																																																															
		Z2	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																																																																																																															
		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																															
Z4		—																																																																																																																																																																																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																																																																																																
1.4m 以上 2.4m 未満	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 1.4~3.0m																																																																																																																																																																																																																																																															
		K2	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t																																																																																																																																																																																																																																																															
		K3	—																																																																																																																																																																																																																																																															
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																															
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																															
		R3	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																																																																																																															
		R4	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																															
	材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)																																																																																																																																																																																																																																																															
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																															
		Z3	—																																																																																																																																																																																																																																																															
Z4		—																																																																																																																																																																																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																																																																																																
2.4m 以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 2.4~6.0m																																																																																																																																																																																																																																																															
		K2	バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.20m ³)	賃料																																																																																																																																																																																																																																																														
		K3	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																														
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																															
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																															
		R3	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																																																																																																															
		R4	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																															
	材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)																																																																																																																																																																																																																																																															
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																															
		Z3	—																																																																																																																																																																																																																																																															
Z4		—																																																																																																																																																																																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																																																																																																
平均幅員	項目	代表機材材規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																															
1.4m 未満	機械	K1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド型] 運転質量 0.5~0.6t																																																																																																																																																																																																																																																															
		K2	振動コンバクタ [前進型] 機械質量 40~60kg																																																																																																																																																																																																																																																															
		K3	—																																																																																																																																																																																																																																																															
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																															
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																															
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																															
		R4	—																																																																																																																																																																																																																																																															
	材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)																																																																																																																																																																																																																																																															
		Z2	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																																																																																																															
		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																															
Z4		—																																																																																																																																																																																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																																																																																																
1.4m 以上 2.4m 未満	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 1.4~3.0m																																																																																																																																																																																																																																																															
		K2	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 3~4t																																																																																																																																																																																																																																																															
		K3	—																																																																																																																																																																																																																																																															
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																															
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																															
		R3	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																																																																																																															
		R4	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																															
	材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)																																																																																																																																																																																																																																																															
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																															
		Z3	—																																																																																																																																																																																																																																																															
Z4		—																																																																																																																																																																																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																																																																																																
2.4m 以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 舗装幅 2.4 3~6.0m																																																																																																																																																																																																																																																															
		K2	バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.20m ³)	賃料																																																																																																																																																																																																																																																														
		K3	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4t	賃料																																																																																																																																																																																																																																																														
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																															
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																															
		R3	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																																																																																																															
		R4	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																															
	材料	Z1	アスファルト混合物 開粒度 AS 混合物 (13)																																																																																																																																																																																																																																																															
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																															
		Z3	—																																																																																																																																																																																																																																																															
Z4		—																																																																																																																																																																																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																																																																																																
9・⑥・3																																																																																																																																																																																																																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																																																																																																																																																																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																								
現 行	改 正																																																																																										
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 防雪柵 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 防雪柵 (材料費) (1) 条件区分 防雪柵 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手 (特殊)		R4	—		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		→	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 防雪柵 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 編積 吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 防雪柵 (材料費) (1) 条件区分 防雪柵 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 編積 吊能力 2.9t		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手 (特殊)		R4	—		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		記載の変更
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t																																																																																									
	K2	—																																																																																									
	K3	—																																																																																									
労務	R1	普通作業員																																																																																									
	R2	土木一般世話役																																																																																									
	R3	運転手 (特殊)																																																																																									
	R4	—																																																																																									
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
	Z2	—																																																																																									
	Z3	—																																																																																									
	Z4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 編積 吊能力 2.9t																																																																																									
	K2	—																																																																																									
	K3	—																																																																																									
労務	R1	普通作業員																																																																																									
	R2	土木一般世話役																																																																																									
	R3	運転手 (特殊)																																																																																									
	R4	—																																																																																									
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
	Z2	—																																																																																									
	Z3	—																																																																																									
	Z4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																								

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																
現	行	改	正																																																																
<p>3-3 支柱建込 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 支柱建込 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>形 式</th> <th>支柱間隔</th> <th>設置高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">A型 (埋設アンカー方式)</td> <td rowspan="2">2m</td> <td>4m以下</td> </tr> <tr> <td>4mを超え8m以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4m</td> <td>4m以下</td> </tr> <tr> <td>4mを超え8m以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B型 (穿孔アンカー方式)</td> <td>2m</td> <td>4m以下</td> </tr> <tr> <td>4m</td> <td>4m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、支柱の建込作業の他、インパクトレンチの損料、ラチェットレンチの損耗費及び電力に関する経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、支柱(材料費)は含まない。 2. 支柱の材料費は別途計上する。 3. 高さは、下部構造物等を含めない支柱のみの高さとする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 支柱建込 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>鉄骨工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 支柱(材料費) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 支柱(材料費) 積算条件区分一覧 (積算単位：t)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>支柱材料種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取付部</td> </tr> <tr> <td>支柱本体 直部</td> </tr> <tr> <td>支柱本体 曲部</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 支柱の材料費(製作費を含む)は、一般管理費等のみ対象とする。</p> <p style="text-align: center;">10・⑧・3</p>		形 式	支柱間隔	設置高さ	A型 (埋設アンカー方式)	2m	4m以下	4mを超え8m以下	4m	4m以下	4mを超え8m以下	B型 (穿孔アンカー方式)	2m	4m以下	4m	4m以下	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t		K2	—		K3	—		労務	R1	鉄骨工		R2	運転手 (特殊)		R3	普通作業員		R4	土木一般世話役		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		支柱材料種類	取付部	支柱本体 直部	支柱本体 曲部	各種	<p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p>	<p style="text-align: center;">記 載 の 変 更</p>
形 式	支柱間隔	設置高さ																																																																	
A型 (埋設アンカー方式)	2m	4m以下																																																																	
		4mを超え8m以下																																																																	
	4m	4m以下																																																																	
		4mを超え8m以下																																																																	
B型 (穿孔アンカー方式)	2m	4m以下																																																																	
	4m	4m以下																																																																	
項目	代表機材規格		備考																																																																
機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t																																																																	
	K2	—																																																																	
	K3	—																																																																	
労務	R1	鉄骨工																																																																	
	R2	運転手 (特殊)																																																																	
	R3	普通作業員																																																																	
	R4	土木一般世話役																																																																	
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																	
	Z2	—																																																																	
	Z3	—																																																																	
	Z4	—																																																																	
市場単価	S	—																																																																	
支柱材料種類																																																																			
取付部																																																																			
支柱本体 直部																																																																			
支柱本体 曲部																																																																			
各種																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4																																																																

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																		
	現 行	改 正																																			
	<p>3-5 土留板取付 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 土留板取付 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">設置高さ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4m以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4mを超え8m以下</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、土留板の取付作業の他、土留板固定用モルタル等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、土留板(材料費)は含まない。 2. 土留板の材料費は、別途計上する。 3. 設置高さは、しゃ音板及び透光板を含めた全体の高さとする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 土留板取付 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 高所作業車 [トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型] 作業床高13.2m 積載荷重1000kg</td> <td>4mを超え8m以下の 場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6 土留板(材料費) (1) 条件区分 土留板(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 使用量は、土留板1m²当りの必要量を計上する。</p>	設置高さ	4m以下	4mを超え8m以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 高所作業車 [トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型] 作業床高13.2m 積載荷重1000kg	4mを超え8m以下の 場合	K 2 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力2.9t		K 3 -		労務	R 1 とび工		R 2 普通作業員		R 3 運転手(特殊)		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 軽油1.2号 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		現 行 ど お り	
設置高さ																																					
4m以下																																					
4mを超え8m以下																																					
項目	代表機材規格	備考																																			
機械	K 1 高所作業車 [トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型] 作業床高13.2m 積載荷重1000kg	4mを超え8m以下の 場合																																			
	K 2 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力2.9t																																				
	K 3 -																																				
労務	R 1 とび工																																				
	R 2 普通作業員																																				
	R 3 運転手(特殊)																																				
	R 4 土木一般世話役																																				
材料	Z 1 軽油1.2号 バトロール給油																																				
	Z 2 -																																				
	Z 3 -																																				
	Z 4 -																																				
市場単価	S -																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																																		



記載の変更

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																
	<p>3-7 しゃ音板・透光板取付 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 しゃ音板・透光板取付 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>設置高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">しゃ音板</td> <td>4m以下</td> </tr> <tr> <td>4mを超え8m以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">透光板</td> <td>4m以下</td> </tr> <tr> <td>4mを超え8m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、しゃ音板、透光板、シール材及び落下防止具、下段パネルの設置作業の他、ハンマー・ラチェットレンチ・脚立の損耗費、固定金具・シール材等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、しゃ音板・透光板（材料費）、落下防止索（材料費）及び下段パネル（材料費）は含まない。 2. しゃ音板・透光板、落下防止索及び下段パネルの材料費は別途計上する。 3. 高さは、下部構造物等を含めないしゃ音板及び透光板のみの高さとする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 しゃ音板・透光板取付 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>高所作業車〔トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型〕 作業床高13.2m 積載荷重1000kg</td> <td>4mを超え8m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>トラック〔クレーン装置付〕ベーストラック4t級 吊能力2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工区分	設置高さ	しゃ音板	4m以下	4mを超え8m以下	透光板	4m以下	4mを超え8m以下	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	高所作業車〔トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型〕 作業床高13.2m 積載荷重1000kg	4mを超え8m以下の場合	K2	トラック〔クレーン装置付〕ベーストラック4t級 吊能力2.9t		K3	—		労務	R1	とび工		R2	運転手（特殊）		R3	普通作業員		R4	土木一般世話役		材料	Z1	軽油1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 しゃ音板・透光板取付 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>高所作業車〔トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型〕 作業床高13.2m 積載荷重1000kg</td> <td>4mを超え8m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>トラック〔クレーン装置付〕ベーストラック4～4.5t 積 吊能力2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	高所作業車〔トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型〕 作業床高13.2m 積載荷重1000kg	4mを超え8m以下の場合	K2	トラック〔クレーン装置付〕ベーストラック4～4.5t 積 吊能力2.9t		K3	—		労務	R1	とび工		R2	運転手（特殊）		R3	普通作業員		R4	土木一般世話役		材料	Z1	軽油1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>記載の変更</p>
施工区分	設置高さ																																																																																																		
しゃ音板	4m以下																																																																																																		
	4mを超え8m以下																																																																																																		
透光板	4m以下																																																																																																		
	4mを超え8m以下																																																																																																		
項目	代表機材規格		備考																																																																																																
機械	K1	高所作業車〔トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型〕 作業床高13.2m 積載荷重1000kg	4mを超え8m以下の場合																																																																																																
	K2	トラック〔クレーン装置付〕ベーストラック4t級 吊能力2.9t																																																																																																	
	K3	—																																																																																																	
労務	R1	とび工																																																																																																	
	R2	運転手（特殊）																																																																																																	
	R3	普通作業員																																																																																																	
	R4	土木一般世話役																																																																																																	
材料	Z1	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																																	
	Z2	—																																																																																																	
	Z3	—																																																																																																	
	Z4	—																																																																																																	
市場単価	S	—																																																																																																	
項目	代表機材規格		備考																																																																																																
機械	K1	高所作業車〔トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型〕 作業床高13.2m 積載荷重1000kg	4mを超え8m以下の場合																																																																																																
	K2	トラック〔クレーン装置付〕ベーストラック4～4.5t 積 吊能力2.9t																																																																																																	
	K3	—																																																																																																	
労務	R1	とび工																																																																																																	
	R2	運転手（特殊）																																																																																																	
	R3	普通作業員																																																																																																	
	R4	土木一般世話役																																																																																																	
材料	Z1	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																																	
	Z2	—																																																																																																	
	Z3	—																																																																																																	
	Z4	—																																																																																																	
市場単価	S	—																																																																																																	
10・⑧・5																																																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																																																																																

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																	
現	行	改	正																																																																	
<p>3-13 外装板取付 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.15 外装板取付 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">設置高さ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4m以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4mを超え8m以下</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、外装板の取付作業の他、脚立及びインバクトレンチの損料、電力に関する経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、外装板（材料費）は含まない。 2. 外装板の材料費は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.16 外装板取付 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 高所作業車 [トラック架装・垂直昇降・フラットホーム型] 作業床高13.2m 積載荷重1000kg</td> <td>4mを超え8m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t級 吊能力2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-14 外装板 (材料費) (1) 条件区分 外装板 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 使用量は、外装板 1m² 当りの必要量を計上する。</p>	設置高さ	4m以下	4mを超え8m以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 高所作業車 [トラック架装・垂直昇降・フラットホーム型] 作業床高13.2m 積載荷重1000kg	4mを超え8m以下の場合	K 2 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t級 吊能力2.9t		K 3 -		労務	R 1 運転手 (特殊)		R 2 とび工		R 3 普通作業員		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.16 外装板取付 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 高所作業車 [トラック架装・垂直昇降・フラットホーム型] 作業床高13.2m 積載荷重1000kg</td> <td>4mを超え8m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 編組 吊能力2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">記載の変更</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 高所作業車 [トラック架装・垂直昇降・フラットホーム型] 作業床高13.2m 積載荷重1000kg	4mを超え8m以下の場合	K 2 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 編組 吊能力2.9t		K 3 -		労務	R 1 運転手 (特殊)		R 2 とび工		R 3 普通作業員		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>10・⑧・8</p>
設置高さ																																																																				
4m以下																																																																				
4mを超え8m以下																																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																																		
機械	K 1 高所作業車 [トラック架装・垂直昇降・フラットホーム型] 作業床高13.2m 積載荷重1000kg	4mを超え8m以下の場合																																																																		
	K 2 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t級 吊能力2.9t																																																																			
	K 3 -																																																																			
労務	R 1 運転手 (特殊)																																																																			
	R 2 とび工																																																																			
	R 3 普通作業員																																																																			
	R 4 土木一般世話役																																																																			
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油																																																																			
	Z 2 -																																																																			
	Z 3 -																																																																			
	Z 4 -																																																																			
市場単価	S -																																																																			
項目	代表機材規格	備考																																																																		
機械	K 1 高所作業車 [トラック架装・垂直昇降・フラットホーム型] 作業床高13.2m 積載荷重1000kg	4mを超え8m以下の場合																																																																		
	K 2 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 編組 吊能力2.9t																																																																			
	K 3 -																																																																			
労務	R 1 運転手 (特殊)																																																																			
	R 2 とび工																																																																			
	R 3 普通作業員																																																																			
	R 4 土木一般世話役																																																																			
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトルール給油																																																																			
	Z 2 -																																																																			
	Z 3 -																																																																			
	Z 4 -																																																																			
市場単価	S -																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 4/4																																																																	

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																														
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.3 組立歩道組立・据付 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t</td> <td>高欄据付を除く</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手 (特殊)</td> <td>高欄据付を除く</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>高欄据付を除く</td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 組立歩道 (材料費) (1) 条件区分 組立歩道組立・据付 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p> <p>3-3 組立用足場 組立用足場の積算は次のとおりとする。 (1) 足場は、原則として高さ (地盤面より床版までの高さ) が2m以上の場合に計上する。 (2) 足場の積算は、「第II編第5章⑦-1足場工」による。 (3) 足場は、単管傾斜足場を標準とする。</p> <p>(参考図)</p> <p>10・⑩・4</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t	高欄据付を除く	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手 (特殊)	高欄据付を除く	材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油	高欄据付を除く	Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.3 組立歩道組立・据付 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 級 吊能力 2.9t</td> <td>高欄据付を除く</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手 (特殊)</td> <td>高欄据付を除く</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>高欄据付を除く</td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 級 吊能力 2.9t	高欄据付を除く	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手 (特殊)	高欄据付を除く	材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油	高欄据付を除く	Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		記載の変更
項目	代表機材規格	備考																																																															
機械	K1 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t	高欄据付を除く																																																															
	K2 -																																																																
	K3 -																																																																
労務	R1 普通作業員																																																																
	R2 特殊作業員																																																																
	R3 土木一般世話役																																																																
	R4 運転手 (特殊)	高欄据付を除く																																																															
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油	高欄据付を除く																																																															
	Z2 -																																																																
	Z3 -																																																																
	Z4 -																																																																
市場単価	S -																																																																
項目	代表機材規格	備考																																																															
機械	K1 トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 級 吊能力 2.9t	高欄据付を除く																																																															
	K2 -																																																																
	K3 -																																																																
労務	R1 普通作業員																																																																
	R2 特殊作業員																																																																
	R3 土木一般世話役																																																																
	R4 運転手 (特殊)	高欄据付を除く																																																															
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油	高欄据付を除く																																																															
	Z2 -																																																																
	Z3 -																																																																
	Z4 -																																																																
市場単価	S -																																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																														

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																				
	現 行	改 正	備 考																																																				
	<p>2-3 橋梁用高欄 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 橋梁用高欄 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>設置方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設 置</td> <td>組立式</td> </tr> <tr> <td>一体式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">再利用設置</td> <td>組立式</td> </tr> <tr> <td>一体式</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 設置の場合(材料込みの新設置) 現場内小運搬等、橋梁用高欄の設置に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等含む)を含む。ただし、橋梁用高欄一体式(材料費)は含まない。 2. 再利用設置の場合(設置手間のみ、材料は流用品) ・上記1.の設置費のみを含む。(橋梁用高欄組立式・一体式(材料費)は含まない。) ・撤去に要する費用は含まない。 3. 組立式とは、支柱と横枠部を分割出来る市販品、一体式とは、形鋼等による工場製作品をいう。 4. 橋梁用高欄が一体式の場合の材料費は、m当り単価を別途計上する。 5. 基礎は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.4 橋梁用高欄 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t</td> <td>一体式の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>一体式の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>高欄(鋼製) B種 丸・縦枠型 ビーム数3本 高さ1,000mm スパン2.0m めっき</td> <td>組立式の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td>一体式の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業区分	設置方法	設 置	組立式	一体式	再利用設置	組立式	一体式	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t	一体式の場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	運転手(特殊)	一体式の場合	R 4	—		材料	Z 1	高欄(鋼製) B種 丸・縦枠型 ビーム数3本 高さ1,000mm スパン2.0m めっき	組立式の場合	Z 2	軽油1.2号 バトロール給油	一体式の場合	Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p>	
作業区分	設置方法																																																						
設 置	組立式																																																						
	一体式																																																						
再利用設置	組立式																																																						
	一体式																																																						
項目	代表機材規格		備考																																																				
機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t	一体式の場合																																																				
	K 2	—																																																					
	K 3	—																																																					
労務	R 1	普通作業員																																																					
	R 2	土木一般世話役																																																					
	R 3	運転手(特殊)	一体式の場合																																																				
	R 4	—																																																					
材料	Z 1	高欄(鋼製) B種 丸・縦枠型 ビーム数3本 高さ1,000mm スパン2.0m めっき	組立式の場合																																																				
	Z 2	軽油1.2号 バトロール給油	一体式の場合																																																				
	Z 3	—																																																					
	Z 4	—																																																					
市場単価	S	—																																																					
	<p>2-4 橋梁用高欄一体式(材料費) (1) 条件区分 橋梁用高欄一体式(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p> <p style="text-align: center;">10・⑬・3</p>	<p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p>																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																				

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																																																																																																											
現	行	改	正																																																																																																																																																																																																											
備	考	備	考																																																																																																																																																																																																											
<p>(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 舗装版切断 代表機材材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装版種別</th> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">アスファルト 舗装版</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 切削深 20 c m級 プレード径 56 c m</td> <td>舗装版厚が 15c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 プレード径 75 c m</td> <td>舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 プレード径 96 c m</td> <td>舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">コンクリート 舗装版</td> <td rowspan="2">Z1</td> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ</td> <td>舗装版厚が 15c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ</td> <td>舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">材料</td> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ</td> <td>舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td>舗装版厚が 15c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ</td> <td>舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ</td> <td>舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ</td> <td>舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ</td> <td>舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td>舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ</td> <td>舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>市場 単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="16">コンクリート + アスファルト (カバ)ー 舗装版</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 切削深 20 c m級 プレード径 56 c m</td> <td>全体厚が 15c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 プレード径 75 c m</td> <td>全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 プレード径 96 c m</td> <td>全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">材料</td> <td>Z1</td> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ</td> <td>全体厚が 15c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ</td> <td>全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ</td> <td>全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td>全体厚が 15c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ</td> <td>全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ</td> <td>全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ</td> <td>全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ</td> <td>全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td>全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ</td> <td>全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>市場 単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		舗装版種別	項目	代表機材材規格	備考	アスファルト 舗装版	機械	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 切削深 20 c m級 プレード径 56 c m	舗装版厚が 15c m 以下の場合	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 プレード径 75 c m	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 プレード径 96 c m	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	K2	—	労務	R1	土木一般世話役		R2	特殊作業員		R3	普通作業員		R4	—		コンクリート 舗装版	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	材料	コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	市場 単価	S	—	コンクリート + アスファルト (カバ)ー 舗装版	機械	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 切削深 20 c m級 プレード径 56 c m	全体厚が 15c m 以下の場合	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 プレード径 75 c m	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 プレード径 96 c m	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	K2	—	労務	R1	土木一般世話役		R2	特殊作業員		R3	普通作業員		R4	—		材料	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	市場 単価	S	—	<p>(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 舗装版切断 代表機材材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装版種別</th> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">アスファルト 舗装版</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 切削深 20 c m級 プレード径 56 c m</td> <td>舗装版厚が 15c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 プレード径 75 c m</td> <td>舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 プレード径 96 c m</td> <td>舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">コンクリート 舗装版</td> <td rowspan="2">Z1</td> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ</td> <td>舗装版厚が 15c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ</td> <td>舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">材料</td> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ</td> <td>舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td>舗装版厚が 15c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ</td> <td>舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ</td> <td>舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ</td> <td>舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ</td> <td>舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td>舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ</td> <td>舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>市場 単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="16">コンクリート + アスファルト (カバ)ー 舗装版</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 切削深 20 c m級 プレード径 56 c m</td> <td>全体厚が 15c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 プレード径 75 c m</td> <td>全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 プレード径 96 c m</td> <td>全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">材料</td> <td>Z1</td> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ</td> <td>全体厚が 15c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ</td> <td>全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ</td> <td>全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td>全体厚が 15c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ</td> <td>全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ</td> <td>全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ</td> <td>全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ</td> <td>全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td>全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ</td> <td>全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>市場 単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	舗装版種別	項目	代表機材材規格	備考	アスファルト 舗装版	機械	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 切削深 20 c m級 プレード径 56 c m	舗装版厚が 15c m 以下の場合	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 プレード径 75 c m	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 プレード径 96 c m	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	K2	—	労務	R1	土木一般世話役		R2	特殊作業員		R3	普通作業員		R4	—		コンクリート 舗装版	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	材料	コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	市場 単価	S	—	コンクリート + アスファルト (カバ)ー 舗装版	機械	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 切削深 20 c m級 プレード径 56 c m	全体厚が 15c m 以下の場合	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 プレード径 75 c m	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 プレード径 96 c m	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	K2	—	労務	R1	土木一般世話役		R2	特殊作業員		R3	普通作業員		R4	—		材料	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合	市場 単価	S	—	→	記載の変更
舗装版種別	項目	代表機材材規格	備考																																																																																																																																																																																																											
アスファルト 舗装版	機械	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 切削深 20 c m級 プレード径 56 c m	舗装版厚が 15c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 プレード径 75 c m	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 プレード径 96 c m	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		K2	—																																																																																																																																																																																																											
	労務	R1	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																											
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																																											
		R3	普通作業員																																																																																																																																																																																																											
		R4	—																																																																																																																																																																																																											
	コンクリート 舗装版	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
		材料	コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
			ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
ガソリン レギュラー スタンド			舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ			舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
市場 単価			S	—																																																																																																																																																																																																										
コンクリート + アスファルト (カバ)ー 舗装版			機械	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 切削深 20 c m級 プレード径 56 c m	全体厚が 15c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																									
	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 プレード径 75 c m	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																												
	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 プレード径 96 c m	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																												
	K2	—																																																																																																																																																																																																												
	労務	R1	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																											
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																																											
		R3	普通作業員																																																																																																																																																																																																											
		R4	—																																																																																																																																																																																																											
	材料	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
ガソリン レギュラー スタンド		全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																												
コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ		全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																												
市場 単価		S	—																																																																																																																																																																																																											
舗装版種別		項目	代表機材材規格	備考																																																																																																																																																																																																										
アスファルト 舗装版	機械	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 切削深 20 c m級 プレード径 56 c m	舗装版厚が 15c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 プレード径 75 c m	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 プレード径 96 c m	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		K2	—																																																																																																																																																																																																											
	労務	R1	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																											
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																																											
		R3	普通作業員																																																																																																																																																																																																											
		R4	—																																																																																																																																																																																																											
	コンクリート 舗装版	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
		材料	コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
			ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
ガソリン レギュラー スタンド			舗装版厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ			舗装版厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
市場 単価			S	—																																																																																																																																																																																																										
コンクリート + アスファルト (カバ)ー 舗装版			機械	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 切削深 20 c m級 プレード径 56 c m	全体厚が 15c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																									
	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 プレード径 75 c m	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																												
	コンクリートカッタ [バキューム式・濺式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 プレード径 96 c m	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																												
	K2	—																																																																																																																																																																																																												
	労務	R1	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																											
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																																											
		R3	普通作業員																																																																																																																																																																																																											
		R4	—																																																																																																																																																																																																											
	材料	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																										
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
		コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																											
ガソリン レギュラー スタンド		全体厚が 15c m を超え 30c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																												
コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ		全体厚が 30c m を超え 40c m 以下の場合																																																																																																																																																																																																												
市場 単価		S	—																																																																																																																																																																																																											
積算上の注意事項				(控え頁) 1/1																																																																																																																																																																																																										

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																																																																																																																					
現	行	改	正																																																																																																																																																																																																																					
<p style="text-align: center;">表3.4 ペイント使用量(1回塗り当り) (kg/100m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗 装 種 別</th> <th>規 格</th> <th>標準使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">下塗 塗料</td> <td>鉛系錆止めペイント 1種</td> <td>1種 14</td> </tr> <tr> <td>〃 2種</td> <td>2種 14</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フェノール樹脂MIO塗料</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中塗 塗料</td> <td>長油性フタル酸樹脂塗料中塗</td> <td>JIS K 5516 2種 12</td> </tr> <tr> <td>塩化ゴム系塗料中塗</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>シリコンアルキド樹脂塗料中塗</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">上塗 塗料</td> <td>長油性フタル酸樹脂塗料上塗</td> <td>JIS K 5516 2種 11</td> </tr> <tr> <td>塩化ゴム系塗料上塗</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>シリコンアルキド樹脂塗料上塗</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>7. 上表は、塗料作業中におけるロス率(飛散したものや残余塗料で使用不能になったもの等)を含んだ標準値である。 8. 上表以外の塗料を使用する場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 塗装種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗 装 種 別</th> <th rowspan="2">淡 彩 色</th> <th rowspan="2">赤 系</th> <th rowspan="2">青 緑 系</th> <th rowspan="2">黄 色 系</th> <th colspan="2">中 彩</th> <th rowspan="2">白 色</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">下塗り</td> <td>鉛系錆止めペイント 1種</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〃 2種</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フェノール樹脂MIO塗料</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中塗り</td> <td>長油性フタル酸樹脂塗料中塗</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>塩化ゴム系塗料中塗</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上塗り</td> <td>長油性フタル酸樹脂塗料上塗</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>塩化ゴム系塗料上塗</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.6 ペイント使用量 (kg/100m²/回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ペイント使用量 (kg/100m²/回)</td> <td>10kg以下</td> </tr> <tr> <td>10kg超20kg以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>20kg超30kg以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.7 塗替回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">塗替回数</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">11・⑤・4</p>		塗 装 種 別	規 格	標準使用量	下塗 塗料	鉛系錆止めペイント 1種	1種 14	〃 2種	2種 14		フェノール樹脂MIO塗料	25	中塗 塗料	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	JIS K 5516 2種 12	塩化ゴム系塗料中塗	17	シリコンアルキド樹脂塗料中塗	12	上塗 塗料	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	JIS K 5516 2種 11	塩化ゴム系塗料上塗	15	シリコンアルキド樹脂塗料上塗	11	塗 装 種 別	淡 彩 色	赤 系	青 緑 系	黄 色 系	中 彩		白 色	A	B	下塗り	鉛系錆止めペイント 1種	○					—	〃 2種	○					—	フェノール樹脂MIO塗料	○					—	中塗り	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	○	○	○	○	○	○	塩化ゴム系塗料中塗	○	○	○	○	○	○	上塗り	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	○	○	○	○	○	○	塩化ゴム系塗料上塗	○	○	○	○	○	○	積算条件	区 分	ペイント使用量 (kg/100m ² /回)	10kg以下	10kg超20kg以下		20kg超30kg以下	積算条件	区 分	塗替回数	1回	2回	3回	<p style="text-align: center;">表3.4 ペイント使用量(1回塗り当り) (kg/100m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗 装 種 別</th> <th>規 格</th> <th>標準使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">下塗 塗料</td> <td>鉛系錆止めペイント1種</td> <td>JIS K 5674 1種</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント</td> <td>2種</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フェノール樹脂MIO塗料</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中塗 塗料</td> <td>長油性フタル酸樹脂塗料中塗</td> <td>JIS K 5516 2種</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>塩化ゴム系塗料中塗</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>シリコンアルキド樹脂塗料中塗</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">上塗 塗料</td> <td>長油性フタル酸樹脂塗料上塗</td> <td>JIS K 5516 2種</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>塩化ゴム系塗料上塗</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>シリコンアルキド樹脂塗料上塗</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.5 塗装種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗 装 種 別</th> <th rowspan="2">淡 彩 色</th> <th rowspan="2">赤 系</th> <th rowspan="2">青 緑 系</th> <th rowspan="2">黄 色 系</th> <th colspan="2">中 彩</th> <th rowspan="2">白 色</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">下塗り</td> <td>鉛系錆止めペイント1種</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〃2種</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フェノール樹脂MIO塗料</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中塗り</td> <td>長油性フタル酸樹脂塗料中塗</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>塩化ゴム系塗料中塗</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上塗り</td> <td>長油性フタル酸樹脂塗料上塗</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>塩化ゴム系塗料上塗</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.6 ペイント使用量 (kg/100m²/回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ペイント使用量 (kg/100m²/回)</td> <td>10kg以下</td> </tr> <tr> <td>10kg超20kg以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>20kg超30kg以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.7 塗替回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">塗替回数</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	塗 装 種 別	規 格	標準使用量	下塗 塗料	鉛系錆止めペイント1種	JIS K 5674 1種	14	鉛・クロムフリーさび止めペイント	2種	14		フェノール樹脂MIO塗料	25	中塗 塗料	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	JIS K 5516 2種	12	塩化ゴム系塗料中塗	17	シリコンアルキド樹脂塗料中塗	12	上塗 塗料	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	JIS K 5516 2種	11	塩化ゴム系塗料上塗	15	シリコンアルキド樹脂塗料上塗	11	塗 装 種 別	淡 彩 色	赤 系	青 緑 系	黄 色 系	中 彩		白 色	A	B	下塗り	鉛系錆止めペイント1種	○					—	鉛・クロムフリーさび止めペイント	○					—	〃2種	○					—		フェノール樹脂MIO塗料	○					—	中塗り	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	○	○	○	○	○	○	塩化ゴム系塗料中塗	○	○	○	○	○	○	上塗り	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	○	○	○	○	○	○	塩化ゴム系塗料上塗	○	○	○	○	○	○	積算条件	区 分	ペイント使用量 (kg/100m ² /回)	10kg以下	10kg超20kg以下		20kg超30kg以下	積算条件	区 分	塗替回数	1回	2回	3回	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p style="text-align: center;">記載の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p style="text-align: center;">記載の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
塗 装 種 別	規 格	標準使用量																																																																																																																																																																																																																						
下塗 塗料	鉛系錆止めペイント 1種	1種 14																																																																																																																																																																																																																						
	〃 2種	2種 14																																																																																																																																																																																																																						
	フェノール樹脂MIO塗料	25																																																																																																																																																																																																																						
中塗 塗料	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	JIS K 5516 2種 12																																																																																																																																																																																																																						
	塩化ゴム系塗料中塗	17																																																																																																																																																																																																																						
	シリコンアルキド樹脂塗料中塗	12																																																																																																																																																																																																																						
上塗 塗料	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	JIS K 5516 2種 11																																																																																																																																																																																																																						
	塩化ゴム系塗料上塗	15																																																																																																																																																																																																																						
	シリコンアルキド樹脂塗料上塗	11																																																																																																																																																																																																																						
塗 装 種 別	淡 彩 色	赤 系	青 緑 系	黄 色 系	中 彩		白 色																																																																																																																																																																																																																	
					A	B																																																																																																																																																																																																																		
下塗り	鉛系錆止めペイント 1種	○					—																																																																																																																																																																																																																	
	〃 2種	○					—																																																																																																																																																																																																																	
	フェノール樹脂MIO塗料	○					—																																																																																																																																																																																																																	
中塗り	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																	
	塩化ゴム系塗料中塗	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																	
上塗り	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																	
	塩化ゴム系塗料上塗	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																	
積算条件	区 分																																																																																																																																																																																																																							
ペイント使用量 (kg/100m ² /回)	10kg以下																																																																																																																																																																																																																							
	10kg超20kg以下																																																																																																																																																																																																																							
	20kg超30kg以下																																																																																																																																																																																																																							
積算条件	区 分																																																																																																																																																																																																																							
塗替回数	1回																																																																																																																																																																																																																							
	2回																																																																																																																																																																																																																							
	3回																																																																																																																																																																																																																							
塗 装 種 別	規 格	標準使用量																																																																																																																																																																																																																						
下塗 塗料	鉛系錆止めペイント1種	JIS K 5674 1種	14																																																																																																																																																																																																																					
	鉛・クロムフリーさび止めペイント	2種	14																																																																																																																																																																																																																					
	フェノール樹脂MIO塗料	25																																																																																																																																																																																																																						
中塗 塗料	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	JIS K 5516 2種	12																																																																																																																																																																																																																					
	塩化ゴム系塗料中塗	17																																																																																																																																																																																																																						
	シリコンアルキド樹脂塗料中塗	12																																																																																																																																																																																																																						
上塗 塗料	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	JIS K 5516 2種	11																																																																																																																																																																																																																					
	塩化ゴム系塗料上塗	15																																																																																																																																																																																																																						
	シリコンアルキド樹脂塗料上塗	11																																																																																																																																																																																																																						
塗 装 種 別	淡 彩 色	赤 系	青 緑 系	黄 色 系	中 彩		白 色																																																																																																																																																																																																																	
					A	B																																																																																																																																																																																																																		
下塗り	鉛系錆止めペイント1種	○					—																																																																																																																																																																																																																	
	鉛・クロムフリーさび止めペイント	○					—																																																																																																																																																																																																																	
	〃2種	○					—																																																																																																																																																																																																																	
	フェノール樹脂MIO塗料	○					—																																																																																																																																																																																																																	
中塗り	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																	
	塩化ゴム系塗料中塗	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																	
上塗り	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																	
	塩化ゴム系塗料上塗	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																	
積算条件	区 分																																																																																																																																																																																																																							
ペイント使用量 (kg/100m ² /回)	10kg以下																																																																																																																																																																																																																							
	10kg超20kg以下																																																																																																																																																																																																																							
	20kg超30kg以下																																																																																																																																																																																																																							
積算条件	区 分																																																																																																																																																																																																																							
塗替回数	1回																																																																																																																																																																																																																							
	2回																																																																																																																																																																																																																							
	3回																																																																																																																																																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																																																																																																																																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																			
	現 行	改 正																																																																																				
	<p>(3) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 付属構造物塗替 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m</td> <td>・全高 4m 以上 10m 未満のポール類の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m</td> <td>・全高 10m 以上 12m 以下のポール類の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 12.0m 積載荷重 200kg 定員 2 名</td> <td>・貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">労務</td> <td>R 1 塗装工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手 (一般)</td> <td>全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合</td> </tr> <tr> <td>運転手 (特殊)</td> <td>全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合及び貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z 1 鉛系錆止めペイント(2種)合成樹脂系 フェノール樹脂 M10 塗料</td> <td>下塗の場合</td> </tr> <tr> <td>長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 塩化ゴム系塗料淡彩色</td> <td>中塗、上塗の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m	・全高 10m 以上 12m 以下のポール類の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 12.0m 積載荷重 200kg 定員 2 名	・貸与の場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1 塗装工		R 2 運転手 (一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合	運転手 (特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合及び貸与の場合	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1 鉛系錆止めペイント(2種)合成樹脂系 フェノール樹脂 M10 塗料	下塗の場合	長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 塩化ゴム系塗料淡彩色	中塗、上塗の場合	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.8 付属構造物塗替 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m</td> <td>・全高 4m 以上 10m 未満のポール類の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m</td> <td>・全高 10m 以上 12m 以下のポール類の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 12.0m 積載荷重 200kg 定員 2 名</td> <td>・貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">労務</td> <td>R 1 塗装工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手 (一般)</td> <td>全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合</td> </tr> <tr> <td>運転手 (特殊)</td> <td>全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合及び貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z 1 鉛系錆止めペイント(2種)合成樹脂系 鉛・クロムフリーさび止めペイント フェノール樹脂 M10 塗料</td> <td>下塗の場合</td> </tr> <tr> <td>長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 塩化ゴム系塗料淡彩色</td> <td>中塗、上塗の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m	・全高 10m 以上 12m 以下のポール類の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 12.0m 積載荷重 200kg 定員 2 名	・貸与の場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1 塗装工		R 2 運転手 (一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合	運転手 (特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合及び貸与の場合	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1 鉛系錆止めペイント(2種)合成樹脂系 鉛・クロムフリーさび止めペイント フェノール樹脂 M10 塗料	下塗の場合	長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 塩化ゴム系塗料淡彩色	中塗、上塗の場合	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>→</p>	<p>記載の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																				
機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類の場合 ・賃料																																																																																				
	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m	・全高 10m 以上 12m 以下のポール類の場合 ・賃料																																																																																				
	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 12.0m 積載荷重 200kg 定員 2 名	・貸与の場合																																																																																				
K 2	—																																																																																					
K 3	—																																																																																					
労務	R 1 塗装工																																																																																					
	R 2 運転手 (一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合																																																																																				
	運転手 (特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合及び貸与の場合																																																																																				
	R 3	—																																																																																				
	R 4	—																																																																																				
材料	Z 1 鉛系錆止めペイント(2種)合成樹脂系 フェノール樹脂 M10 塗料	下塗の場合																																																																																				
	長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 塩化ゴム系塗料淡彩色	中塗、上塗の場合																																																																																				
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合																																																																																				
	Z 3	—																																																																																				
	Z 4	—																																																																																				
市場単価	S	—																																																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																																																				
機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類の場合 ・賃料																																																																																				
	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m	・全高 10m 以上 12m 以下のポール類の場合 ・賃料																																																																																				
	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高 12.0m 積載荷重 200kg 定員 2 名	・貸与の場合																																																																																				
K 2	—																																																																																					
K 3	—																																																																																					
労務	R 1 塗装工																																																																																					
	R 2 運転手 (一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合																																																																																				
	運転手 (特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合及び貸与の場合																																																																																				
	R 3	—																																																																																				
	R 4	—																																																																																				
材料	Z 1 鉛系錆止めペイント(2種)合成樹脂系 鉛・クロムフリーさび止めペイント フェノール樹脂 M10 塗料	下塗の場合																																																																																				
	長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 塩化ゴム系塗料淡彩色	中塗、上塗の場合																																																																																				
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合																																																																																				
	Z 3	—																																																																																				
	Z 4	—																																																																																				
市場単価	S	—																																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																																			

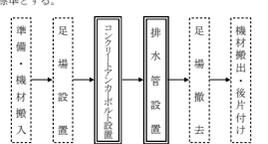
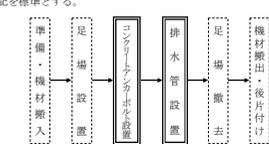
改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																
	現 行	改 正																																																	
	<p>4-4 アンカー (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.7 アンカー 積算条件区分一覧 (積算単位：本)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>適用アンカー材径</th> <th>削孔方向</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">25mm 以下</td> <td>横方向</td> </tr> <tr> <td>下方向</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">25mm を超え 40mm 以下</td> <td>横方向</td> </tr> <tr> <td>下方向</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">40mm を超え 55mm 以下</td> <td>横方向</td> </tr> <tr> <td>下方向</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">55mm を超え 70mm 以下</td> <td>横方向</td> </tr> <tr> <td>下方向</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">70mm を超え 85mm 以下</td> <td>横方向</td> </tr> <tr> <td>下方向</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、落橋防止装置工における孔内清掃、エポキシ樹脂系注入材（現場調合式）によるアンカー定着までの作業の他、集塵機損料、攪拌機損料、横方向のアンカー施工におけるエポキシ樹脂系シール材の費用及び電力に関する経費、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、アンカー材（材料費）、注入材（材料費）は含まない。 2. アンカー材、注入材の材料費は別途計上する。 3. 上方向のアンカー打込の場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 代表機勞材規格 下表機勞材は、当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表4.8 アンカー 代表機勞材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機勞材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-5 アンカー材(材料費) (1) 条件区分 アンカー材(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、本とする。</p> <p style="text-align: center;">11・⑩・7</p>	適用アンカー材径	削孔方向	25mm 以下	横方向	下方向	25mm を超え 40mm 以下	横方向	下方向	40mm を超え 55mm 以下	横方向	下方向	55mm を超え 70mm 以下	横方向	下方向	70mm を超え 85mm 以下	横方向	下方向	項目	代表機勞材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	特殊作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	普通作業員	R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>現行どおり</p> <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
適用アンカー材径	削孔方向																																																		
25mm 以下	横方向																																																		
	下方向																																																		
25mm を超え 40mm 以下	横方向																																																		
	下方向																																																		
40mm を超え 55mm 以下	横方向																																																		
	下方向																																																		
55mm を超え 70mm 以下	横方向																																																		
	下方向																																																		
70mm を超え 85mm 以下	横方向																																																		
	下方向																																																		
項目	代表機勞材規格	備考																																																	
機械	K 1	—																																																	
	K 2	—																																																	
	K 3	—																																																	
労務	R 1	特殊作業員																																																	
	R 2	土木一般世話役																																																	
	R 3	普通作業員																																																	
	R 4	—																																																	
材料	Z 1	—																																																	
	Z 2	—																																																	
	Z 3	—																																																	
	Z 4	—																																																	
市場単価	S	—																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																		
	<p>⑮ 防護柵復旧工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、損傷等によるガードレール及びガードパイプの復旧作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) ガードレール及びガードパイプにおける損傷等による撤去・設置一式の復旧の場合 1-2 適用出来ない範囲(以下の場合には、市場単価を適用) (1) 新設又は損傷等を受けていない更新・撤去工事の場合 (2) 損傷を受けていない場合の部材撤去・設置</p> <p>2. 施工パッケージ 2-1 ガードレール復旧 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 ガードレール復旧 積算条件区分一覧 (積算単位: m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">作業区分</th> <th>材料費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12" style="text-align: center;">コンクリート、 土中建込用支柱 及びレール</td><td>土中建込 Gr-A-4E 塗装</td></tr> <tr><td>土中建込 Gr-B-4E 塗装</td></tr> <tr><td>土中建込 Gr-C-4E 塗装</td></tr> <tr><td>土中建込 Gr-A-4E メッキ</td></tr> <tr><td>土中建込 Gr-B-4E メッキ</td></tr> <tr><td>コンクリート建込 Gr-A-2B 塗装</td></tr> <tr><td>コンクリート建込 Gr-B-2B 塗装</td></tr> <tr><td>コンクリート建込 Gr-C-2B 塗装</td></tr> <tr><td>コンクリート建込 Gr-A-2B メッキ</td></tr> <tr><td>コンクリート建込 Gr-B-2B メッキ</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2" style="text-align: center;">レールのみ</td><td>各種</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、損傷したガードレールの撤去及び設置の他、空気圧縮機、コンクリートブレーカ、ガス切断機等の損料及び運転経費、両柄ショベル、ツルハシ、スコップ、バール、工具等の損耗費及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 現場条件等によりトラック(クレーン付)等が必要な場合には、別途計上する。</p> <p>3. 舗装版削孔及びコンクリート削孔は含まない。</p> <p>4. ガードレールの撤去・設置における土工、基礎は含まない。</p> <p>5. 調整ポスト(キャップ式)が必要な場合は別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">11・②・1</p>	作業区分	材料費	コンクリート、 土中建込用支柱 及びレール	土中建込 Gr-A-4E 塗装	土中建込 Gr-B-4E 塗装	土中建込 Gr-C-4E 塗装	土中建込 Gr-A-4E メッキ	土中建込 Gr-B-4E メッキ	コンクリート建込 Gr-A-2B 塗装	コンクリート建込 Gr-B-2B 塗装	コンクリート建込 Gr-C-2B 塗装	コンクリート建込 Gr-A-2B メッキ	コンクリート建込 Gr-B-2B メッキ	各種	無し	レールのみ	各種	無し	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">削除</p> </div>	<p>記載の削除</p>
作業区分	材料費																				
コンクリート、 土中建込用支柱 及びレール	土中建込 Gr-A-4E 塗装																				
	土中建込 Gr-B-4E 塗装																				
	土中建込 Gr-C-4E 塗装																				
	土中建込 Gr-A-4E メッキ																				
	土中建込 Gr-B-4E メッキ																				
	コンクリート建込 Gr-A-2B 塗装																				
	コンクリート建込 Gr-B-2B 塗装																				
	コンクリート建込 Gr-C-2B 塗装																				
	コンクリート建込 Gr-A-2B メッキ																				
	コンクリート建込 Gr-B-2B メッキ																				
	各種																				
	無し																				
レールのみ	各種																				
	無し																				
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>1/3</p>																		

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																				
現	行	改	正																																																																			
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 ガードレール復旧 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z 1</td> <td>ガードレール 土中建込 Gr-B-4E 塗装</td> <td>コンクリート、土中建込用支柱及びレールの場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>直ヒーム B 板厚3.2×幅350×長さ2,330mm 塗装</td> <td>レールのみの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2-2 ガードパイプ復旧 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 ガードパイプ復旧 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>材料費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">コンクリート、土中建込用支柱及びパイプ</td> <td>Gp-Ap-2E 土中建込 塗装</td> </tr> <tr> <td>Gp-Bp-2E 土中建込 塗装</td> </tr> <tr> <td>Gp-Cp-2E 土中建込 塗装</td> </tr> <tr> <td>Gp-Ap-2E 土中建込 メッキ</td> </tr> <tr> <td>Gp-Bp-2E 土中建込 メッキ</td> </tr> <tr> <td>Gp-Ap-2B コンクリート建込 塗装</td> </tr> <tr> <td>Gp-Bp-2B コンクリート建込 塗装</td> </tr> <tr> <td>Gp-Cp-2B コンクリート建込 塗装</td> </tr> <tr> <td>Gp-Ap-2B コンクリート建込 メッキ</td> </tr> <tr> <td>Gp-Bp-2B コンクリート建込 メッキ</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>パイプのみ</td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、損傷したガードパイプの撤去及び設置の他、空気圧縮機、コンクリートブレーカ、ガス切断機等の損料及び運転経費、両柄ショベル、ツルハン、スコップ、バール、工具等の損耗費及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 現場条件等によりトラック（クレーン付）等が必要な場合には、別途計上する。 3. 舗装版削孔及びコンクリート削孔は含まない。 4. ガードパイプの撤去・設置における土工、基礎は含まない。 5. ガードパイプはG p 型及びP 型とも本施工パッケージを適用出来る。</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	—		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	ガードレール 土中建込 Gr-B-4E 塗装	コンクリート、土中建込用支柱及びレールの場合		直ヒーム B 板厚3.2×幅350×長さ2,330mm 塗装	レールのみの場合	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		作業区分	材料費	コンクリート、土中建込用支柱及びパイプ	Gp-Ap-2E 土中建込 塗装	Gp-Bp-2E 土中建込 塗装	Gp-Cp-2E 土中建込 塗装	Gp-Ap-2E 土中建込 メッキ	Gp-Bp-2E 土中建込 メッキ	Gp-Ap-2B コンクリート建込 塗装	Gp-Bp-2B コンクリート建込 塗装	Gp-Cp-2B コンクリート建込 塗装	Gp-Ap-2B コンクリート建込 メッキ	Gp-Bp-2B コンクリート建込 メッキ	各種	無し	パイプのみ	各種		無し	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">削 除</div>		備考
項目	代表機材規格		備考																																																																			
機械	K 1	—																																																																				
	K 2	—																																																																				
	K 3	—																																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																																				
	R 2	—																																																																				
	R 3	—																																																																				
	R 4	—																																																																				
材料	Z 1	ガードレール 土中建込 Gr-B-4E 塗装	コンクリート、土中建込用支柱及びレールの場合																																																																			
		直ヒーム B 板厚3.2×幅350×長さ2,330mm 塗装	レールのみの場合																																																																			
	Z 2	—																																																																				
	Z 3	—																																																																				
	Z 4	—																																																																				
市場単価	S	—																																																																				
作業区分	材料費																																																																					
コンクリート、土中建込用支柱及びパイプ	Gp-Ap-2E 土中建込 塗装																																																																					
	Gp-Bp-2E 土中建込 塗装																																																																					
	Gp-Cp-2E 土中建込 塗装																																																																					
	Gp-Ap-2E 土中建込 メッキ																																																																					
	Gp-Bp-2E 土中建込 メッキ																																																																					
	Gp-Ap-2B コンクリート建込 塗装																																																																					
	Gp-Bp-2B コンクリート建込 塗装																																																																					
	Gp-Cp-2B コンクリート建込 塗装																																																																					
	Gp-Ap-2B コンクリート建込 メッキ																																																																					
	Gp-Bp-2B コンクリート建込 メッキ																																																																					
	各種																																																																					
	無し																																																																					
パイプのみ	各種																																																																					
	無し																																																																					
積算上の注意事項		(控え頁) 2/3																																																																				

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																				
	現 行	改 正	備 考																																				
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.4 ガードパイプ復旧 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z 1</td> <td>ガードパイプ 土中建込 Gp-Bp-2E 塗装 コンクリート、土中建込用支柱及びパイプの場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ビームパイプ Gp-Bp パイプのみの場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ3.2 外径φ48.6 長さ2,000mm 塗装</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	—	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1	ガードパイプ 土中建込 Gp-Bp-2E 塗装 コンクリート、土中建込用支柱及びパイプの場合		ビームパイプ Gp-Bp パイプのみの場合		厚さ3.2 外径φ48.6 長さ2,000mm 塗装	Z 2	—	Z 3	—		Z 4	—	市場単価	S	—	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 削 除 </div>	記載の削除
項目	代表機材規格	備考																																					
機械	K 1	—																																					
	K 2	—																																					
	K 3	—																																					
労務	R 1	普通作業員																																					
	R 2	—																																					
	R 3	—																																					
	R 4	—																																					
材料	Z 1	ガードパイプ 土中建込 Gp-Bp-2E 塗装 コンクリート、土中建込用支柱及びパイプの場合																																					
		ビームパイプ Gp-Bp パイプのみの場合																																					
		厚さ3.2 外径φ48.6 長さ2,000mm 塗装																																					
	Z 2	—																																					
	Z 3	—																																					
	Z 4	—																																					
市場単価	S	—																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 3/3																																				

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考												
現 行	改 正		備 考												
<p>3-10 伸縮継手（材料費）</p> <p>(1) 条件区分 伸縮継手（材料費）に積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p>3-11 ハンドホール</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.14 ハンドホール 積算条件区分一覧 (積算単位：個)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">クレーン機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">バックホウ（クローラ型）</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ラフテレーンクレーン</td> <td style="text-align: center;">4.9t 吊</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ラフテレーンクレーン</td> <td style="text-align: center;">16t 吊</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ラフテレーンクレーン</td> <td style="text-align: center;">20t 吊</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ラフテレーンクレーン</td> <td style="text-align: center;">25t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ハンドホール、蓋、固定板、支持金具の設置作業の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、ハンドホール蓋（材料費）、ハンドホール固定板（材料費）及び支持金具（材料費）は含まない。</p> <p>2. ハンドホール蓋、ハンドホール固定板及び支持金具の材料費は、別途計上する。</p>	クレーン機種		バックホウ（クローラ型）		ラフテレーンクレーン	4.9t 吊	ラフテレーンクレーン	16t 吊	ラフテレーンクレーン	20t 吊	ラフテレーンクレーン	25t 吊	<p>現行どおり</p>		<p>記載の変更</p>
クレーン機種															
バックホウ（クローラ型）															
ラフテレーンクレーン	4.9t 吊														
ラフテレーンクレーン	16t 吊														
ラフテレーンクレーン	20t 吊														
ラフテレーンクレーン	25t 吊														
積算上の注意事項	12・②・9		(控え頁) 1/1												

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																			
	現 行	改 正	備 考																																			
	<p>② 橋梁排水管設置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鋼管（φ100mm～φ200mm）、V P管（φ100mm～φ200mm）による各種系統タイプ及び溝部の橋梁排水管を設置する作業に適用し、排水柵設置及び排水管製作は含まない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 1-1-1 コンクリートアンカーボルト設置 （1）橋梁、シェッドの排水管取付金具を設置するためのコンクリートアンカーボルト穿孔及び設置 1-1-2 排水管設置 （1）鋼管（φ100mm～φ200mm）、V P管（φ100mm～φ200mm）による各種系統タイプ及び溝部における橋梁排水管の設置</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>（注）本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 コンクリートアンカーボルト設置 （1）条件区分 コンクリートアンカーボルト設置における積算条件区分はない。 積算単位は、本とする。 （注）1. 橋梁、シェッドの排水管取付金具を設置するためのコンクリートアンカーボルト穿孔及び設置の他、電力に関する経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等含む）を含む。 2. 足場等が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>（2）代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <caption>表3.1 コンクリートアンカーボルト設置 代表機材材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	特殊作業員	R 2	普通作業員	R 3	土木一般世話役	R 4	—	材料	Z 1	あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>② 橋梁排水管設置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鋼管（φ100mm～φ200mm）、V P管（φ100mm～φ200mm）、F R P管（φ100mm～φ200mm）による各種系統タイプ及び溝部の橋梁排水管を設置する作業に適用し、排水柵設置及び排水管製作は含まない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 1-1-1 コンクリートアンカーボルト設置 （1）橋梁、シェッドの排水管取付金具を設置するためのコンクリートアンカーボルト穿孔及び設置 1-1-2 排水管設置 （1）鋼管（φ100mm～φ200mm）、V P管（φ100mm～φ200mm）、F R P管（φ100mm～φ200mm）による各種系統タイプ及び溝部における橋梁排水管の設置</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>（注）1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。 2. 既設排水管の取替作業を行う際、排水管撤去作業は別途考慮する。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 コンクリートアンカーボルト設置 （1）条件区分 コンクリートアンカーボルト設置における積算条件区分はない。 積算単位は、本とする。 条件区分は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <caption>表3.1 コンクリートアンカーボルト設置 積算条件区分一覧 (積算単位：本)</caption> <tbody> <tr> <td>足場の有無</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）1. 橋梁、シェッドの排水管取付金具を設置するためのコンクリートアンカーボルト穿孔及び設置の他、電力に関する経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等含む）を含む。 2. 足場等が必要な場合は、別途計上する。 3. 現場条件等により代表機材材一覧（表3.2）に示す機械・規格により異なる場合は、別途考慮する。</p>	足場の有無	無し		有り	<p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加・修正・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材材規格	備考																																				
機械	K 1	—																																				
	K 2	—																																				
	K 3	—																																				
労務	R 1	特殊作業員																																				
	R 2	普通作業員																																				
	R 3	土木一般世話役																																				
	R 4	—																																				
材料	Z 1	あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12																																				
	Z 2	—																																				
	Z 3	—																																				
	Z 4	—																																				
市場単価	S	—																																				
足場の有無	無し																																					
	有り																																					
積算上の注意事項	13・②・1	次頁へ移動	（控え頁） 1/3																																			

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																												
	現 行	改 正	備 考																																																																																												
	<p>3-2 排水管設置 (1) 条件区分 条件区分は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 排水管設置 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">管種区分</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">VP管</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">鋼管</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、橋梁、シェッドの取付金具、排水管（蛇腹管・エルボ等の排水管付属品の設置も含む）の設置の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等含む）を含む。ただし、排水管（材料費）は含まない。 2. 排水管の材料費は別途計上する。 3. 足場等が必要な場合は、別途計上する。 4. 鋼管の端末部に取付けるVP管については、管種区分は鋼管を適用する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 排水管設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9 t吊</td><td>・賃料 ・鋼管の場合</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>13・㊸・2</p>	管種区分	VP管	鋼管	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9 t吊	・賃料 ・鋼管の場合	K2	—		K3	—		労務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 2 コンクリートアンカーボルト設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10~12m未満</td><td>・賃料</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>3-2 排水管設置 (1) 条件区分 条件区分は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 3 排水管設置 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">管種区分-足場の有無</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">VP管-無し</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">鋼管-有り</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、橋梁、シェッドの取付金具、排水管（蛇腹管・エルボ等の排水管付属品の設置も含む）の設置の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等含む）を含む。ただし、排水管（材料費）は含まない。 2. 排水管の材料費は別途計上する。 3. 足場等が必要な場合は、別途計上する。 4. 鋼管の端末部に取付けるVP管については、管種区分は鋼管を適用する。現場条件等により代表機材一覧（表3.4）に示す機械・規格により難い場合は、別途考慮する。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10~12m未満	・賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		管種区分-足場の有無	VP管-無し	鋼管-有り	<p>代表機械の修正・追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の修正・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
管種区分																																																																																															
VP管																																																																																															
鋼管																																																																																															
項目	代表機材規格	備考																																																																																													
機械	K1	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9 t吊	・賃料 ・鋼管の場合																																																																																												
	K2	—																																																																																													
	K3	—																																																																																													
労務	R1	特殊作業員																																																																																													
	R2	普通作業員																																																																																													
	R3	土木一般世話役																																																																																													
	R4	—																																																																																													
材料	Z1	—																																																																																													
	Z2	—																																																																																													
	Z3	—																																																																																													
	Z4	—																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																																																													
機械	K1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10~12m未満	・賃料																																																																																												
	K2	—																																																																																													
	K3	—																																																																																													
労務	R1	特殊作業員																																																																																													
	R2	普通作業員																																																																																													
	R3	土木一般世話役																																																																																													
	R4	—																																																																																													
材料	Z1	あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12																																																																																													
	Z2	—																																																																																													
	Z3	—																																																																																													
	Z4	—																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																													
管種区分-足場の有無																																																																																															
VP管-無し																																																																																															
鋼管-有り																																																																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3																																																																																												

前頁から移動

次頁へ移動

改正理由	一部改正	改正 現行																																
現 行	改 正		備 考																															
	<p style="text-align: center;">前頁から移動</p> <p style="text-align: center;">(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3-24 排水管設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 トラッククレーン [油圧伸縮タイプ] 4.0t以上 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・ 幅広デッキタイプ 作業床高さ 10~12m未満</td> <td>・賃料 ・鋼管の組合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">3-3 排水管（材料費） (1) 条件区分 排水管（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 排水管（材料費）は、排水管（蛇腹管・エルボ等の排水管付属品も含む）、取付金具の材料費を全て含む。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 トラッククレーン [油圧伸縮タイプ] 4.0t以上 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・ 幅広デッキタイプ 作業床高さ 10~12m未満	・賃料 ・鋼管の組合	K 2	—	K 3	—	労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—		代表機械の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K 1 トラッククレーン [油圧伸縮タイプ] 4.0t以上 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・ 幅広デッキタイプ 作業床高さ 10~12m未満	・賃料 ・鋼管の組合																																
	K 2	—																																
	K 3	—																																
労務	R 1 特殊作業員																																	
	R 2 普通作業員																																	
	R 3 土木一般世話役																																	
	R 4	—																																
材料	Z 1	—																																
	Z 2	—																																
	Z 3	—																																
	Z 4	—																																
市場単価	S	—																																
積算上の注意事項			(控え頁) 3/3																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																		
現	行	改 正	備 考																																																		
<p>① 現場発生品及び支給品運搬</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、現場発生品・支給品運搬に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 防護柵、コンクリート二次製品等の現場発生品又は支給品の積み込み、荷卸し及び指定箇所までの運搬</p> <p>1-2 適用出来ない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合 (1) 4t積車を超える車種を使用する場合 (2) 現場発生品又は支給品以外の積み込み、運搬 (3) 自動車専用道路を利用する場合 (4) 「第Ⅱ編第2章共通工⑩旧橋撤去工」により発生した高欄の運搬の場合</p> <p>2. 施工パッケージ 2-1 現場発生品・支給品運搬 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 現場発生品・支給品運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：回)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>トラック機種</th> <th>片道運搬距離</th> <th>1回当たり平均積載質量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">クレーン装置付 ベーストラック 2t級, 吊能力 2t (参考) 荷台長 L=3.0m 荷台幅 W=1.6m</td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">(表 2.2)</td> <td>0.1t 以下</td> </tr> <tr><td>0.1t 超 0.2t 以下</td></tr> <tr><td>0.2t 超 0.3t 以下</td></tr> <tr><td>0.3t 超 0.5t 以下</td></tr> <tr><td>0.5t 超 0.8t 以下</td></tr> <tr><td>0.8t 超 1.1t 以下</td></tr> <tr><td>1.1t 超 1.5t 以下</td></tr> <tr><td>1.5t 超 2.0t 以下</td></tr> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">クレーン装置付 ベーストラック 4t級, 吊能力 2.9t (参考) 荷台長 L=3.4m 荷台幅 W=2.0m</td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">(表 2.2)</td> <td>0.1t 以下</td> </tr> <tr><td>0.1t 超 0.2t 以下</td></tr> <tr><td>0.2t 超 0.3t 以下</td></tr> <tr><td>0.3t 超 0.5t 以下</td></tr> <tr><td>0.5t 超 0.8t 以下</td></tr> <tr><td>0.8t 超 1.1t 以下</td></tr> <tr><td>1.1t 超 1.5t 以下</td></tr> <tr><td>1.5t 超 2.0t 以下</td></tr> <tr><td>2.0t 超 2.6t 以下</td></tr> <tr><td>2.6t 超 2.95t 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、構造物等撤去に伴う現場発生材や防護柵、コンクリート二次製品等の現場発生品又は支給品の積み込み、指定箇所までの運搬、取卸し等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 運搬費は発生(又は支給)する工種毎に直接工事費として計上する。</p> <p style="text-align: center;">14・①・1</p>		トラック機種	片道運搬距離	1回当たり平均積載質量	クレーン装置付 ベーストラック 2t級, 吊能力 2t (参考) 荷台長 L=3.0m 荷台幅 W=1.6m	(表 2.2)	0.1t 以下	0.1t 超 0.2t 以下	0.2t 超 0.3t 以下	0.3t 超 0.5t 以下	0.5t 超 0.8t 以下	0.8t 超 1.1t 以下	1.1t 超 1.5t 以下	1.5t 超 2.0t 以下	クレーン装置付 ベーストラック 4t級, 吊能力 2.9t (参考) 荷台長 L=3.4m 荷台幅 W=2.0m	(表 2.2)	0.1t 以下	0.1t 超 0.2t 以下	0.2t 超 0.3t 以下	0.3t 超 0.5t 以下	0.5t 超 0.8t 以下	0.8t 超 1.1t 以下	1.1t 超 1.5t 以下	1.5t 超 2.0t 以下	2.0t 超 2.6t 以下	2.6t 超 2.95t 以下	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表2.1 現場発生品・支給品運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：回)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>トラック機種</th> <th>片道運搬距離</th> <th>1回当たり平均積載質量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">クレーン装置付 ベーストラック 2t 級積, 吊能力 2t (参考) 荷台長 L=3.0m 荷台幅 W=1.6m</td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">(表 2.2)</td> <td>0.1t 以下</td> </tr> <tr><td>0.1t 超 0.2t 以下</td></tr> <tr><td>0.2t 超 0.3t 以下</td></tr> <tr><td>0.3t 超 0.5t 以下</td></tr> <tr><td>0.5t 超 0.8t 以下</td></tr> <tr><td>0.8t 超 1.1t 以下</td></tr> <tr><td>1.1t 超 1.5t 以下</td></tr> <tr><td>1.5t 超 2.0t 以下</td></tr> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">クレーン装置付 ベーストラック 4~4.5t 級積, 吊能力 2.9t (参考) 荷台長 L=3.4m 荷台幅 W=2.0m</td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">(表 2.2)</td> <td>0.1t 以下</td> </tr> <tr><td>0.1t 超 0.2t 以下</td></tr> <tr><td>0.2t 超 0.3t 以下</td></tr> <tr><td>0.3t 超 0.5t 以下</td></tr> <tr><td>0.5t 超 0.8t 以下</td></tr> <tr><td>0.8t 超 1.1t 以下</td></tr> <tr><td>1.1t 超 1.5t 以下</td></tr> <tr><td>1.5t 超 2.0t 以下</td></tr> <tr><td>2.0t 超 2.6t 以下</td></tr> <tr><td>2.6t 超 2.95t 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、構造物等撤去に伴う現場発生材や防護柵、コンクリート二次製品等の現場発生品又は支給品の積み込み、指定箇所までの運搬、取卸し等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 運搬費は発生(又は支給)する工種毎に直接工事費として計上する。</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>		トラック機種	片道運搬距離	1回当たり平均積載質量	クレーン装置付 ベーストラック 2t 級 積, 吊能力 2t (参考) 荷台長 L=3.0m 荷台幅 W=1.6m	(表 2.2)	0.1t 以下	0.1t 超 0.2t 以下	0.2t 超 0.3t 以下	0.3t 超 0.5t 以下	0.5t 超 0.8t 以下	0.8t 超 1.1t 以下	1.1t 超 1.5t 以下	1.5t 超 2.0t 以下	クレーン装置付 ベーストラック 4~4.5t 級 積, 吊能力 2.9t (参考) 荷台長 L=3.4m 荷台幅 W=2.0m	(表 2.2)	0.1t 以下	0.1t 超 0.2t 以下	0.2t 超 0.3t 以下	0.3t 超 0.5t 以下	0.5t 超 0.8t 以下	0.8t 超 1.1t 以下	1.1t 超 1.5t 以下	1.5t 超 2.0t 以下	2.0t 超 2.6t 以下	2.6t 超 2.95t 以下
トラック機種	片道運搬距離	1回当たり平均積載質量																																																			
クレーン装置付 ベーストラック 2t級, 吊能力 2t (参考) 荷台長 L=3.0m 荷台幅 W=1.6m	(表 2.2)	0.1t 以下																																																			
		0.1t 超 0.2t 以下																																																			
		0.2t 超 0.3t 以下																																																			
		0.3t 超 0.5t 以下																																																			
		0.5t 超 0.8t 以下																																																			
		0.8t 超 1.1t 以下																																																			
		1.1t 超 1.5t 以下																																																			
1.5t 超 2.0t 以下																																																					
クレーン装置付 ベーストラック 4t級, 吊能力 2.9t (参考) 荷台長 L=3.4m 荷台幅 W=2.0m	(表 2.2)	0.1t 以下																																																			
		0.1t 超 0.2t 以下																																																			
		0.2t 超 0.3t 以下																																																			
		0.3t 超 0.5t 以下																																																			
		0.5t 超 0.8t 以下																																																			
		0.8t 超 1.1t 以下																																																			
		1.1t 超 1.5t 以下																																																			
1.5t 超 2.0t 以下																																																					
2.0t 超 2.6t 以下																																																					
2.6t 超 2.95t 以下																																																					
トラック機種	片道運搬距離	1回当たり平均積載質量																																																			
クレーン装置付 ベーストラック 2t 級 積, 吊能力 2t (参考) 荷台長 L=3.0m 荷台幅 W=1.6m	(表 2.2)	0.1t 以下																																																			
		0.1t 超 0.2t 以下																																																			
		0.2t 超 0.3t 以下																																																			
		0.3t 超 0.5t 以下																																																			
		0.5t 超 0.8t 以下																																																			
		0.8t 超 1.1t 以下																																																			
		1.1t 超 1.5t 以下																																																			
1.5t 超 2.0t 以下																																																					
クレーン装置付 ベーストラック 4~4.5t 級 積, 吊能力 2.9t (参考) 荷台長 L=3.4m 荷台幅 W=2.0m	(表 2.2)	0.1t 以下																																																			
		0.1t 超 0.2t 以下																																																			
		0.2t 超 0.3t 以下																																																			
		0.3t 超 0.5t 以下																																																			
		0.5t 超 0.8t 以下																																																			
		0.8t 超 1.1t 以下																																																			
		1.1t 超 1.5t 以下																																																			
1.5t 超 2.0t 以下																																																					
2.0t 超 2.6t 以下																																																					
2.6t 超 2.95t 以下																																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																		

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																		
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1"> <caption>表2.2 片道運搬距離</caption> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="9">片道運搬距離</td><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>9.0km 以下</td></tr> <tr><td>14.0km 以下</td></tr> <tr><td>20.0km 以下</td></tr> <tr><td>27.0km 以下</td></tr> <tr><td>35.0km 以下</td></tr> <tr><td>46.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 運搬距離が60kmを超える場合は別途考慮する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <caption>表2.3 現場発生品・支給品運搬 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 2t 級 吊能力 2.0t トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトル給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	積算条件	区 分	片道運搬距離	2.0km 以下	5.0km 以下	9.0km 以下	14.0km 以下	20.0km 以下	27.0km 以下	35.0km 以下	46.0km 以下	60.0km 以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 2t 級 吊能力 2.0t トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t		K 2	-		K 3	-		労務	R 1	運転手 (特殊)		R 2	普通作業員		R 3	-		R 4	-		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトル給油		Z 2	-		Z 3	-		Z 4	-		市場単価	S	-		<p style="text-align: center;">改 正</p> <div style="text-align: center;"> <p>現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <caption>表2.3 現場発生品・支給品運搬 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 2t 級 吊能力 2.0t トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトル給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 2t 級 吊能力 2.0t トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 吊能力 2.9t		K 2	-		K 3	-		労務	R 1	運転手 (特殊)		R 2	普通作業員		R 3	-		R 4	-		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトル給油		Z 2	-		Z 3	-		Z 4	-		市場単価	S	-		<p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>
積算条件	区 分																																																																																																				
片道運搬距離	2.0km 以下																																																																																																				
	5.0km 以下																																																																																																				
	9.0km 以下																																																																																																				
	14.0km 以下																																																																																																				
	20.0km 以下																																																																																																				
	27.0km 以下																																																																																																				
	35.0km 以下																																																																																																				
	46.0km 以下																																																																																																				
	60.0km 以下																																																																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																																																																			
機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 2t 級 吊能力 2.0t トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t																																																																																																			
	K 2	-																																																																																																			
	K 3	-																																																																																																			
労務	R 1	運転手 (特殊)																																																																																																			
	R 2	普通作業員																																																																																																			
	R 3	-																																																																																																			
	R 4	-																																																																																																			
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトル給油																																																																																																			
	Z 2	-																																																																																																			
	Z 3	-																																																																																																			
	Z 4	-																																																																																																			
市場単価	S	-																																																																																																			
項目	代表機材規格	備考																																																																																																			
機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 2t 級 吊能力 2.0t トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 吊能力 2.9t																																																																																																			
	K 2	-																																																																																																			
	K 3	-																																																																																																			
労務	R 1	運転手 (特殊)																																																																																																			
	R 2	普通作業員																																																																																																			
	R 3	-																																																																																																			
	R 4	-																																																																																																			
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトル給油																																																																																																			
	Z 2	-																																																																																																			
	Z 3	-																																																																																																			
	Z 4	-																																																																																																			
市場単価	S	-																																																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																																																		